

CALLERLAB

BASIC AND MAINSTREAM DEFINITIONS



ベーシック・メインストリーム 動作の定義

Revised May 31, 2013

2013年5月31日改訂6版



一般社団法人

日本スクエアダンス協会

Japan Square Dance Association

2000年9月20日以降の変更履歴

変更日	変更事項
2001年08月22日	FAN THE TOP を削除しプラスへ移動。 EIGHT CHAIN THRU を削除しプラスへ移動。 SPIN CHAIN THRU を削除しプラスへ移動。
2002年04月29日	HALF TAG THE LINE の定義を訂正。
2002年08月12日	序文における FAN THE TOP と SPIN CHAIN THRU の参照項を向い合ったカブルのルールから削除。
2003年01月14日	序文における動作を始める隊形の図を移動。
2003年03月18日	スタイリングにおける地域差の記述を序文に追加。
2003年04月27日	補遺における#37(ALAMO RING FORMATION)を"#36(d)WAVE BALANCE"に変更。
2003年08月01日	EIGHT CHAIN THRU を MS に追加。
2003年09月11日	SEE SAW の定義を変更。 ALL AROUND LEFT HAND LADY を ALL AROUND THE CORNER に変更。 ARM TURNS の参照項を補遺から本文の動作 #7(b) と #7(c) へ変更。
2003年10月10日	SEE SAW のスタイリング記述を訂正。
2004年03月04日	PARTNER TAG スタイリング(タイミング)を TAG Family から削除。
2005年04月26日	著作権についての注意を改訂。
2005年08月19日	DOSADO 定義からダンサーについての助言を削除。 RIGHT AND LEFT THRU と FLUTTERWHEEL 定義における参照項を訂正。
2005年09月19日	FLUTTERWHEEL スタイリングで前腕回転に対する参照項を訂正。
2006年10月19日	"ベーシックとメインストリームの定義"を改名。 SPIN CHAIN THRU を追加。 STAR PROMENADE を PROMENADE FAMILY へ移動。 TAG THE LINE と HALF TAG THE LINE のタイミングを訂正。
2008年01月09日	ALL AROUND THE CORNER を WALK AROUND THE CORNER に改名。 SPLIT TWO と SEPARATE を補遺から移動。 SPLIT THE OUTSIDE COUPLE を SPLIT TWO に置き換え、SEPARATE の定義を訂正。 ALLEMANDE LEFT IN THE ALAMO STYLE と BALANCE を補遺から移動。 WRONG WAY PROMENADE を Promenade Family に追加。
2008年04月04日	新しく書き改めたMS定義の採用開始。 #10までの動作および他の19動作を2004年3月に承認された記述文に更新。 2008年2月に承認された次の5動作を追加。 ALAMO STYLE 名を更新。ダンサー名を序文に移動。 CIUCULATE の記述を補遺から併合し、記載事項の改変、新しい図を使った。
2008年05月23日	THAR FAMILY と OCEAN WAVE FAMILY を更新。 補遺からの資料は偶発的に欠落。
2008年07月30日	隊形図表へのリンクを更新。
2009年03月12日	Leaders/Trailers の追加。
2009年09月09日	PASS THE OCEAN を更新。 2009年9月1日発行の講習順序に合致するよう動作の順序 および番号を更新。 Swing Thru, Trade Family, Ocean Wave Family, Ladies Chain の書式を小変更。
2009年11月01日	"The Facing Couples Rule が適用できる動作"に Swing Thru と Spin Chain Thru を加える。
2010年03月17日	Courtesy Turn, Centers In, Cast Off 3/4 の定義更新。 第4部付加細目内の Timing(タイミング)に新定義採用。 Bend The Line (バンド ザ ライン)のタイプミスを変更修正
2010年06月18日	ワードへの変更。 比較的重要でない変更。
2010年07月27日	Courtesy Turn(カーテシー ターン)の注釈#1をより良い表現に改訂。
2010年12月03日	Grand Square (グランド スクエア)の定義を更新。 Circle to A Line (サークルトゥ ア ライン)と California Twirl (カリフォルニア トワール)、Shoot the Star (シュート ザ スター)と Slip the Clutch(スリップ ザ クラッチ)の講習順序を入れ替え。
2010年12月23日	Chain Down The Line (チェイン ダウン ザ ライン)の動作を始める隊形を修正。
2011年01月18日	著作権の更新。 ワードへの変更時に生じた誤り(最終図が異なる)の訂正。(日本語での定義集には適用されない。)
2011年02月19日	Walk Around the Corner (ウォーク アラウンド ザ コーナー)で "the" を小文字標記に変更。
2011年03月16日	Circle to a Line (サークル トゥー ア ライン)および Veer Left (ピア レフト)/Veer Right (ピア ライト)の定義を更新。
2011年05月13日	ベーシック動作をベーシック1およびベーシック2に分割、また比較的重要でない変更を行った。
2011年07月28日	7ページのパートナーとコーナー (Partner/Corner) 注釈における男性男性女性女性(BBGG)の表現を削除。 14ページの 1.a.事例1:8人のダンサーで、スタイリングにおける男性男性女性女性(BBGG)の表現を削除。
2011年10月03日	11ページの隊形表に一般的なタッグ隊形: "Center 6" を追加。
2011年10月07日	Ladies Chain Family (レイディーズ チェイン ファミリー) および Sea Saw (シー ソウ) の定義を更新。
2012年05月02日	Wheel Around (ウィール アラウンド) と Square Thru (スクエア スルー) の定義を更新。 Partner Corner (パートナー コーナー)に関する項目を削除。
2012年08月07日	標準化についての記述を改定。
2013年02月22日	Promenade Family(プラマネイド ファミリー)、Circulate Family(サーキュレイト ファミリー)、Box the Gnat(ボックス ザ ナット)の新定義化。
2013年05月31日	Thar Family(ザー ファミリー)、Slip the Clutch(スリップ ザ クラッチ)、Shoot the Star(シュート ザ スター)の新定義化。追記B:記述用語法を追加。比較的重要でない校訂。

© 1994, 2000-2013 CALLERLAB、国際スクエアダンスコーラーズ協会

再印刷、再出版、使用料の発生しない配布物の製作はこの文章表示を条件にこれを許可する。

使用料の発生しないインターネットでの刊行はこの文章表示を条件にこれを許可する。

使用料の発生しない一部または全ての引用はこの文章表示を条件にこれを許可する。

いかなる配布物製作または刊行においても本書内の情報は変更されまた改訂されてはならない。

目 次

総記	- 5 -	ースリー クォーターズ).....	- 24 -
Introduction (前置き)	- 5 -	5.b. Single File Promenade(シングル ファイル プラマ ネイド).....	- 27 -
History (履歴)	- 5 -	5.c. Wrong Way Promenade(ロング ウエイ プラマ ネイド)	- 28 -
Scope (目的範囲).....	- 5 -	5.d. Star Promenade(スター プラマネイド)	- 29 -
Approach (取り組み方).....	- 6 -	6. Allemande Left(アレマンド レフト)	- 29 -
Standardization (標準化)	- 7 -	6.a. 事例 1.....	- 30 -
Proper vs. Improper (適切と不適切).....	- 7 -	6.b. 事例 2.....	- 30 -
Conventions and Rules (約束事と規則).....	- 7 -	7. Arm Turns(アーム ターンズ).....	- 31 -
Passing Rule (通り過ぎるときの規則).....	- 8 -	8. Right and Left Grand Family(ライト アンド レフト グラン ド ファミリー)	- 32 -
Same Position Rule (同一位置の規則).....	- 8 -	8.a. Right and Left Grand(ライト アンド レフト グラン ド).....	- 32 -
Facing Couples Rule (向き合っているカプルの規則)-	8 -	8.b. Weave the Ring(ウィーブ ザ リング)	- 33 -
Ocean Wave Rule (オーシャンウェイブの規則)....	- 9 -	8.c. Wrong Way Grand(ロング ウエイ グランド)..	- 34 -
Squared Set Convention (スクエアセットの約束事)-	10	9. Left-Hand Star / Right-Hand Star(レフト ハンド スタ ー/ライト ハンド スター)	- 34 -
-		10. Pass Thru(パス スルー)	- 35 -
Circle Rule (サークル時の規則).....	- 11 -	11. Half Sashay Family (ハーフ サッシュエイ ファミリー)..	- 36 -
Ways of Naming Dancers (ダンサーの呼び方).....	- 11 -	11.a. Half Sashay (ハーフ サッシュエイ).....	- 36 -
Partner/Corner (パートナーとコーナー).....	- 11 -	11.b. Rollaway(ローラウェイ)	- 37 -
Heads/Sides (ヘッズとサイズ).....	- 12 -	11.c. Ladies In, Men Sashay(レイディーズ イン、メン サッシュエイ)	- 38 -
Couple #1,#2,#3,#4 (カプルNo. 1、No. 2、No. 3、 No. 4).....	- 13 -	12. Turn Back Family(ターン バック ファミリー) - 38 -	
Boys/Girls (ボーイズとガールズ).....	- 14 -	12.a. U-Turn Back(ユー ターン バック)	- 38 -
Centers/Ends (センターズとエンズ).....	- 14 -	12.b. Backtrack(バック トラック)	- 39 -
Leaders / Trailers (リーダーズとトレイラーズ)....	- 16 -	13. Separate(セパレート)	- 40 -
ベーシックプログラムー第1部定義	- 17 -	13.a. Around 1 or 2 to a Line(アラウンド ワン オア ト ゥー トゥー ア ライン)	- 41 -
1. Circle Left(サークル レフト)/ Circle Right(サークル ライト)	- 17 -	13.b. Around 1 or 2 and come into the middle....	- 42 -
1.a.事例1:8人のダンサー	- 17 -	(アラウンド ワン オア トゥー アンド カム イントウ ザ ミドル)	- 42 -
1.b.事例2:4人のダンサー.....	- 18 -	14. Split Two(スプリット トゥー).....	- 43 -
1.c.事例3:2人のダンサー.....	- 19 -	15. Courtesy Turn(カーテシー ターン)	- 44 -
2. Forward And Back(フォワード アンド バック)..	- 19 -	16. Ladies Chain Family (レイディーズ チェイン ファミリー ー).....	- 45 -
3. Dosado(ドーサードー)/Dosado to a Wave(ドーサード ー トゥ ア ウエイブ)	- 21 -	16.a. Two Ladies Chain (トゥ レイディーズ チェイン) -	
3.a. Dosado(ドーサードー)	- 21 -	Regular and 3/4 (通常とスリー・クォーターズ)....	- 45 -
3.b. Dosado to a Wave(ドーサードー トゥ ア ウエイ ブ)	- 22 -		
4. Swing(スウィング)	- 22 -		
5. Promenade Family(プラマネイド ファミリー)	- 24 -		
5.a. Couples -カプルズ(Full-フル, 1/2-ハーフ, 3/4			

16.b. Four Ladies Chain (フォー レイディーズ チェイン) - Regular and 3/4 (通常とスリー・クォーターズ)...	46 -
16.c. Chain Down The Line (チェイン ダウン ザ ライン)	47 -
17. Do Paso (ドウ パソウ).....	48 -
18. Lead Right (リード ライト)	49 -
19. Veer Left (ビア レフト)/ Veer Right (ビア ライト) ...	50 -
20. Bend the Line (バンド ザ ライン)	50 -
20.a. 事例 1: One-Faced Line (ワン フェイスト ライン)、.....	50 -
Two-Faced Line (トゥー フェイスト ライン) (4人)-	50 -
20.b. 事例 2: Tidal Line (タイダルライン) (8人) .-	51 -
21. Circulate Family (サーキュレイト ファミリー)....	51 -
21.a. (Named Dancers) Circulate (名指しをされたダンサーのサーキュレイト)	52 -
21.b. Couples Circulate (カプルズ サーキュレイト) ...	53 -
21.c. All 8 Circulate (オール エイト サーキュレイト) -	54 -
21.d. Single File Circulate (シングル ファイル サーキュレイト)	55 -
21.e. Box/Split Circulate (ボックス/スプリット サーキュレイト)	55 -
21.e. 事例1: Box Circulate (ボックス サーキュレイト)	55 -
21.e. 事例2: Split Circulate (スプリット サーキュレイト)	56 -
22. Right and Left Thru (ライト アンド レフト スルー)	56 -
23. Grand Square (グランド スクエア)	57 -
24. Star Thru (スター スルー)	59 -
25. California Twirl (キャリフォルニア トワール)-	59 -
26. Walk Around the Corner (ウォーク アラウンド ザ コーナー)	60 -
27. See Saw (シー ソウ).....	60 -
28. Square Thru (スクエア スルー)(1,2,3,4) / Left Square Thru (レフト スクエア スルー)(1,2,3,4)	61 -

29. Circle to a Line (サークル トゥー ア ライン) ..	63 -
30. Dive Thru (ダイブ スルー)	64 -
ベーシックプログラムー第2部定義	66 -
31. Wheel Around (ウィール アラウンド)	66 -
32. Thar Family (ザー ファミリー)	67 -
32.a. Allemande Thar (アレマンド ザー).....	67 -
32.b. Allemande Left to an Allemande Thar (アレマンド レフト トゥ アン アレマンド ザー).....	68 -
32.c. Wrong Way Thar (ロング ウエイ ザー).....	68 -
33. Slip The Clutch (スリップ ザ クラッチ).....	69 -
34. Shoot the Star (シュート ザ スター).....	70 -
/ Shoot the Star Full Around (シュート ザ スター フルアラウンド).....	70 -
35. Box the Gnat (ボックス ザ ナット)	71 -
36. *Trade Family (トレイド ファミリー).....	72 -
37. *Ocean Wave Family (オーシャン ウエイブ ファミリー).....	73 -
38. Alamo Style (アラモ スタイル).....	74 -
39. *Swing Thru (スウィング スルー)/ Left Swing Thru (レフト スウィング スルー).....	74 -
40. *Run (ラン) / Cross Run (クロス ラン)	75 -
41. Pass the Ocean (パス ジ オーシャン)	76 -
42. *Extend (エクステンド) (from 1/4 Tag only) (1/4 Tag (クォーター タッグ)隊形からのみ).....	76 -
43. *Wheel And Deal (ウィール アンド ディール)-	77 -
44. *Double Pass Thru (ダブル パス スルー)	77 -
45. First Couple Go Left/Right (ファースト カプル ゴー レフト/ライト),	77 -
Next Couple Go Left/Right (ネクスト カプル ゴー レフト/ライト).....	77 -
46. Zoom (ズーム)	78 -
47. *Flutterwheel (フラター ウィール)/ Reverse Flutterwheel (リバース フラター ウィール).....	79 -
48. *Sweep a Quarter (スウィープ ア クォーター)-	80 -
49. *Trade By (トレイド バイ)	80 -
50. *Touch 1/4 (タッチ ワン クォーター).....	80 -
51. Ferris Wheel (フェリス ウィール).....	81 -
メインストリームプログラム定義	82 -
52. Cloverleaf (クローバーリーフ)	82 -

52.a. Cloverleaf (クローバーリーフ-皆がアクティブ) ...-	82 -
52.b. Cloverleaf (クローバーリーフ-2カプルのみアクティブ).....-	82 -
53. Turn Thru (ターン スルー)	- 83 -
54. *Eight Chain Thru (エイト チェイン スルー)/-	84 -
Eight Chain 1, 2, 3, etc.(エイト チェイン 1、2、3等) ..-	84 -
55. Pass to the Center (パス トゥー ザ センター)-	84 -
56. *Single Hinge (シングル ヒンジ)/Couples Hinge (カプルズ ヒンジ)	- 85 -
57. Centers In(センターズ イン)	- 85 -
58. Cast Off 3/4(キャスト オフ スリー クォーターズ) .-	86 -
59. Spin the Top (スピン ザ トップ).....	- 87 -
60. *Walk And Dodge (ウォーク アンド ドッジ).....	- 88 -
61. Slide Thru (スライド スルー)	- 88 -
62. *Fold (フォールド) / Cross Fold (クロス フォールド)	- 89 -
63. *Dixie Style to an Ocean Wave (ディキシィ スタイル トゥー アン オーシャン ウエイブ).....	- 90 -
64. *Spin Chain Thru (スピン チェイン スルー) .-	90 -
65. *Tag the Line (タッグ ザ ライン) (In/Out/Left/Right -イン/アウト/レフト/ライト).....	- 90 -
66. *Half Tag (ハーフ タッグ)	- 91 -
67. *Scoot Back (スクート バック).....	- 91 -
68. *Recycle (リサイクル) (ウエイブからのみ).....	- 91 -
付加細目	- 93 -
Starting Formations (動作を始める隊形).....	- 93 -
Commands (指示).....	- 93 -
Extra words (付け足し語句)	- 93 -
Plain English (平易な英語).....	- 93 -
Extensions like Reverse Wheel Around (リバース ウィール アラウンドのような応用)	- 93 -
Fractions (分数)	- 93 -
Gimmicks (特異な動き).....	- 93 -
Bending vs. breaking the definition (定義の歪曲と破棄)	- 93 -
Do Your Part (自分の動作すべき部分).....	- 93 -

Centers Zoom (センターズ ズーム)	- 93 -
Extend and Tag The Line(エクステンドとタッグ ザ ライン)	- 93 -
Dance Action (動作)	- 93 -
Defining Calls with Arm Turns (アームターンの動作定義)	- 93 -
Definitional Precision (定義詳細)	- 93 -
Blending one call into another (動作の別のコールとの組み合わせ)	- 93 -
Who is active (アクティブとなる人)	- 93 -
What does naming a dancer mean? (ダンサーを名付ける意味)	- 94 -
Square Breathing (スクエアの拡大と縮小)	- 94 -
Timing (タイミング)	- 94 -
Styling (スタイリング).....	- 95 -
Posture (姿勢)	- 95 -
Dance Step (歩き方)	- 95 -
Arms and hands (腕と手)	- 95 -
Inactive dancers (インアクティブ ダンサー)	- 96 -
Other styling terms and issues (他のスタイリングにおける用語と問題)	- 96 -
Regional styling differences (スタイリングにおける地域差)	- 96 -
Teamwork (チームワーク)	- 96 -
Embellishments (装飾用語)	- 96 -
追記	- 97 -
追記A: 隊形	- 97 -
2-Dancer Formations (ダンサー2人の隊形)	- 97 -
4-Dancer Formations (ダンサー4人の隊形)	- 97 -
8-Dancer Formations (ダンサー8人の隊形)	- 97 -
追記B: 記述用語法	- 97 -
Adjacent (アジェイセント)	- 97 -
Couples (カプルズ).....	- 97 -
Face Left (フェイス レフト)/Right (ライト)/In (イン)/Out (アウト)	- 97 -
Home (ホーム)	- 97 -
Left (レフト)	- 98 -
Opposite (オポジット)	- 98 -
Promenade Direction (プラマネイド ディレクション)	- 98 -

Pull By(プル バイ)	- 98 -
Rear Back(リア バック)	- 98 -
Reverse(リバース)	- 98 -
Right-Hand Lady(ライト ハンド レイディー)	- 98 -
Set or Square(セットまたはスクエア)	- 99 -
Step Thru(ステップ スルー)	- 99 -
Turn 1/4(ターン クォーター) / 1/2(ハーフ) / 3/4 (スリークォーターズ) /	- 99 -
Full Turn By The Left/Right(フル ターン バイ ザ	

レフト/ライト)	- 99 -
Those Who Can(ゾウズ フー キャン)	- 99 -
Working As A Unit(ワーキング アズ ア ユニット) ...	- 99 -

追記C: その他の刊行物	- 99 -
Publications for dancers(ダンサー用刊行物)	- 99 -
Publications for callers(コーラー用刊行物)	- 99 -
Foreign language publications(外国語刊行物)	- 99 -

総記

Introduction (前置き)

メインストリームダンスプログラムの隊形、用語および動作(スタイリングやタイミングを含む)は、すべて本コーラーラブメインストリーム動作の定義に、詳細にわたり説明される。更に、コール方法、ダンスの仕方、コールの組み合わせについてもいろいろと約束事があり、これについても記述される。

History (履歴)

メインストリームダンスプログラムはコーラーラブが1975年に設定し、セッツインオーダーアメリカンスクエアダンス協会が1969年に行った作業(50動作のベーシックプログラムを発表)と1971年に行った作業(25の動作を加えた拡大ベーシックプログラムを発表)の次段階で、現代のウエスタンスクエアダンスの動作を成文化する第2段階といえる。

1970年代も遅くなってから、メインストリーム委員会が、メインストリーム動作のそれぞれを定義する作業に入った。この作業には数年かかり、13案が起草されたが、コーラーラブはその1案を発行し、全世界で受け入れられ、容認された。

別の委員会であるタイミング委員会とスタイリング委員会は別角度からメインストリームダンスを補足して、標準化を行い指針を作り出した。定義、スタイリングとタイミングがそれぞれ完成されると結合され、コーラーラブベーシック・メインストリーム動作の定義として発行された。1994年にはこの定義はインターネットからも入手可能となり、更なる普及、標準化、論議を促進することとなった。

1995年には、年代にあったコールをしてゆくために、微細な部分を決定付ける際、この定義集では細かい部分や正確性の面で十分ではないことが明らかになっていた。また、ある場合では、混乱を招く書き方、稚拙な言葉使いや、不明瞭な表現が見受けられた。この現存した定義集をたたき台にして、また、数多くの論評、提案、苦情を考慮し、1999年から完全な書き換え作業が始まり、本文書に至っている。

Scope (目的範囲)

この定義書は本文書が最初に草稿されたとき(すなわち2003年)にコールされ踊られていた動作について述べている。何が明らかで、何が混乱を招き、何が限界使用といえるか輪郭を明瞭に示すよう試みている。メインストリームプログラム内のそれぞれの動作について、一般的な使い方から最も稀な使用方法まですべてを包含して記述した。しかしながら、ダンサーが教えらるる必要のない大昔の使い方については記述しないようにした。

コーラーまたは知識を得たいダンサーは本文書から次のことが入手できるでしょう。

1. 各動作の正確な説明
2. 動作のコール例
3. スタイリングとタイミング
4. 容認できる動作と不適切な動作を見分ける能力

この定義書は新人ダンサー手引書ではなく、新人コーラー手引書でもない。また、スクエアダンスを一度も踊ったことがない、スクエアダンスとはかけ離れた人たちが、本書によって簡単にスクエアダンスが踊れるようになるため書かれたものでもない。動作の定義書は動作を教えるための最良の教科書であるとはいえない。同様に、動作を教えるため、または動作を早く覚えるために使われる最良と思われる言葉は、必ずしも、優れた正確で完璧な定義ではない。このために必要とされる記述は他の発行物を見たほうがよりよいと思われ、補足Cに示す。

タイミングとスタイリングについての記述は前タイミング・スタイリング委員会が作成した文書に基づいている。それぞれの動作が最も頻繁に使われる使われ方に興味がある読者は、ダンスの組み立て構成委員会が作成した、メインストリーム・スタンダード・アプリケーション小冊子を参照されたい。

正確で完璧を求め、また、普段はあまり使わない動作を行うときの微細な部分に関する論議や討議を纏めようとするとき、本定義書を紐解き、より詳しい説明を得ていただきたい。各動作定義の注釈の部分と第4部付加細目に多くを付託してある。

Approach (取り組み方)

本動作の定義書はスクエアダンスコーラーの組織により記述され発行されているが、ダンサーとコーラー両領域にまたがって提供されるべきものである。ダンサー中心またはコーラー中心のものではない。

コーラーダンサー間で展開され、瞬時にほとんど何の努力もなく理解され、処理され、実行される共通の”スクエアダンス言語”を記述しようとしている。

動作とその定義の包含に加えて、コーラーがコールし、ダンサーが聞く実際の言葉を記述している。

この言葉はすべて英語ではあるが、指示される語句は言語である英語とは別の”スクエアダンス言語”で形成される。この指示される語句はコーラーからの伝達を処理する重要な一部となる。

現代ウエスタンスクエアダンススクールにおける動作や言葉は1950年から1970年の間に一変した。

当初ダンスはそれぞれあらかじめ組み立て構成(動作と韻を踏んだパターコールの両方)されており、主題が名づけられ、特有な曲と対で使われた。音楽をかける前にコーラーはダンサーに一度歩かせて練習し、全体の動作と型を思い出させた。この練習に使われた言葉は叙事的な英語の言い回しと基本的なスクエアダンス動作の組み合わせであった。

より多くの動作が作り出されるようになると、この事前の練習は行われなくなり、ダンサーは次に何が来るか知らないで次のコールに反応するよう期待されるようになった。この”ハッシュ”コール方式が進展してくると、コーラーとダンサー間で正確な意思の疎通が行われることがより必要となった。

人間の言語には癖、例外、たくさんの慣用句、特有の表現法が存在する。今スクエアダンス

言語を再び作り出すとすれば、より少ない改良でよいかもしれないし、大きな改良を少なからず行わなければならないかもしれない。より簡単で、より矛盾のない定義付けをする必要がある。

Standardization (標準化)

コーラーとダンサーの移動性を容易にすることが、ダンスプログラムと動作の定義を標準化するひとつの理由である。何処でまた誰からダンスやコールを習ったとしても、同じダンスプログラムを踊る何処のグループを訪問しても、楽しく踊ることやコールすることができるべきである。

世界中でコールは英語で行われ、定義もまた英語である。標準化を別の局面から見ると、各種のプログラムに亘って行われている。あるダンスプログラムはそれ以前のダンスプログラムからの動作や定義をすべて踏襲している。ほとんど例外なく、動作は一度定義されるとすべてを包含し、別のプログラムでは定義が異なるということはない。

スタイリングにおいてもまた標準化が行われている。1970年代ならびに1980年代に長足の進歩を遂げたが、ある地域やグループでは、コーラーラブで承認されたスタイリング(例えば、オーシャンウェーブにおけるハンズ アップとハンズ ダウン)とは異なったスタイリングを使い続けている。1992年にコーラーラブ会員は、すべてのダンサーにある一つのスタイリングを行わせることには無理があるとの認識を示し、コーラーラブはスタイリングには地域差が存在するとの動議を採択した。

Proper vs. Improper (適切と不適切)

コーラーラブ会員(とその他)が奨励したい動作や意思疎通方法を記述するため、適切、容認可能、許容可能という言葉が適宜使われる。コーラーたちは、その最善の能力を以って、新人ダンサーを教育し、現存するダンサーにコーラーラブ方式のコールを経験させようとする。

不適切または適切ではないという言葉は、定義に従っていない、コーラーラブが奨励しない使い方を記述する場合に使用される。

コールの組み立て構成を律する治安部隊はない。不適切なコールの組み立て構成や良くないコールに対する法律もありません。コーラーは最大限の注意を払い、また、良き判断力を持って、この共通言語を使って、ダンサーを楽しませなければならない。ダンサーはこの言葉を長期にわたり教えられ、多くの時間を使ってダンスを練習している。コーラーはダンサーとの適切か不適切かというつまらない議論に訴えることなく、本文書を利用し、ダンサーとは好ましい意思疎通を保つべきである。

Conventions and Rules (約束事と規則)

スクエアダンスにはある一定の約束事が定められた領域がある。ある約束事は多くのダンサーや

コーラーが従うようになると規則に進展する。

約束事を多くのダンス例から引き出し、規則化することには危険がある。この規則を読んで、この規則を基に、新しいコールの組み立て構成を行う人も出てくると思われる。規則によってスクエアダンスが進展する方向は規則を産んだ約束事に一致しない可能性がある。すなわち、スクエアダンスは長年コールしているコーラーや長期に亘って踊っているダンサーの意図しない方向へ進んでゆくことになる。

次の約束事や規則によりスクエアダンスが踊られる方法と理由を説明する。読者は慎重によき判断力を以って、現在流布されているこれまでの使い方ではなく、以下の規則を基に新しいコールの組み立て構成を創造すべきである。

Passing Rule (通り過ぎるときの規則)

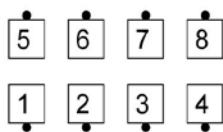
本動作の定義により二人のダンサーが同じ経路を進み、互いに通り過ぎる必要がある場合は、(別に指定されない限り)右肩で通り過ぎ、動作を続ける。鏡像に変換して(ミラーで)踊る場合は左肩で通り過ぎ、動作を続ける。(例: Left Double Pass Thru)

Same Position Rule (同一位置の規則)

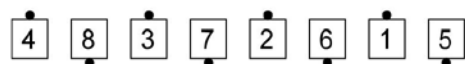
二人のダンサーが同一位置で動作を終わってこの位置に止まり、互いに反対方向を向く場合は右手のミニウエイブを作る。もし調整が必要な場合は(一人のダンサーであるべき隊形に二人のダンサーが横に並ぶので)、一緒に動いている組の外方向へ横側に調整する。

コーラーは二人のダンサーが同一方向を向いて終わり、または直角で終わり同一位置に止まるコールをすべきではない。

例: Circulate 1 1/2 (サーキュレート ワンス アンド ア ハーフ)



開始位置



終了位置

Facing Couples Rule (向き合っているカプルの規則)

オーシャンウエイブから始めると定義された動作のうちいくつかは、向かい合ったカプルから始めても適切といえる。例えば、Swing Thru (スウィング スルー)、Spin The Top (スピン ザ トップ)である。

この場合ダンサーは一歩進んで即座にオーシャンウエイブを作ってから、コールされた動作を行う。

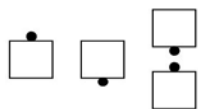
コーラーが左手からのコール(例: Left Swing Thru-レフト スウィング スルー)を指示した場合は、即座に左手オーシャンウエイブを作る。

向き合っているカプルの規則が適用される場合、本動作の定義書ではこの効果があることを注釈

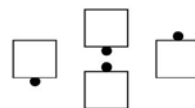
の中で述べる。このような注釈がない場合は、向き合っているカプルの規則は使えない。

向き合っているカプルの規則とは呼ばれるものの、向き合っているダンサーが一步進んだ右手のミニウエイブ、向かい合っているラインが一步進んだ右手のタイダルウエイブ等も概括的に含まれる。

次のようなミニウエイブと向き合っているダンサーが混合した動作を始める隊形も、まれではあるが、適切である。



Swing Thru (スウィング スルー)



Swing Thru (スウィング スルー)

向き合っているカプルの規則の適用により動作のタイミングは変わらない。

Ocean Wave Rule (オーシャンウエイブの規則)

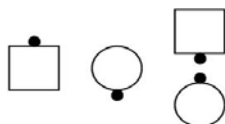
向き合っているカプルから始めるよう定義された動作も、右手のオーシャンウエイブから始めることは適切といえる。例えば、Right And Left Thru (ライト アンド レフト スルー) と Square Thru (スクエア スルー) である。この場合ダンサーはすでに向き合っているダンサーに一步進んだ位置にあり、指示された動作の残りを完了すればよい。

ダンサーを教え理解させるためには、ダンサーを向き合っているカプルの位置まで後退させ、改めてウエイブに戻し、動作を完了してみる必要があるかもしれない。

この規則はオーシャンウエイブの規則とは呼ばれるものの、ミニウエイブ(向き合っているダンサー)、タイダルウエイブ(向かい合っているライン)等も概括的に含まれる。例えば、Pass Thru (パス スルー)、Slide Thru (スライド スルー)、Box The Gnat (ボックス ザ ナット)、右手の1/4タッグ隊形から Double Pass Thru (ダブル パス スルー)、右手のオーシャンウエイブ隊形から Pass To The Center (パス トゥ ザ センター)が動作可能である。

オーシャンウエイブの規則を適用するためには、動作は Box The Gnat (ボックス ザ ナット)、Pass Thru (パス スルー)または Right Pull By (ライト プル バイ)から始まるものでなければならない。更に、オーシャンウエイブからは動作できないものに定義づけしてはならない。例えば、Circulate (サーキュレイト)はエイトチェーンスルー隊形とオーシャンウエイブ隊形からと定義付けられている。オーシャンウエイブ隊形から Circulate (サーキュレイト)をコールし、ダンサーに互いに通り過ぎる動作をさせるとしたら、オーシャンウエイブの規則上不適切である。当然ダンサーはオーシャンウエイブ隊形から Circulate (サーキュレイト)の定義を適用するからである。

次のようなミニウエイブと向き合っているダンサーが混合した動作を始める隊形も、稀ではあるが、適切である。



Right And Left Thru (ライト アンド レフト スルー)

オーシャンウェイブの規則の一部である調整を行っても、その動作の結果は変わらない。一部分を加えたり減じたりはせず、分数を使うことはない。ミニウェイブのダンサーが一度向き合った位置に後退し、改めて動作を行うようなものである。例えば、右手のミニウェイブから Dosado (ドーサードー)を行うと、向き合っているダンサーとして動作を終わり、右手のミニウェイブでは終わらない。

オーシャンウェイブの規則は向き合っているカプルから始まる動作にも適用される。ダンサーが左手のオーシャンウェイブにいるときも同じである。この場合はコーラーは左手からの動作、例えば Left Square Thru (レフト スクエア スルー)、を指示しなければならない。第4部:付加細目:指示: Reverse Wheel Around (リバーズ ウイール アラウンド)の拡大解釈を参照されたい。

半分のダンサーがミニウェイブで、他の半分が向き合っているカプルの状態にあり、二人のダンサーでできる動作をコールする場合、例えば Box The Gnat (ボックス ザ ナット)、Slide Thru (スライド スルー)、Pass Thru (パス スルー)、コーラーは誰が(例えば Everybody=皆、Those Facing=向かい合っている人)この動作をするのかははっきりさせる必要がある。オーシャンウェイブの規則の適用により動作のタイミングは変わらない。

Squared Set Convention (スクエアセットの約束事)

向き合っているダンサーまたは向き合っているカプルが動作を始める隊形と定義されている動作は、スクエアセットから始めることも可能で、適切である。コーラーはどのペア、例えば Heads (ヘッズ)、Boys (ボーイズ)、が動作を始めるか指示しなければならない。指示されたActive(アクティブ)ダンサーはセットの中央に進み出て動作を行う。Active(アクティブ)ダンサーがまだ指示を受けていないInactive(インアクティブ)ダンサーと向かい合って動作を終わった場合、このActive(アクティブ)ダンサーはセットの中央にいる。例えば、Heads Square Thru 4 (ヘッズ スクエア スルー フォー)、Heads Star Thru (ヘッズ スター スルー)、Heads Touch 1/4 (ヘッズ タッチ ア クォーター)である。

Active(アクティブ)ダンサーが Inactive(インアクティブ)ダンサーとは向き合わないで動作を終わった場合は、Active(アクティブ)ダンサーはスクエアセットの位置へ行く。はっきりした理由がある場合はこの限りでなく、中央に止まる。ダンサーがスクエアセットの位置へ行く動作の例は、Head Ladies Chain (ヘッズ レディース チェーン)、Heads Right And Left Thru (ヘッズ ライト アンド レフト スルー)、Heads Pass Thru (ヘッズ パス スルー)、Heads Square Thru 3 (ヘッズ スクエア スルー スリー)である。

動作が終わったときの手の取り方が理由で、Heads Box The Gnat (ヘッズ ボックス ザ ナット)の場合では、Heads (ヘッズ)は中央に位置し次の動作を行う。例えば Heads Right And Left Thru (ヘッズ ライト アンド レフト スルー)、Sides Right And Left Thru (サイズ ライト アンド レフト スルー)のように、通常は次のコールから動作終了の正確な位置は明らかであるが、次の動作をダンサーが引き続いて行うものかは、はっきりしない。例えば、Heads Pass Thru、Separate、Around 1 To A line (ヘッズ パス スルー、セパレート、アラウンド ワン トゥ ア ライン)である。

Active(アクティブ)ダンサーを中央に留め置きたいために、“Heads Move In (ヘッズ ムーブイン)”、“Heads Move Forward (ヘッズ ムーブ フォワード)”または“Heads Move Into The Center (ヘッズ ムーブ イントゥ ザ センター)”とコールするコーラーがいる。例えば、“Heads Move In And Square Thru 3 (ヘッズ ムーブイン スクエア スルー スリー)”で、これは Heads (ヘッズ)

がこの動作後スクエアセットの位置まで行かないで、中央に止まってもらいたいことを意味する。

タイミングとしては、Move into the center (ムーブ イントゥ ザ センター)は次の動作に2拍を加える。

中央から出るために必要な時間は、動作の最終部分に融合されることが多いことに注意する必要がある。

例えば、Right And Left Thru (ライト アンド レフト スルー)の Courtesy Turn (カーテシー ターン)を行っているときである。また、次の動作の開始部分と重なる場合もある。例えば、Heads Right And Left Thru (ヘッズ ライト アンド レフト スルー)、Sides Right And Left Thru (サイズ ライト アンド レフト スルー)である。

Circle Rule (サークル時の規則)

8人の内向きの Circle (サークル)から、コーラーが隣り合った二人のダンサーとその向かいの人を名指しして、向き合っているカプルから始まる動作をコールした場合、ダンサーは、サークルがあたかもスクエアセットに変わったように対処し、スクエアセットの約束事に従う。

コール例: スクエアセットから

Join Hands, Circle Left; Heads Up To The Middle And Back; Heads Square Thru 4.

Heads Half Sashay; All Circle Left; 4 Boys Spin The Top.

Ways of Naming Dancers (ダンサーの呼び方)

スクエアでダンサーを識別する方法はいろいろあり、”第4部:付加細目:ダンス行為:ダンサーの呼び方が意味するもの”を参照されたい。

Partner/Corner (パートナーとコーナー)

コール例:

Face Your Partner; Dosado

Face Your Corner; Allemande Left

Circle Left; Swing Your Partner

4 Ladies Promenade Inside; Swing Your Partner

解説:

普通のカプルのスクエアセットでは、各ダンサーのパートナーは隣にいるダンサーで、各ダンサーのコーナーはそのダンサーが”一番近いスクエアセットの角”を回って次にいるダンサーである。

カプルまたはミニウェイブでは、それぞれのダンサーは隣の人々のパートナーである。

男性と女性が交互に並ぶ8人の内向きサークルでは、男性のパートナーはサークル上で彼から反時計回り方向にいる隣のダンサーで、コーナーは時計回り方向のダンサーである。

女性については、パートナーがサークル上の時計回りについて、コーナーが反時計回りについている。

パートナーとコーナーはダンス中、特にシンギングコール中には変わる。 Allemande Left (アレマンド レフト)、Swing (スウイング)、Promenade (プラマネイド)は新しい当座の(Current)パートナーを成立させる。最初にスクエアセットに共に入ったダンサーは当初の(Original)パートナーで、ダンスが終わるまで変わらない。

注釈:

"4 Ladies Promenade Inside; Swing Your Partner"で、パートナーとはこのコールが始まる直前のパートナーを意味する。

最初のスクエアセットに帰す(すなわち、ダンサーを当初のパートナーとコーナーに戻す)ため、(オーシャンウェイブは向かい合っているカプルに直し、皆をセットの中心に向かせ、8人の内向きサークルにして)、コーラーは男性のコーナーを時計回り方向の隣にいる女性として確認することが有効である。こうすることにより、アラメンド レフトの後プラマネイドする男性のパートナーは、いろいろな動作を行った後も、彼から反時計回り方向の隣の女性となる。

Heads/Sides (ヘッズとサイズ)

コール例:

Heads Right and Left Thru

Head Ladies Chain

Sides Wheel Around

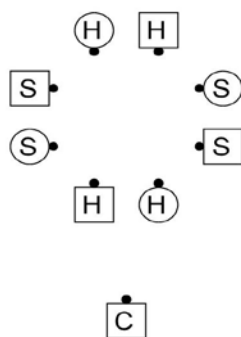
Sides Trade

Original Heads

Those In The Head Position

解説:

スクエアセットからコールを始めるとき、Heads (ヘッズ)は二つの向かい合うカプルで、コーラーに前を向けている組と背を向けている組である。Sides (サイズ)は二つの向かい合うカプルで、コーラーに対して直角に立つ組である。



C = コーラー H = Heads (ヘッズ) S = Sides (サイズ)

ダンサーが Heads (ヘッズ)であるか Sides (サイズ)となるかは最初にスクエアセットを作ったときに決まる。すなわち、Heads (ヘッズ)は”当初からのヘッズ”を意味する。例えば、Heads Run、Heads Trade、Sides Pass Thru、Sides Fold である。

スクエアセットで、当初のサイズがヘッズの位置にいる場合、コーラーは明確に、”Original Heads

(オリジナル ヘッズ=当初のヘッズ)”または”Those In The Head Position (ゾーズ イン ザ ヘッド ポジション=ヘッドの位置にいる人)”と指示しなければならない。ただ Heads (ヘッズ)というとう当初と当座の両方を意味してしまうからである。Sides (サイズ)の場合も同様である。

スクエアセットで、ヘッズとサイズが混ざってヘッズの位置にいる場合、コーラーは明確に、”Head Men And The Girl With You (ヘッド メン アンド ザ ガール ウィズ ユー=ヘッドの男性と一緒にいる女性)”または”Those In The Head Position (ゾーズ イン ザ ヘッド ポジション=ヘッドの位置にいる人)”と指示しなければならない。ただ Heads (ヘッズ)というとう当初と当座の両方を意味してしまうからである。Sides (サイズ)の場合も同様である。

ヘッドの男性とサイドの女性がプラマネイドしている場合、”Heads (ヘッズ)”というとう、”ヘッドの男性と共にいるサイドの女性”を意味する。例えば、Heads Wheel Around (ヘッズ ウィール アラウンド)である。Sides (サイズ)についても同様である。

シンギングコールのフィギュアではほとんどの場合女性はそれぞれ次の男性へと進む。この場合女性は一時的にヘッズかサイズとなり、その男性のホーム位置に進む。

ある地域では、シンギングコールの前に”Rotate (ローテイト)”または”Stir The Bucket (スターザ バケット)”を行う。すなわち、セットを右方向に90度回転し、皆が新しいホーム位置に移動する。この動きはコーラーがハッシュの最後のコールとして組み立て構成することも可能であり、またダンサーはシンギングコールが始まる前に動くこともできる。いずれにしても、ダンサーはシンギングコールのため新しいヘッズとサイズとなる。

Couple #1,#2,#3,#4 (カプルNo. 1、No. 2、No. 3、No. 4)

コール例:

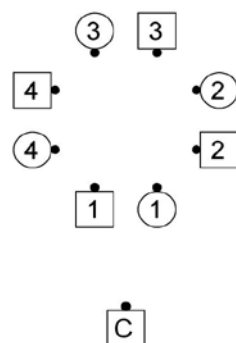
Couples 1 and 3 make a Right Hand Star
1 and 3 Lead Out To The Right
Couple 1 Split Couple 3, Round one to a line

解説:

スクエアセットからコールを始めるとき、コーラーに背中を向けている組が、カプルNo. 1で、その右の組がカプルNo. 2というように続く。

ダンサーの番号はスクエアセットを最初に作ったときに設定される。

シンギングコールのフィギュアではほとんどの場合女性はそれぞれ次の男性へと進む。この場合女性は一時的に男性のカプル番号となり、その男性のホーム位置に進む。



注釈:

”Couples 1 And 3 (カプルズ ワン アンド スリー)”と”1 And 3 (ワン アンド スリー)”は”Heads (ヘッズ)”と同じである。

最近のコール組み立て構成においてはダンサーを識別する場合カプル番号を使わない。上記 Heads/Sides (ヘッズとサイズ)を参照されたい。

Boys/Girls (ボーイズとガールズ)

コール例:

Boys Run

Girls Trade

Men Circulate; Ladies Trade

Cloverleaf; Ladies Lead Dixie Style to a Wave

All 4 Ladies Chain

解説:

Boys (ボーイズ)は最初にスクエアセットを作ったダンサーで、各カプルの左側ダンサーである。Girls (ガールズ)は最初にスクエアセットを作ったダンサーで、各カプルの右側ダンサーである。Boys (ボーイズ)の同意語として、Men (メン)、Gents (ジェンツ)、Gentlemen (ジェントルメン)、Guys (ガイズ)が使われ、Girls (ガールズ)の同意語として、Women (ウイメン)、Ladies (レイディーズ)、Gals (ギャルズ)使われる。

注釈:

ダンサーの実際の性にかかわらず、最初にスクエアセットを作った時、カプルの左側に立ったダンサーは Boys (ボーイズ)の役割を果たし、右側のダンサーは Girls (ガールズ)の役を行う。

スクエアダンスではすべての指示は男性に出されると唱えるコーラーは多く、女性は注意して反対の動きをすと言う。最近の教え方、コールの組み立て構成、コールでは、この陳述は誤解を招き、一般的に真実とはいえない。たいていの動作は性には関係なく定義される。たいていの指示はアクティブダンサーに与えられる。コーラーはこの神話が永続しないように教え、コールするべきである。

Centers/Ends (センターズとエンズ)

コール例:

Each Side, Centers Trade

On Your Own Side, Centers Trade

Centers Of Each Side, Pass Thru

Center 4, Walk And Dodge

Ends Fold

解説:

スクエア(または隊形)の中心が”Centers (センターズ)”と呼ばれる。スクエア(または隊形)の外側が”Ends (エンズ)”と呼ばれる。一般的な隊形の”Centers (センターズ)=C”と”Ends (エンズ)=E”を次に示す:

E C C E

4人1列の隊形: "Centers (センタース)=C"と"Ends (エンズ)=E"

8人になると隊形により可能性は増える:

E C C E
E C C E

E
C
E C C E
C
E

4人2列の隊形: "Centers"と"Ends"

一般的なザー隊形: "Centers"と"Ends"

コーラーは"Each Side (イーチ サイド)、Centers (センタース)"または"Center 4 (センターフォー)"

とコールし、8人1列隊形の Centers (センタース)に生ずるあいまいさを避ける必要がある。

次は比較的少ないと思うが、定義を参照されたい:

E C C E E C C E

8人1列隊形: "Each Side, Centers"または
"Each Side, Ends"

□ □ C C C C □ □

8人1列隊形: "Center 4"

□ □
C C C C
□ □

一般的なタッグ隊形: "Center 4"または"Centers"

○ ○
□ □ □ □
○ ○

一般的なタッグ隊形: "Outside 4"

○ ○ □ □ □ □ ○ ○

8人1列隊形: "Outside 4"

C C
□ C C □
C C

一般的なタッグ隊形: "Center 6"

○ ○
○ □ □ ○
○ ○

一般的なタッグ隊形: "Outside 6"

□ □ □ C C □ □ □

8人1列隊形: "Very Centers"

E □ □ □ □ □ □ E

8人1列隊形: "Very Ends"

Leaders / Trailers (リーダーズとトレイラーズ)

Leaders and Trailers(リーダーズとトレイラーズ)についてよく理解することが重要となる。動作を定義し(例えばCloverleaf)、教えるときに(例えばZoom)利用されるからである。また、この言葉はダンス中にコールされる場合もある(例えばLeaders Trade)。

コール例:

Double Pass Thru; Leaders Trade

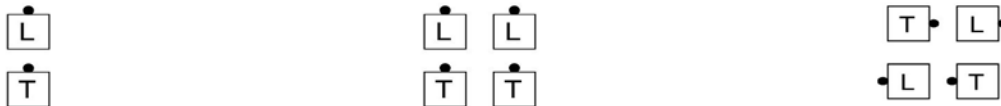
Lines Forward And Back; Pass Thru; Tag The Line; Leaders U-Turn Back

解説:

どのようなボックス隊形であっても(例えばbox circulate-ボックス サーキュレイト, tandem couples-前後の関係にいるカップル), ボックスから外を向いている人がLeaders(リーダーズ)で、ボックスの中を向いている人がTrailers(トレイラーズ)である。

他のダンサー二人が作る隊形(例えば前後の関係にいるカップル、向かい合ったカップル、背中合わせとなったダンサー)では、ダンサー二人が作る隊形の中心から外を向いている人がLeaders(リーダーズ)で、ダンサー二人が作る隊形の中心へ向いている人がTrailers(トレイラーズ)である。これ以外の人にはLeaders(リーダーズ)でもTrailers(トレイラーズ)でもない。

下図において、“L”と記された人がLeaders(リーダーズ)で、“T”と記されたダンサーがTrailers(トレイラーズ)である。



注釈:

メインストリームにおいては、Leaders(リーダーズ)とTrailers(トレイラーズ)は普通 tandem couples(前後の関係にいるカップル)またはtandem dancers(前後の関係にいるダンサー)に限って使われる。

アクティブダンサーを指定する場合、ひとつ以上の選択肢が存在する 경우가よくある。Leaders and Trailers(リーダーズとトレイラーズ)が正しいであろう場合も、“Boys/Girls(ボーイズ/ガールズ)”、“Centers/Ends(センターズ/エンズ)”、“First/Next(ファースト/ネクスト)”が使われる場合も比較的多く、時によってはこちらのほうがセットを壊さなくて済むかもしれない。

ベーシックプログラムー第1部定義

各動作の定義は8部で構成される。

1. 動作名

ダンスプログラムに書かれているもの。通常はこの名前がコールされる。

2. 動作を始める隊形

実用的でない場合を除き、一般的な動作を始める隊形をすべて記載した。稀に”のみ”という言葉を使った場合があるが、これは記載した動作を始める隊形のみを指示するもので、これ以外は使用すべきではない。本定義集に使われるすべての隊形は”隊形”追記に定義される。更に、動作を始める隊形については第4部付加細目内に解説した。

3. コール例

動作をコールするために使われる言い回しを数多く記載した。最も単純なものまたは最も一般的なものから記載している。決まり文句やコールを助成する言葉を記載した場合もある。

4. 動作

英語、他の動作名またはその両方を使って、動作をどのように行うかを説明。複雑な動作は順を追って部分部分に分解して説明される。また、記載されたすべての動作を始める隊形から記述した。出来るだけ動作の本質を捉えて言語化するよう努力した。追記B:”記述用語法”と”第4部:付加細目:動作:定義詳細”を参照願いたい。

5. 動作を終わる隊形

読者が動作を理解できたかどうか、ダブルチェックできるように、動作を終わる隊形を附した。本定義書に使われるすべての隊形は追記A:”隊形”に明示する。

6. タイミング

それぞれの動作を実行する際には、音楽の各1拍に合わせて1歩を進むが、この歩数(拍数)はタイミング委員会によって定められ、それぞれの動作に与えられている。”第4部:付加細目:タイミング”を参照願いたい。

7. スタイリング

手の位置、手の取り方やスカートを使い方など推奨スタイリングを示した。詳しくは”第4部:付加細目:スタイリング”を参照してください。

8. 注釈

動作についての重要情報、説明、例外、使い方をこの項に包含した。

1. Circle Left (サークル レフト) / Circle Right (サークル ライト)

1.a. 事例1:8人のダンサー

動作を始める隊形:スクエアセット、8人の内向きサークル。

コール例:

Circle Left

Circle to the Left

Join Hands, Circle Left

Circle Right, The Other Way Back

(サークルが左へ動いているとき) Reverse, and Circle Right the other way back

Circle

動作:

ダンサーは隣の人と手をつないで円(サークル)を作り、この円(サークル)を指示された方向へ動かす。方向が指示されない場合は左へ動く。動く量は距離により指定される場合がある。例えば、(Circle Left 1/2 Way-サークル左を半分) または、次のコールがあるまで(例: Circle Left ... Circle Right)。

動作を終わる隊形:

8人の内向きサークル。 "Stop At Home-ホームで停止"の指示があった場合は、スクエアセット。

タイミング: 1/4 周: 4拍、 1/2 周: 8拍、 3/4 周: 12拍、 全周: 16拍。

スタイリング:

ダンサーは手をつなぎ(カプルの手の取り方)円を作りますが、動く方向により少し左または右を向く。ダンサーは手をつなぎ歩くが、肘は楽に曲げ、手は肘よりも上になるようにする。サークルにおけるカプルの手の取り方は、男性女性が交互にいるサークルでは、男性の手のひらを上、女性の手のひらを下にし、他のサークル、例えば同性同士が隣り合う場合では、それぞれ右手のひらを上、左手のひらを下にする。

8人の内向きサークルで歩くと、体を動かさない場合もあるが、グレイプバインステップを踏んで、体や手を左右に合わせて動かし、コーナーやパートナーと目を合わせながら踊るところもある。

注釈:

方向の指示がなく"Circle(サークル)"のコールがあった場合は、Circle Left(サークル レフト)の簡略表現である。このコールは歌詞との関連で、主にシンギングコールで使われる。

サークルで動いているとき、"Reverse-リバース"または"Go The Other Way-ゴー ジ アザー ウエイ"と指示される場合があるが、この場合いったん止まって反対方向へ動く。"Circle Right-サークル ライト (または Left-レフト)"に引き続いて指示されるのが一般的である。

1.b.事例 2:4人のダンサー

動作を始める隊形: 向かい合ったカプル。

コール例:

Circle Left 1/2 Way

Circle Four, 1/2 Way Around

Circle Right 3/4

4人のグループで、Circle Left 3/4 of the Way Around

動作:

上記に同じ。 4人のサークルで踊っている場合、相当量回転しても同じカプルに向き合って終わる。

動作を終わる隊形:向かい合ったカプル。

タイミング:1/2 周: 4拍、3/4 周: 6拍、全周: 8拍。

スタイリング:

上記に同じ。 4人のサークルではグレイプバインステップを踏んで動くことは推奨されない。

1.c.事例 3:2人のダンサー

動作を始める隊形:向かい合ったダンサー。

コール例:

Join 2 Hands And Circle Left Halfway

Make Circles of 2 and Circle Left Halfway

With the person in front of you circle 1/4, 1/2, 3/4, or full around

Allemande Left; Dosado; with your Partner Circle 1/2 and Star Thru

Head Ladies Step Into The Center and Circle 1/2 With Each Other

With the one you face, join both hands and circle 1/2, 3/4 or full around

動作:上記に同じ。

動作を終わる隊形:向かい合ったダンサー。

タイミング:1/2 周: 4拍、3/4 周: 5拍。

スタイリング:

男性女性のサークルでは、男性の手のひらを上、女性の手のひらを下にし、同姓のサークルでは、右手のひらを上、左手のひらを下にする。 常に後者のスタイリングで踊る地域もある。

注釈:

2人またはそれ以上でサークルを動くという概念はメインストリームのものであるが、うまく設定された言語表現がない。 2人のダンサーによるサークルを行いたいコーラーはダンサーに良くわかる言語表現をしなければならない。

2人のダンサーによるサークルを行いたいために"Single Circle—シングル サークル"という語句を使うコーラーがいるが(例、Single Circle 3/4 to A StarThru)、"Single Circle—シングル サークル"という語句はメインストリームでは明らかにリストにはなく、教えられてはいないため、この使い方は問題があり、ダンサーには伝わらない可能性がある。 更に、"Single Circle—シングル サークル"という語句は"Single Circle To A Wave—シングル サークル トゥ ア ウエイブ"という動作に非常に似ており、これは別のダンスプログラムのものである。 "Single Circle—シングル サークル"という語句をメインストリームで使うことは不適切であると感ずるコーラーもいる。

2. Forward And Back (フォワード アンド バック)

動作を始める隊形:

スクエアセット、8人の内向きサークル、向かい合ったライン。

コール例:

Up To The Middle And Back

All Go Forward And Back

Join Hands, All Go Forward And Back

Into The Middle With A Great Big Yell (スクエアセット、8人の内向きサークルから)

Heads Go Forward And Back (スクエアセットから)

Lines Of 4, Up And Back (向かい合ったラインから)

Lines Up to the middle and Back (向かい合ったラインから)

Rock Forward And Back (向かい合ったラインから)

動作:

隣の人と手をつなぎ、3歩前進し、一瞬止まって、3歩後退し一瞬止まる。

動作を終わる隊形:動作を始める隊形に同じ。

タイミング:間が狭いライン:4拍、その他全て:8拍。

スタイリング:

各ダンサーは3歩前進し、一瞬止まるが、このとき自由な足を前に出し、床にタッチする。タッチした足には体重を移動しない。次に、各ダンサーはこのタッチした自由な足から3歩後退し、一瞬止まるが、このとき自由な足を体重を支えている足の横にタッチする。

向かい合ったラインから、または8拍を数えるのが不適切である同様の状況からは、各ダンサーは前進し、一瞬止まるが、このとき他の足を前に出し、床にタッチする。タッチした足には体重を移動しない。次に、各ダンサーはこのタッチした自由な足から後退し、一瞬止まるが、このとき自由な足を体重を支えている足の横にタッチする。

カプルまたはラインは中央で会うことになるが、端にいるダンサーは外側の手のひらと手のひらを合わせても良い(手のひらは平らで指先を上)。

注釈:

向かい合ったラインからのForward And Back(フォワード アンド バック)におけるタイミングはいろいろな要素により変化する。言葉が当てはめられたトラディショナルスクエアやコントラでは、明らかに8拍となり、メインストリームダンスにおいても、当初ラインが互いに少し離れていて、ダンサーが余裕を以って8拍で踊るようコーラーがコールした場合は8拍になりうる(例:Lines Go Forward ... And You Come Back Out)。

コールを構成する際や現代のウエスタンスクエアダンスでパターコールを行う場合は、Forward And Back(フォワード アンド バック)はほとんどの場合4拍で踊られるよう徐々に進展してきている。

“Balance Up And Back” とか “Rock Forward And Back”等とコールをして、ダンサーに4拍の手がかりを与え、他は8拍であると思わせるコーラーもいる。あるコーラーは、ライン間の距離でタイミングは決まるとする。また別のコーラーは4拍分しか許さない。

また、Forward And Back(フォワード アンド バック)は、壊れたセットが普通の向かい合ったラインを作って待ち、進行するダンスに再び参加できるコーラーからの合図として使われる。

3. Dosado(ドーサードー)/Dosado to a Wave(ドーサードー トウ ア ウエイブ)

3.a. Dosado(ドーサードー)

動作を始める隊形:向かい合ったダンサー

コール例:

Dosado

Dosado your corner

Dosado your partner

Head Men Dosado

Heads Go Forward And Back; Heads Dosado

動作:

滑らかに円周上を歩くが、ダンサーは前進し、右肩を通り過ぎて右横へ動き、後退して左肩を通り、左へ少し動いて動作を始めた位置へ戻る。

動作を終わる隊形:向かい合ったダンサー

タイミング:

スクエアセットから指示されたダンサーがスクエアセットへ戻る:8拍、その他:6拍。

スタイリング:

男性:腕は自然な位置に取り、右肩を通るときは右肩を前に出し、左肩ですれ違うときは左肩を前に出す。女性:両手はスカートを取り、向かいから来る人を避けるように、スカートを前後に動かす。右肩を通るときは右手を、左肩ですれ違うときは左手を前に出す。

新しいダンサーでも Dosado(ドーサードー)をするとき腕を前に交差する人がいるが、これは昔のスクエアダンスを見てのことだと思われ、現在では勧められない。

注釈:

“Dosado Your Corner”は“Face Your Corner; Dosado”を縮めたものである。“Dosado Your Partner”についても同じである。

オーシャンウェイブの規則が適用される。動作を終わる隊形は向かい合ったダンサーのままである。

スクエアセットからの“Head Men Dosado”は許される。互いに近づき、“Dosado(ドーサードー)”をした後、本来の位置へ戻る。

左肩を通り過ぎることで始まる Dosado(ドーサードー)は Left Dosado(レフト ドーサードー)とコールされる。

かつてはこの Left Dosado(レフト ドーサードー)をするためにしばしば See Saw が使われた

が、2003年にメインストリーム委員会が投票して See Saw の適用を除外し、コーラーは Left Dosado(レフト ドーサードー)を使うように希望している。

3.b. Dosado to a Wave(ドーサードー トゥ ア ウエイブ)

動作を始める隊形:向かい合ったダンサー

コール例:

Dosado To A Wave

Dosado and Make A Wave

動作:

滑らかな一動作で、“Dosado(ドーサードー)”をし、一步進んでオーシャンウエイブを作る。

動作を終わる隊形:右手のミニウエイブ

タイミング: 6拍

スタイリング:

Dosado(ドーサードー)/Step To A Wave(ステップ トゥ ア ウエイブ)に従う。

注釈:オーシャンウエイブの規則が適用される。

4. Swing(スウィング)

動作を始める隊形:向かい合ったダンサー(男性と女性)

コール例:

Swing Your Partner

Swing Your Corner; Promenade

... and Swing

Circle Left, Swing Your Corner, Circle Left

Swing your Corner, Allemande Left (new corner), Promenade

動作:

少し左寄りに前進し、社交ダンスのように組んで、音楽の4拍またはそれ以上時計回りに回転する。この動作を終わるに当たり、女性は右に回り続け、男性の右腕に沿って展開し、男性と同じ方向を向く。

動作を終わる隊形:

普通のカプル。通常はセットの中心を向く。または、次の動作(例えば Promenade—プラマネイド)を行うのに適切な方向を向く。コーラーは Swing(スウィング)後の精細な位置から動き始めるコールの構成をするべきではない。

タイミング:状況により異なり、少なくとも4拍。

スタイリング:

実際のスタイリングはどのようなステップが使われるかにより変わる。ウォーキングまたはバズ

ステップの両者では、男性のスタイリングは同じで、左腕はひじで少し曲げ、手のひらは少し上向き、右手は平らに女性の左肩甲骨上に置く。男性は女性の背中で手のひらを平らにし、右手の指先を女性の左腎臓近くの、背中の柔らかい部分に突き立てないように注意すべきである。

ウォーキングステップを使う女性については、左手のひらを男性の右上腕外部に置き、手は男性の腕をつかまないよう比較的平らに保つよう注意する。女性はまた左ひじを少し上げ、男性のひじを押し下げないように注意する。この姿勢はまた男性が女性より著しく背が高い場合でも有効である。早いバズステップを踏むためには、女性の左手は平らに男性の右肩甲骨上に置き、女性の左ひじを少し上げて組み、男性のひじを押し下げないように自分自身を保持する。いずれのステップにおいても右手は男性の左手に、手のひらを下にして置く。

Swing(スウィング)を行うことによって遠心力が発生する。両人がそれぞれ自分を保持するよう気をつける必要がある。早い Swing(スウィング)をすればするほど、パートナーの腕に少し寄りかかるようにする。大きく寄りかかりすぎてはいけない。適切な組み方をしている、しばしば自然に起きる。

ダンサーが互いに離れようとする力は、男性の右手右腕と女性の左手左腕を合わせた支持力の反作用により相殺される。他の腕はバランスを取るために軽く組んでいるだけでよい。力を入れると流れるような動きがなくなり、ぎこちないものになってしまう。

背の高さに差がある場合、上記スタイリングに修正を必要とする。例えば、男性が女性より著しく背が高い場合、女性の左手は男性の右上腕二頭筋外側に手のひらを平らにして置くことになるはずである。

ウォーキングステップの足の動き:二人の真ん中を中心として歩幅を小さく、時計回りに回る。
バズステップの足の動き:二人の中心点を軸に右足は小さなステップを踏み時計回りに前進するが、左足はスクーターを押すように動かす。右足が常に左足の前になる。

終了方法:

男性が適時に Swing(スウィング)の終了をリードし、カプルとなって次の動作のための適切な方向を向く。

トワールをしない終了方法:

男性が正しい方向を向いたとき動きを止めて Swing(スウィング)の終了をリードし、男性の左手を離す。女性は動き続け、男性の右腕から少し回るように離れて、男性と同じ方向を向きカプルとなる。女性が動き終わって安定したとき、男性は右手を次の適切な位置、カプルの手の取り方または Promenade(プラマネイド)の手のとり方に調節する。

トワールをする終了方法:

次の動作が Promenade(プラマネイド)または急を要する動作でない場合、Swing(スウィング)はトワールをして終了しても良い。(したがって、Swing, Twirl, Circle Left へ続く場合は勧められない)。男性は左手を女性の頭上へ上げ、手をカップのようにして女性の右手を支え、時計回りのトワールへ導く。女性は3歩前進し、男性は女性の右手を自分の右手に移し、4歩目で両左手をつないで、Promenade(プラマネイド)の手のとり方に調節する。女性が回っている間に、男性はLOD方向へ前進し、Promenade(プラマネイド)隊形となる。トワールは女性の選択による。”第4部:付加細目:スタイリング:トワール”を参照してください。トワールは余分な時間と場所、調整を必要とする。トワールをする人たちはこれらの要素に注意を払わねばならない。

注釈:

オーシャンウェイブの規則が適用される。

Swing(スウィング)をすると目が回る人がいる。 パートナーが Swing(スウィング)を要するのか注意を払いなさい。

重量がまったく異なる二人(例えば、大人が子供をスイングする)が Swing(スウィング)するのは、軽いダンサーを床から持ち上げることもなり、無礼であり危険である。

Swing(スウィング)中は縦の動きをするべきではなく、跳んだりはねたりしない。

Swing(スウィング)するときには兩人とも右腰を真横につけたり、きっちりと正面を向くのではなく、正面から左に少しずれて、女性が男性の右肩を見るくらいの角度にする。

Swing(スウィング)するときも音楽のリズムに合わせる。 ウォーキングステップでは一歩が音楽の各ビートに乗り、バズステップでは右足の一步が音楽の各ビートに乗る。 早いステップすなわち1ビートで2歩と説明する人もいる。

経験あるダンサーは女性パートナーにステップを合わせて(ウォーキングステップかバズステップであるかを)調整する。

“Swing Your Partner” は “Face Your Partner; Swing”を簡略化したもので、“Swing Your Corner”と同じである。

もしカプルがスクエアセットの外を向いていてSwing(スウィング)をコールされた場合、二人は互いに向き合い、Swing(スウィング)する。 例えばTrade By(トレード バイ)隊形(センターが向かい合った人と外は隣の人)、また、向かい合ったラインからSquare Thru 3(スクエア スルー スリー)から(隣の人)のSwing(スウィング)である。

スクエアセットから“Heds(ヘッズ)またはSides(サイズ) Swing(スウィング)”のコールがあった場合は、指示された人が向き合ってSwing(スウィング)する。 すなわち、近くにいる人をSwing(スウィング)するのであって、オポジットの人をSwing(スウィング)するのではない。

5. Promenade Family(プラマネイド ファミリー)

Promenade(プラマネイド)は一部のまたは全てのダンサーがスクエアセットの周りを回って歩くことである。 アクティブダンサーが個人でまたはカプルで動くこともある。 ダンサーは Promenade(プラマネイド)方向(反時計回り)に動くか逆 Promenade(プラマネイド)方向(時計回り)へ動く。 全てのダンサーが Promenade(プラマネイド)でない場合は、更にセットの内側を歩くか外側を歩くかの選択がある。

5.a. Couples -カプルズ(Full-フル, 1/2-ハーフ, 3/4-スリー クォーターズ)

動作を始める隊形:

Right and Left Grand Circle(男性はPromenade(プラマネイド)方向、女性は逆Promenade(プラマネイド)方向を向いている場合のみ)、スクエアセット、左手のTwo Faced Lines (トゥ フェイスト ラインズ)。

コール例:

Promenade Home
Heads Promenade Half (or Halfway)
Promenade, Keep Walking
Promenade, don't stop, don't slow down
Sides Promenade 3/4
Heads Pass Thru, Promenade 3/4, while Sides Right and Left Thru
All Promenade to the lady's home position

動作:

必要であれば次のように Promenade (プラマネイド) 隊形に調節する。

- カプルー組で Promenade (プラマネイド) 方向 (反時計回り) を向く。
- Right and Left Grand Circle からは、女性は向きやすい方向へ回転し、男性は前進して (内側へ入り)、普通のカプルとなる。

各カプルは一組となり、スクエアセットのセンターを中心として円周上を前進する。あるカプルが名指しされた場合は、特に他の指示がなければ、セットの外側を Promenade (プラマネイド) する。

もし指示があった場合は、カプルは指示された量だけ Promenade (プラマネイド) する。

“Promenade Home (プラマネイド ホーム)” のコールがあった場合、カプルは男性のホーム位置へ Promenade (プラマネイド) する。いずれの場合も Promenade (プラマネイド) を終わるときは、カプルのままでセットの中心を向く。一方、もし Keep Walking (キープ ウォーキング) の指示があった場合はカプルで中を向かずに、次のコールがあるまで歩き続ける。

動作を終わる隊形:

スクエアセット (例: Promenade Home)、Promenade-プラマネイド (例、Promenade, Keep Walking)、セットの外側でセットの中心を向いたカプル (例: Sides Promenade 3/4; Heads Square Thru 3)。

タイミング:

1/4: 4拍、1/2: 8拍、3/4: 12拍、全周: 16拍。

スタイリング:

全てのダンサーが Promenade (プラマネイド) する場合、セット中心への男性の距離は、Star Promenade (スタープラマネイド) (#5.d) よりもやや大きい。隊形が広がりすぎると、外側を歩くダンサーは遠くを早く回らなければならず、適切なタイミングには合わない。

Promenade (プラマネイド) するためのスタイリングはいろいろあり、コーラーラブとしてはあるスタイリング (下記に説明) を推奨するが、新人はその地域やクラブでよく使われるスタイリングを学ぶべきである。経験者はいろいろなプラマネイドの手のとり方のうち、クラブやその地域で標準的に使っているもの、前の動作、コーラーのタイミング、パートナーの好み等を基本にして選択すればよい。簡単にするために、次では男女普通のカプルを想定して説明する。

ダンサーは左手を前でとるが、女性は左手のひらを下にして、手のひらを上にした男性の左手に乗せる。右手の取り方はいろいろあるが次が一般的である。

- スケートーズ ポジション (コーラーラブ推奨):
右手は同様にとり、男性の右の前腕が女性の左腕の上になる。音楽に合わせて手を動かすダンサーもいる。

- ・ スカート スケートーズ ポジション:

男性の右腕は女性の背中へ回し、右手を女性の右腰にとる。スカートスケーターズの変化したものとして、男性が右手を女性の腰の中ほどに置き、女性が右手でスカートを取り、スカートを動かすものがある(”第4部:付加細目:スタイリング:他のスタイリングにおける用語と問題”を参照)。

- ・ バルソビエヌ ポジション:

女性の右腕は曲げ、手のひらを肩近くまで上げる。男性の右腕は女性の背中へ回して、右手のひらを下に向けて女性の右手のひらに置く。

上記の説明に加えて、指示されたダンサーがスクエアセットから特定の距離を Promenade (プラマネイド) する場合 (例えば、Heads Promenade 1/2)、カプルの手の取り方を使っても良い。このスタイリングはカプルがハーフサシェイしている場合や、同性である場合にもよく使われる。

コーラーが Keep Walking (キープ ウォーキング) の指示をしなかった場合、Promenade (プラマネイド) の終了方法にはいろいろある。いずれにしてもスムーズにカプルの手の取り方に移行すべきである。時にカプルとして単に回ってスクエアセットの中心を向く場合もある。また、別の時には Twirl (トワール) をして終わることもある。Twirl (トワール) については”第4部:付加細目:スタイリング:他のスタイリングにおける用語と問題”の中の” Twirl (トワール)”を参照。Twirl (トワール) による終了方法はカプルがホームへ帰る様子によって異なる。次の二つのどちらかである。

- ・ 右手をつないでいる場合は離す。男性がトワールをリードし、つないだ左手を上げ、女性を左手の下で時計回りのトワールをするよう穏やかに導く。
- ・ コーラーラブ推奨のポジションからのみであるが、代わりに左手を離す。男性がトワールをリードし、つないだ右手を上げ、女性を右手の下で時計回りのトワールをするよう穏やかに導く。

注釈:

特にシンギングコールの場合であるが、Promenade (プラマネイド) はすべてセットの周りを1/4以上回る。もしPromenade (プラマネイド) がそれ以下になる場合は、更に全周を回るべきである。必要に応じて、コーラーはコーラーの望む回り方を明確にしておくべきである。

Heads Promenade 1/2 (ヘッズ プラマネイド ハーフ) に関しては、サイズは素早くセットの中心に一步進んで、プラマネイドするカプルのため、後ろに道を開ける。Heads Promenade 3/4 (または 1/4) (ヘッズ プラマネイド スリー クォーターズまたはクォーター) に関しては、サイズはセットの中心に進んで、そのままそこに留まる。

カプルで Promenade (プラマネイド) する場合は、通常普通のカプルとして行う。他の組み合わせの場合はワークショップを行うほうがよい、

カプルの男性と女性の位置が入れ替わっている場合や、同性の場合は、Promenade Home (プラマネイド ホーム) のコールはダンサーにとって分かりづらく (全員が当初のパートナーを連れている場合を除き)、コーラーはカプルがどこで Promenade (プラマネイド) を終了するのか更に指示しなければならない (例えば、Promenade to the girl's home)。

前の動作から移行して Promenade (プラマネイド) へ入ることは可能である。例えば、Facing Lines から Reverse Flutter Wheel, Promenade Home (プラマネイド ホーム) である。”第4部:付加細目:動作の別のコールとの組み合わせ”を参照。

5.b. Single File Promenade(シングル ファイル プラマネイド)

動作を始める隊形:

内向きの8人のサークル、スクエアセット、左手のカラム。

コール例:

Four Girls Promenade inside the ring; come back and give your guy a Swing

Men Promenade inside, go single file

All Promenade Single File; girls Backtrack

Couples Promenade; put the lady in the lead, go single file

Circle Right; drop hands; Single File Promenade

Couple 1, turn your back on your partner and Promenade this way around the outside of the set

Promenade Single File; men turn in and Star by the Right

Left Touch 1/4; Single File Promenade Home (from Facing Lines)

Circle Left; drop hands, go single file (i.e., Wrong Way Single File Promenade)

動作:

スクエアセットからあるダンサーが指示された場合(例えば、Ladies Single File Promenade)、ダンサーはまず中心へ進む。

指示されたダンサーは、必要に応じて、プラマネイド方向を向き、シングルファイル(一列)で、スクエアセットの中心に沿って前進する。次の動作により何時止まり何をするかが決まる。

動作を終わる隊形:

Single File Promenade(シングル ファイル プラマネイド)(8人より少ないダンサーの場合もありうる)、スクエアセット(例えば、Single File Promenade Home(シングル ファイル プラマネイド ホーム))

タイミング:

4人のダンサーが内側をプラマネイドしてホームへ帰る場合: 8拍。

スタイリング:

Single File Promenade(シングル ファイル プラマネイド)では、男性は腕を自然なダンス位置に保持する。女性は両手でスカートを取り、自然な動きでスカートを振りながら、前進する。

あるダンサーがSingle File Promenade(シングル ファイル プラマネイド)している場合は、インアクティブダンサーはそのダンサーの邪魔をしないように動く。即ち、空きを作って、そのダンサーが完全に通り過ぎた後、元の場所に戻る。

注釈:

もしダンサーが外を向いていて、Single File Promenade(シングル ファイル プラマネイド)を指示された場合は(例えば、Heads Pass Thru, Promenade Single File)、一步前に出てから外側をプラマネイドする。

ダンサーが一人でプラマネイドとは反対方向へ進む動作をWrong Way Single File Promenade(ロング ウエイ シングル ファイル プラマネイド)という。例えば、Walk Around Your Corner; See Saw; four boys Wrong Way Single File Promenade inside である。

Single File Promenade(シングル ファイル プラマネイド)を分割するコーラーもいる(例えば、Heads Single File Promenade 1/2)。ダンサーはSingle File Promenade(シングル ファイル プラマネイド)隊形のままで、次のコールが与えられるのを待つ。

5.c. Wrong Way Promenade(ロング ウエイ プラマネイド)

動作を始める隊形:

スクエアセット、右手のTwo Faced Lines (トゥ フェイスト ラインズ)、Right and Left Grand Circle (男性は逆Promenade(プラマネイド)方向、女性はPromenade(プラマネイド)方向を向いている場合のみ)。

コール例:

Wrong Way Promenade Home

Wrong Way Promenade, keep walking

Heads Lead Right; Veer Left; Promenade Wrong Way, don't slow down; Heads Wheel Around Veer Left; Couples Circulate; Promenade this way home

Heads Wrong Way Promenade 3/4

All Promenade; All Wheel Around; Wrong Way Promenade; girls Star Right, boys Backtrack Allemande Left; turn partner right a full turn to a Wrong Way Thar; boys Run; Wrong Way Promenade

Wrong Way Grand; Wrong Way Promenade Home

動作:

Wrong Way Promenade(ロング ウエイ プラマネイド)はダンサーが時計回り(即ち、プラマネイドと反対方向)に動く以外はPromenade(プラマネイド)と同じであるが、男性女性が上記動作を始める隊形に述べられた位置にあるRight and Left Grand Circleから始める場合は、プラマネイドと同じように、調整が必要であり、女性が反対方向を向き、男性が前進するが、男性が外側に出て普通のカプル隊形を作らなければならない。

動作を終わる隊形:

スクエアセット(例:Wrong Way Promenade Home)、ロング ウエイ プラマネイド(例、Wrong Way Promenade, Keep Walking)、セットの外側でセットの中心を向いたカプル(例:Sides Wrong Way Promenade 3/4; Heads Square Thru 3)。

タイミング:

1/4: 4拍、1/2: 8拍、3/4: 12拍、全周: 16拍。

スタイリング:

Promenade(プラマネイド)(#5a)と同じ。

注釈:

Wrong Way Promenade(ロング ウエイ プラマネイド)はそう度々コールされるものではなく、普通のカプル、即ち、女性が内側、で使われるのが通常である。

ダンサーがすでにWrong Way Promenade(ロング ウエイ プラマネイド)方向に向いている場合、Wrong Way(ロング ウエイ)とは言わずに、"This Way(ジス ウエイ)-このまま"と言うコーラーもいる。

Promenade(プラマネイド)(#5a)も参照してください。

5.d. Star Promenade(スター プラマネイド)

動作を始める隊形:

セットの中心にいる4人のダンサーがスターでその外側に4人のダンサー。

コール例:

Men make a Left-Hand Star, go once around; pick up your partner with an arm around, Star Promenade; back out at home

Four Ladies make a Right-Hand Star; pick up your partner, Star Promenade; Boys Backtrack

Heads make a Right-Hand Star; pick up your corner with an arm around, Star Promenade; Centers back out with a full turn around and a little bit more; join 16 and Circle Left

動作:

指示されたダンサー(例えば男性)がスターを作り(またはすでに出来ていて)、これを回転する。次に指示されたダンサー(例えばパートナー)と出会ったときカップルとなって、中心のスターを保持したままプラマネイドする。

動作を終わる隊形:

中心がスターを形成するPromenade(プラマネイド)またはWrong Way Promenade(ロング ウエイ プラマネイド)。スターを形成し腕を腰に回しているため、通常よりはダンサー間隔は狭い。

タイミング:

1/2: 6拍、3/4: 9拍、全周: 12拍、全周してホームへ戻り、後ろへ下がる: 16拍。

スタイリング:

中心のスターはRight-Hand or Left-Hand Stars(ライトハンドまたはレフトハンドスター)と同じスタイリングを使う(#9)。スター中のカップルはカップルの手の取り方を調節して、その近い手を互いに腰にまわす。外側に出た女性は皆外側の手でスカートを振る。外側に出た男性は皆外側の手を腰に置くか横に下げる。

注釈:

Star Promenade(スター プラマネイド)は時として二人のダンサーがスターを作る場合がある。例えば、Head Men make a Left-Hand Star; pick up your partner with an arm around and Star Promenade; she picks up her corner with an arm around and keep on moving; now he picks up his partner; all Bend The Big Lineである。

6. Allemande Left(アレマンド レフト)

最も一般的な形では、Allemande Left(アレマンド レフト)は単なる左手による(次のダンサーへの相互作用からStep Thru-ステップ スルーを加えた)Arm Turn(アーム ターン)である。

Arm Turn(アーム ターン)は腕で回転する動きとして一般的に使うが、Allemande Left(アレマンド レフト)はCorner(コーナー)とのArm Turn(アーム ターン)として特化している場合が多い。

Allemande Left (アレマンド レフト)が可能な隊形は数多くあるが、二つの事例で説明する。コール例、タイミング、スタイリングと注釈はこの二つの事例に適用される。

コール例:

Allemande Left

Left Allemande

Allemande Left Your Corner

With The Corner, Allemande Left

Allemande Left Your Corner; Dosado Your Partner; Allemande Left Your Corner

Allemande Left Your Corner; Allemande Right Your Partner

Allemande Left A Full Turn Around

6.a. 事例 1

動作を始める隊形:

Eight Chain Thru(エイト チェイン スルー)、Left-Hand Ocean Waves(左手のオーシャンウェイブ)、Right And Left Grand Circle(ライト アンド レフト グランドの円)、Thar(ザー)、Alamo Ring (男子が中心を向いたアラモ リング)、Trade By(トレード バイ)、Trade By(トレード バイ)で外側が互いに向かい合った隊形。

動作:左腕を取っているダンサーまたは向かい合ったダンサーが左手のArm Turn(アーム ターン)で少なくとも180度回り、男性がプラマネイド方向を向き、女性がロング ウエイ プラマネイド方向を向いて通り過ぎる。

動作を終わる隊形:

Right and Left Grand Circle、男性がプラマネイド方向を向き、女性がロング ウエイ プラマネイド方向を向いた隊形。Allemande Left(アレマンド レフト)の動作後この隊形にならない場合、次のコールはこの隊形があたかも動作を終わる隊形であるとしてコールされなければならない。Eight Chain Thru(エイト チェイン スルー)から、Allemande Left(アレマンド レフト); Trade By(トレード バイ)とコールすることは、ダンサーは論理的にはRight And Left Grand Circle(ライトアンドレフト グランドの円)において、Trade By(トレード バイ)の隊形にいないため、適切ではないであろう。

6.b. 事例 2

動作を始める隊形:

スクエアセット、内向きの8人のサークル、Trade By(トレード バイ)、左手の3/4 Tag(スリー クォーター タッグ)、向かい合ったライン、背中合わせのライン、エンズが向かい合った逆向きのライン。

動作:必要があれば、ダンサーはその場で個々に90度回り、男性がロング ウエイ プラマネイド方向を向き、女性が プラマネイド方向を向く。続きは**事例 1**の動作に同じ。

タイミング:

1/2 アームターン: 4-6拍、3/4 アームターン: 6-8拍、1周のアームターン: 8拍。

スタイリング: 前腕を取る。

注釈:

タイミング数の違いはAllemande Left(アレマンド レフト)を行う前の調整(例えば、コーナー

に向いてから左前腕を取るために前進する)に起因する。

“Allemande Left Your Corner; Dosado Your Partner; Allemande Left Your Corner”のようなコール構成は容認できる。“Allemande Left Your Corner”は“Face Your Corner; Allemande Left”を簡略表記したものである。

“Allemande Left Your Corner; Allemande Right Your Partner”のようなコール構成は容認できる。アレマンドがアームターンであるというダンサーの知識を利用したもので、コーナーに向いて左手のアームターンを行い、パートナーに行き、パートナーと右手のアームターンを行う。次に続くコールで最後のアームターンをどこで終わるかが決まる。

スクエアダンスでは、その長い歴史において、ダンサーがAllemande Left (アレマンド レフト)を行う前に、コーナーがどこにいるか(個々にその場で動きの方向に沿って、または指示された動きを少し長く行って)探し見つけることが時により必要であった。“第4部:付加細目:指示:特異な動き”参照。

アームターンで180度回る以外のAllemande Left (アレマンド レフト)はあまり使われなくなり、特異な動きの範疇に入れられている。例えば、“Allemande Left A Full Turn Around”または“Allemande Left all the way around to your partner”をコールする場合は、コーラーはダンサーの一部または全体に、Allemande Left (アレマンド レフト)で360度回る必要があることを付加的にコールし、援助する必要があるだろう。

コーナーを見つけるために、アームターンで90度以上回る必要があるAllemande Left (アレマンド レフト)はあまり使われなくなり、特異な動きの範疇に入れられている。

Half Sashay (ハーフ サシェイ)したスクエアセットからのAllemande Left (アレマンド レフト)は、ダンサーがその元のパートナーに向きAllemande Left (アレマンド レフト)をする(180度)。これはとても特異な動きであろう。

Allemande Left (アレマンド レフト)は“Allemande Left Your Corner”との強い関連があるが、ダンサーの動作としてはコーナーとは関係なく書かれている。コーラーが“Allemande Left Your Corner”という場合は、ダンサーが誰とAllemande Left (アレマンド レフト)をするのか混乱したり、ダンサーに“この人があなたのコーナーですよ”と強く言い張る両方に使い、ダンサーを援助している。

“Allemande Left Wrong Corner; Promenade, Keep Walking”または“Allemande Left This Corner”という言葉は、コーラーがダンサーに対して、Allemande Left (アレマンド レフト)を望んだが、ダンサーは必ずしも本来のコーナーやパートナーを連れていないと理解していることを明確にするための方法として、時により使われる。

特異な動きとして、“Allemande Left; Right And Left Grand ... On The Third Hand, Promenade”のコールをするコーラーがいるが、ダンサーにまずコーラーが間違った(コーナーが違う)と信じさせ、すぐに元に戻して驚かせるためである。

7. Arm Turns (アーム ターンズ)

動作を始める隊形: 向き合っている人、ミニ ウェイブ。

コール例:

Left Arm Turn 3/4

Walk Around Your Corner; Turn Partner By The Left; 4 Ladies Chain

Slip The Clutch; Turn By The Left 3/4, Check An Alamo Ring

All Arm Turn Half

Centers Arm Turn 3/4

Men Star Left 3/4; Turn Corner Right Arm Turn; Do Paso

Allemande Left, Turn partner by the right once around; Men star left 1/2, turn opposite by the right 3/4 to an alamo ring, ...

Turn A Right Hand Half

Alamo Ring: Swing Thru; Turn Your Partner By The Right; Allemande Left

動作:

ダンサーは指示された前腕を取り、互いに相手の周りを回って歩を進める。回転の量は分数によって指定される(例えば、半分-180度、3/4-270度、全周-360度)か、次のコールにより決まる(例えば、Turn Partner By the Left; 4 Ladies Chain)。

動作を終わる隊形:

通常はミニ ウェイブ、またはダンサーがアームターンを終わって次のコールに歩を進めるため隊形なし。

タイミング:

1/2: 4拍、 3/4: 4 から 6拍、 全周: 6 から 8拍。

スタイリング: 前腕を取る。

注釈:

ミニ ウェイブからは回転する距離は分数により指定されるであろう(例えば、Arm Turn 1/2)。

向かい合った人から行う場合、回転する距離は関連する隊形(例えば、To A Thar, またはTo Your Corner)または次のコール(例えば、Turn Corner By The Right; Do Paso)により指示されなければならない。分数で指定するのは不適切である。

ミニ ウェイブ隊形ではとくに手の取り方は指定していない。アームターンのスタイリングやアームターンの動作の定義では前腕を取るとしている。 ”動作:アームターンの動作定義”を参照。

8. Right and Left Grand Family(ライト アンド レフト グランド ファミリー)

8.a. Right and Left Grand(ライト アンド レフト グランド)

動作を始める隊形:

Right And Left Grand Circle(ライト アンド レフト グランドの円)、Eight Chain Thru(エイト チェイン スルー)、Trade By(トレード バイ)、 Trade By(トレード バイ)で外側が互いに向かい合った隊形。

一部または全てのダンサーが歩を進めてミニウェイブを作れる上記の隊形のどれでも、またはダンサーが差し障りなく90度以内で方向を変え、男性はプラマネイド方向を向くことが出来、女性はロング ウェイ プラマネイド方向を向くことが出来る隊形で、上記の隊形のうちひとつ。

コール例:

Right and Left Grand

Grand Right and Left

動作:

必要があれば、男性は90度方向を変え、プラマネイド方向を向き、女性は90度方向を変え、ロング ウェイ プラマネイド方向を向く。ダンサーは右手を引っ張って通り過ぎ、左手を引っ張って通り過ぎ、右手を引っ張って通り過ぎ、左手を引っ張って通り過ぎるので、融合して円状隊形になる。

動作を終わる隊形:Right And Left Grand Circle(ライト アンド レフト グランドの円)。

タイミング: 10拍。

スタイリング:

手は交互に使い、トワールはしない。腕は自然なダンス位置に取り、手はダンサーが互いに通り過ぎるときに放す。男性はとくに背筋を伸ばす。前かがみになって手を伸ばし、早く次の人の手を取ろうとしないよう注意する。気楽に腕や手を前に出す気持ちが必要である。

8.b. Weave the Ring(ウィーブ ザ リング)

動作を始める隊形:Right And Left Grand Circle(ライト アンド レフト グランドの円)。

コール例:

Weave The Ring

動作:

ダンサーは手を使わないRight and Left Grand (ライト アンド レフト グランド)を行う。

動作を終わる隊形:Right And Left Grand Circle(ライト アンド レフト グランドの円)。

タイミング: 10拍。

スタイリング:

女性は両手でスカートを持ち、サークル上を進みながらスカートを振る。男性は腕を自然なダンス位置に取る。ダンサーは互いに右肩で通り過ぎる時には右肩を、左肩ですれちがう時には左肩を前に出すように進む。向かい合う時には互いに視線を軽く合わせる。サークルのサイズは適度に保つよう(大きすぎないように)注意を払う。

注釈:

美辞麗句を並べた言葉を言うために、タイミングが16拍になるグループがある。

Allemande Left (アレマンド レフト)に引き続きタイミングよくコールされると、Weave the Ring(ウィーブ ザ リング)が一番良く踊れる。驚かせるような変わった隊形からのコールは勧められない。

このコールにオーシャンウェイブの規則は適用されるが、その使い方は勧められない。

8.c. Wrong Way Grand(ロング ウエイ グランド)

動作を始める隊形:

Right and Left Grand (ライト アンド レフト グランド)に同じであるが、男性は Wrong Way Promenade(ロング ウエイ プラマネイド)方向、女性は Promenade(プラマネイド)方向を向く。

コール例:

Wrong Way Grand

動作:

Right and Left Grand (ライト アンド レフト グランド)に同じであるが、男性は Wrong Way Promenade(ロング ウエイ プラマネイド)方向、女性は Promenade(プラマネイド)方向へ進む。

動作を終わる隊形: Right And Left Grand Circle(ライト アンド レフト グランドの円)。

タイミング: 10拍。

スタイリング: Right and Left Grand (ライト アンド レフト グランド)に同じ。

9. Left-Hand Star / Right-Hand Star(レフト ハンド スター/ライト ハンド スター)

動作を始める隊形: 向かい合っているカプル、スクエアセット、8人の中を向いたサークル。

コール例:

Men Center Right Hand Star; Back By The Left

Heads Square Thru; Make A Right Hand Star With The Sides; Heads Center Left Hand Star; Back To The Same Girl With A Right and Left Thru

Heads Square Thru; Right Hand Star; Heads Star Left Inside To The Same Folks; Right and Left Thru

Heads Star Thru; Square Thru 3; Left Hand Star; Head Ladies Lead, Flutterwheel
4 Ladies Center, Right Hand Star

Heads Square Thru; Right Hand Star; Heads to Center star across the square

Heads Square Thru; Right Hand Star 1/2 Way; Veer Left

動作:

指示されたダンサーは必要があれば前進してスターを作り、隊形の中心に適切な手を置く。スターを作るために、ダンサーは個々にその場で3/8回転する必要がある。

ダンサーはスターの中央を中心としてサークル上を前進する。回転距離は全周の分数で示されるか、ある条件が満たされるまで(例えば、Men Center Left Hand Star, Pick Up Your Partner with an Arm Around, Star Promenade)となる。

動作を終わる隊形:

スター、調整されたスター。ダンサーはそれぞれフロアー上をどれくらいスターで回ったか知り、次のコールを行うのに適切な方向を向くよう調整する。

タイミング:

1/2: 4拍、3/4: 6拍、全周: 8拍。

スタイリング:

パーム スター(スタイリング項参照)。男性の外腕は自然なダンス位置で、女性は外側の手でスカートを振る。

どのようなスターでも男性はバックサドル(スタイリング項参照)に取る地域がある。

注釈:

上記に説明したスターは4人のスターである。コーラーの指示をダンサーが理解する限り、3人以上のスターも適切である。

Arm Turn(アーム ターン)の代わりに2人のスターを使うコーラーがいるが、Ocean Wave(オーシャン ウェーブ)に必要なハンズアップスタイリングを完遂しており、講習動作をひとつ減らすことにはなる。

これは講習下においては許され、スター(2人またはそれ以上)を理解するためには論理的な方法かもしれないが、2人のスターは一般的にはダンスで遭遇しない。

10. Pass Thru(パス スルー)

動作を始める隊形: 向かい合った人。

コール例: Pass Thru

動作:

ダンサーは前進し互いに右肩を通り過ぎ、背中合わせで終わる。

動作を終わる隊形: 背中合わせ。

タイミング: 2拍。

スタイリング:

男性は右肩で通り抜ける時右肩を少し前に出す。腕は自然なダンス位置。女性は手でスカートを振るが、右肩で通り抜ける時右手を先に出して進む。

注釈:

右手ミニウエイブからのPass Thru(パス スルー)は、オーシャン ウェーブの規則により適切である。Step Thru(ステップ スルー)に同じ。

左手ミニウエイブからのPass Thru(パス スルー)は、左肩を通り過ぎるため不適切である。Step Thru(ステップ スルー)を使うこと。

左手オーシャンウエイブからのPass Thru(パス スルー)は、言外に含んだ"those who can"を利用するのだろうが、中の人たちだけがアクティブで動くのは稀で、ダンサーの期待にそむくことになる。代わりに"Centers Pass Thru" または "Centers Step Thru"を使うこと。

スクエアセットからのHeads Pass Thru(ヘッズ パス スルー)は適切である。ヘッズはスクエアセットの位置で後ろ向きに終わる。スクエアセットの約束事を参照。

直接向かい合っていない(すなわち、斜めに向かい合っている)ダンサーとのPass Thru(パス スルー)は不適切である。“Boys On A Diagonal, Pass Thru”のような語句を使い、コーラーはこの望んだ動作を完遂できる。

カプルが一人のダンサーと行うPass Thru(パス スルー)は適切である。この場合一人のダンサーはカプルを割って進み、カプルの一人のダンサーとは右肩で、もう一人のダンサーとは左肩を通り過ぎる。

11. Half Sashay Family (ハーフ サッシュエイ ファミリー)

Half Sashay Family (ハーフ サッシュエイ ファミリー)のコールにより、カプルになっているダンサーはその位置を交換するが、本来向いていた方向は変えない。

11.a. Half Sashay (ハーフ サッシュエイ)

動作を始める隊形: カプル。

コール例:

Heads Half Sashay

Right and Left Thru; Half Sashay

Sides Pass Thru, Half Sashay, and Separate Around One To A Line

All 4 Ladies Chain; Half Sashay; Circle Left

動作:

ダンサーが互いに身体の向いている方向を変えず位置を入れ替える。右側の人は左にサイドステップし、左側の人は後ろに下がってから右に移動、そして前進してカプルとなる。

動作を終わる隊形: カプル。

タイミング: 4拍。

スタイリング:

手は普通のカプルハンドで、この動作を始める時、男性女性とも互いに少し引っ張り合うようにする。(次のコールに不都合でない限り)動作を終わるときは手をとってカプルハンドで終わる。

注釈:

“Half Sashay(ハーフ サッシュエイ)”とコールされるのが適切であるが、Sashay(サッシュエイ)と簡略化されることが時々ある。このように簡略化されると混乱を招くので、使うべきではない。

“Full Sashay” または “Sashay All The Way Around”という言葉もあるが、この用語はどのプログラムにもリストされていない。不適切な言葉で使用すべきではない。

“Half Sashay Once and a Half(ハーフ サッシュエイ ワンス アンド ア ハーフ)”は適切な使い方であり、最近良く見られる。一列に並んだ一組 となり動作を終了する。”第4部:付加細目:

分数”を参照。

11.b. Rollaway (ローラウェイ)

動作を始める隊形:カプル、内向きの8人サークル。

コール例:

Rollaway

4 Ladies Rollaway

Heads Rollaway

Circle Left; Rollaway; Circle Left

Veer Right; Ferris Wheel; Centers Rollaway

Roll The Girl Away

Boys Roll That Girl Away

Heads Lead Right; Veer Left; Bend The Line; Roll The Boys Away (普通はしない)

Sides Promenade 1/2; Heads Chain Those Ladies Across, Turn That Gal; Roll Her Away

動作:

カプルの隊形から、右側にいる人(または指示された人)が隣の人を完全に360度回転して隣に移り、動作を終わる。隣にいた人は一度後ろに下がり前進し、必要ならば横に滑らかに動いて、空いている位置に移動する。ダンサーは互いに位置を交換して動作を完遂する。内向きの8人サークルで男性と女性が交互にいる場合、特に指示がない場合は女性が男性の前を左に回転して横切り移動する。

動作を終わる隊形:カプル、内向きの8人サークル。

タイミング: 4拍。

スタイリング:

ここでは普通のカプル隊形から女性がRollaway (ローラウェイ)する場合を仮定する。

手は普通のカプルの手の取り方で、動作中腕に力を入れてしっかりとつなぐ。

カプル隊形から、男性は少し右斜め後ろに後退し、女性は折れるように進んで男性と向かい合う。動きを止めずに手を持ち替えて、男性は右に前進し、女性は動作を終わる。

前の動作がCourtesy Turn (カーテシー ターン)である場合は、手のつなぎ方が少し異なる。ダンサーは前で左手を取っているが、この状態をRollaway (ローラウェイ)のほとんどで維持する。動作の終了近くに女性はこの左手を離して、右手を男性の左手とつなぐ。

動いているサークルからは、男性が動きを止めて後ろへ下がり、そして前進する。女性は動いているサークルの弾みを使って回転運動を完遂する。

サークル中にグレイプバインステップを使っている人は、互いに同じ方向へ回るようにRollaway (ローラウェイ)する。コーラーはダンサーがこの動作をタイミングよく完遂するようコールしなければならない。

注釈:

過去“Rollaway(ローラウェイ)”は“Rollaway With A Half Sashay”とコールされていたが、これは適切な言い回しではなく、使うべきではない。

“Rollaway Once and a Half(ローラウェイ ワンス アンド ア ハーフ)”という指示は適切であり、時々使われている。これはダンサーが向かい合った隊形で終わる。”第4部:付加細目:分数”を参照。

11.c. Ladies In, Men Sashay(レイディーズ イン、メン サッシュエイ)

動作を始める隊形:男性と女性が交互にいる内向きの8人サークル。

コール例:

Circle Left; Ladies In, Men Sashay; Circle Left

Circle Left; Ladies Center, Men Sashay

Circle Right; Ladies In, Men Sashay

Circle Right; Men Center, Ladies Sashay

Circle Left; Men Center, Ladies Sashay

動作:

Circle Left(サークル レフト)から、女性が1歩中に入り一時停止し、その間男性が女性の後ろを左に1人通り過ぎる。女性は1歩下がってサークルに戻り再び男性と手を繋ぐ。サークルが右へ回る時は男性が右へ移動する。

動作を終わる隊形: 内向きの8人サークル。

タイミング: 4拍。

スタイリング:

男性の手は少し上に上げ、女性とサークルで再び手をつなぐことに備える。女性は中に入るとき、通常スカートを手で持つが、サークルに戻る前に、一瞬スカートを束ねるようにするか、スカートの前を少し上に上げる

注釈:

多様性を求めるために、どの人でも中にはいることを求められ(In)、別の人がSashay(サッシュエイ)を行うことがある(例えば、“Men In, Ladies Sashay”-メン イン、レイディーズ サッシュエイ)。

12. Turn Back Family(ターン バック ファミリー)

この項の両者ともダンサーは方向を変え、反対方向を向いて終わる。

12.a. U-Turn Back(ユー ターン バック)

動作を始める隊形: ダンサーそれぞれ。

コール例:

U-Turn Back

Men U-Turn Back

Centers U-Turn Back

Promenade, Keep Walking; Everybody U-Turn Back; Promenade this way around

Wheel And Deal; Centers U-Turn Back; Double Pass Thru

動作:

ダンサーは個々にその場で転回し(180度)、ボディフローが逆にならない限り、互いにパートナーに向き合う方向に回る。1人の時(すなわち、パートナーがいない時)はセットの中心方向に向かって回るが、既にセットの中心方向または中心に背を向けて立っている場合はどちらの方向に向かって回転してもよい。

動作を終わる隊形: ダンサーそれぞれ。

タイミング: 2拍。

スタイリング:

一人で立つ人の腕は自然なダンス位置におく。隣の人と手をとっている場合は、手を離して動作を行い、再び適切な手をとる(カプルまたはミニ ウエイブ)。スケーターズポジションでプラマネイドしているカプルは、互いに向かい合うように回転すれば、手を離さずにU-Turn Back(ユーターン バック)出来る。

12.b. Backtrack(バック トラック)

動作を始める隊形:

プラマネイド、スター プラマネイド、シングルファイル プラマネイド、ロングウェイ プラマネイド。

コール例:

Promenade Single File; Ladies Backtrack

Ladies Step Out And Take A Backtrack

Gents Step Out And Take A Backtrack

Ladies Roll Out And Backtrack

Put the ladies in the lead, go single file; Ladies backtrack once around; Turn partner right a full turn

Star Promenade; Ladies Backtrack, Left Allemande

Promenade Wrong Way; Boys step out to the left and Backtrack twice around

動作:

指示された人がセットの外側方向に、小さな180度の弧を描いて動く。

動作を終わる隊形:動作を始めた隊形と誰が指示されたかにより種々。

4人が指示された場合は、Backtrack(バック トラック)をしない中の4人はセットの中心でスターまたはシングルファイル プラマネイドを保持し、Backtrack(バック トラック)をした4人はシングルファイルでセットの外側を反対方向にプラマネイドする。

全員が指示された場合はシングルファイル プラマネイド。

タイミング： 2拍。

スタイリング：

必要があれば組んでいる手を離す。腕は自然なダンス位置に保ち動作を続ける。

注釈：

Backtrack(バックトラック)は Backtrack(バックトラック)する前に前進動作が必要で、Backtrack(バックトラック)後に反対方向へ前進する。

カプルでのバックトラック(例えば、Promenade, Head Couples Backtrack)はもはや使われていない。

13. Separate(セパレイト)

まず最も一般的な場合について説明する。次に最も通常的に使われている事例について説明する。

動作を始める隊形：

カプル。カプルはアクティブであるか指示されていないなければならない。

コール例：

Heads Separate and Star Thru

Heads Pass Thru; Separate and behind the Sides Touch 1/4

Heads Pass Thru; Separate and come back home and Swing

Heads Star Thru; Double Pass Thru; Heads Separate and Star Thru

Heads Pass Thru; Separate go Around Two; Meet Your Partner and Dosado

Couple #1 Separate around the ring ... pass her once ... and pass her again; Allemande the corner

Heads Pass The Ocean and Swing Thru, Others Separate and Everybody Right and Left Thru

動作：

事例1： アクティブまたは指示されたカプルがスクエアセット上の位置にいる場合：

カプルは背中合わせになり、互いに離れるように、別の人に会うまで、セットの外側を反対方向へ前進する。更に指示がなければ動作は此処で終わる。

事例2： アクティブまたは指示されたカプルがスクエアセット内で外を向いている場合（例えば、Heads Slide Thru, Square Thru 2の後）：

カプルは前進して上記の動作を行う。

動作を終わる隊形：

ダンサーがスクエアセットの外で向かい合った隊形、または次のコールによって決まる

タイミング：

2拍、または外側を移動する距離により決まる。

スタイリング:

アクティブでない人は前進しアクティブの人のために後ろに道をあける。男性は自然なダンス位置。女性のスカートワークは女性の自由意志である。

注釈:

Separate (セパレイト)は通常、次に何人かのインアクティブダンサーを回るような指示となるが、アクティブダンサーもまた何らかの動作をするよう指示される(例えば、Separate, walk around the outside passing 2 dancers and Star Thru with the third-セパレイト、セットの外側を回って2人を通り過ぎ3人目とスター スルー)。

スクエアセットから、"Heads Square Thru 2; Heads Separate, ..."のコールは不適切である。ヘッズはこの場合サイズと向かい合った状態にあるからである。中から始める場合は、別のダンサーに向かい合った位置からではなく、スクエアセットから外に向かった状態でなければならない。

13.a. Around 1 or 2 to a Line(アラウンド ワン オア トゥー トゥー ア ライン)

動作を始める隊形: Separate(セパレイト)を終わった隊形。

コール例:

Heads Pass Thru; Separate Around 1 To A Line

Heads Pass Thru; Separate Around 2 To A Line

Heads Separate Around 1 To A Line

Heads Square Thru; Split 2, Separate Around 1 To A Line

Heads Square Thru; Split 2, Around 1 To A Line

Heads Right And Left Thru; Veer Left; Tag The Line; Split The Sides, First Left, Next Right Around 1 to a Line

動作:

Separate(セパレイト)を終わった後、アクティブダンサーはセットの外側を歩き、指示された数だけインアクティブダンサーを通り過ぎる。インアクティブダンサーは動かない(ゴールポストとしての)対象物の役目をし、その向きは変えない。しかしながら、必要に応じて一歩前に出てアクティブダンサーが外側を歩きやすくし、通り過ぎてから少し下がったりするダンスに応じた動きは行う。

アクティブダンサーは必要に応じて互いに右肩で(Pass Thru-パススルーと同じように)通り過ぎる。アクティブダンサーのみがインアクティブダンサーを数えて何人行くのか決定する。

アクティブダンサーが最後のインアクティブダンサーを回るとき、インアクティブダンサーの間に入り(インアクティブダンサーは間に空間を作る)ラインを作るのか、インアクティブダンサーの外側に立ってラインの端となるのかどちらかである。これらのどちらになるのかは、インアクティブダンサーの位置に関係し、アクティブダンサーが何人を数えて動作を終わるのかにより決定される。

この動作は時により、それぞれ"Squeeze In -- Make Lines"または"Hook On To The End -- Make Lines"ともコールされる。

動作を終わる隊形:

普通は向かい合ったライン。時折、一部が逆になったラインまたは3×1ライン。

タイミング:

Heads Pass Thru; Separate Around 1 To A Line: 8拍、
Heads Pass Thru; Separate Around 2 To A Line: 10拍

スタイリング:

アクティブでない人は前進しアクティブの人のために後ろに道をあける。男性は自然なダンス位置。女性のスカートワークは女性の自由意志である。

注釈:

Around 1(アラウンド ワン) または Around 2(アラウンド トゥー)が最も一般的であるが、より多くの数を使ってもよい。いずれにしても数はアクティブダンサーがインアクティブダンサーを通り過ぎる数である。

Separate(セパレイト)という言葉が必要で、“Split 2, Separate Around 1 To A Line”が適切なコールであるとするコーラーもいる。

一連の“Heads Pass Thru; Separate Around 2 And Stand Behind The Sides”というコールは適切ではない。各アクティブダンサーが2番目のインアクティブダンサーをまったく回っていないのが理由である。

Around 1 または 2 to a Line(アラウンド ワン または トゥー トゥー ア ライン)は必ずしも前に Separate(セパレイト)が来るとは限らない。例えば、Heads Pass Thru, Both Turn Right, Girl Around 1, Boy Around 2, To A Line(ヘッズがパススルーをし、二人とも右を向いて、女性が一人を回り、男性が二人を回って、ラインを作る)。

13.b. Around 1 or 2 and come into the middle

(アラウンド ワン オア トゥー アンド カム イントゥ ザ ミドル)

動作を始める隊形: Separate(セパレイト)を終わった隊形。

コール例:

Heads Pass Thru; Separate Around 1 and come into the middle with a Right and Left Thru
Heads Pass Thru; Separate Around 2 and come into the middle with a Right and Left Thru
Heads Pass Thru; Separate Around 2 and come down the middle with a Right and Left Thru

動作: まずは上記13.a.に同じである。

アクティブダンサーが最後のインアクティブダンサーを回ってその間に入り込み、通り過ぎて(Split Two -スプリット トゥーのようにインアクティブダンサーは離れて間に空間を作り、また元に戻る)セットの中心に入り次のコールに従うか、または半円形に最後のインアクティブダンサーを回って、セットの中心に入り次のコールに従う。

アクティブダンサーがセットの中に入ると、次のコールを行うことが出来る。インアクティブダンサーはセットの外でこの動作が始まった位置にいて動作を終わり、次のコールには参加しない。

動作を終わる隊形:

- Separate Around 1 and Come Into The Middle: Double Pass Thru、Trade By、その他も可。
- Separate Around 2 and Come Down The Middle: 一組のペアカプルがアクティブのスクエアセット、その他も可。

タイミング:

Heads Pass Thru; Separate Around 1 and come into the middle with a: 8拍、
Heads Pass Thru; Separate Around 2 and come down the middle with a: 12拍。

スタイリング:

アクティブでないダンサーはダンスに応じて動かなければならない。例えば、アクティブダンサーが外を通るときは前進して空間を作り、スプリットされる時は横に離れ、そして元に戻ってセットの外側で終わる。男性は自然なダンス位置。女性のスカートワークは女性の自由意志である。

注釈:

Around 1(アラウンド ワン) または Around 2(アラウンド トゥー)が最も一般的であるが、より多くの数を使ってもよい。いずれにしても数はアクティブダンサーがインアクティブダンサーを通り過ぎる数である。

14. Split Two(スプリット トゥー)

動作を始める隊形:

Eight Chain Thru(エイト チェイン スルー)、一般的にカプルまたは1列に並んだ一組が、カプルまたはミニウェイブに向かいあった隊形。

コール例:

Centers Split 2, Around 1 To A Line
Centers Split The Outsides, Go Around 1 To A Line
Centers Split The Outside Couple and Separate Around 1 To A Line
Centers Split 2, Both Turn Left And Promenade Single File While The Others ...
Centers Split 2, Around 1 come into the middle and ...
Centers Split 2, Around 1 come down the middle and ...
Centers Split The Outside 2
Heads Square Thru 4; Split The Outside 2
Heads Square Thru 4; Split The Outside Couple
Heads Veer Left, Tag the Line, Split The Sides and ...
Couple #1 Split Couple #3, Separate and go around 3, meet partner at home and Swing

動作:

アクティブまたは指示されたカプルが外側にいるカプルの間を割って通り抜ける。この時外側のカプルは横に離れて間に入って来るカプルを通してやり、再び元の位置に戻る。

動作を終わる隊形:

(次のコールがある前に)アクティブダンサーは割って通り抜けたダンサーと背中合わせとなる。インアクティブダンサーは動作を始めた位置で終わる。

タイミング:2拍に次の動きを足したもの。

注釈:

"Around 1 To A Line(アラウンド ワン トゥ ア ライン)"のコール構成例については、Separate Around 1 or 2 (#14.a)を参照。

15. Courtesy Turn(カーテシー ターン)

Courtesy Turn(カーテシー ターン)は手のとり方に特徴のある回転動作で、カプルが向き合って動作を終了する。主にLadies Chain(レイディーズ チェイン)、Chain Down The Line(チェインダウン ザ ライン)、Right and Left Thru(ライト アンド レフト スルー)、Do Paso(ドウ パソウ)、Eight Chain Thru(エイト チェイン スルー)のような動作を定義し講習するために使われる。時には単独の動作としても使われることがある。

動作を始める隊形：カプル(ベーシックとメインストリームでは普通のカプルに限る)または男性と女性が向かい合っている隊形。

コール例：

Heads Pass Thru; Courtesy Turn

(from facing lines) Pass Thru; Tag The Line In; Turn Thru; Courtesy Turn

Heads Star Thru; Square Thru 3; Left Touch 1/4; Walk And Dodge; Courtesy Turn

Walk Around The Corner; Courtesy Turn at home

All 4 Ladies make a right-hand star, turn it once around; boys Courtesy Turn your girl

(from a completed double pass thru with ladies in the lead) Cloverleaf; four women in the center Square Thru 3; men reach out and Courtesy Turn this girl

動作：

カプルが一体となって動き、左側のダンサーが後退、右側のダンサーが前進するようにして回転する。各ダンサーの真ん中が回転の中心となる。動作の終了に当たり、ダンサーは徐々に向かい合い、普通のカプルとなって終わる。回転量は以下の規則によって異なる場合と、明白に指定される場合がある。もし規則に相反する場合またはどの規則にも当てはまらない場合は、回転量ははっきりと指示しなければならない。

1. 別のダンサーが後ろにいる場合、180度回ってそのダンサーと向き合う。
2. スクエアセットの外側でこの動作を行う場合、回転してスクエアセットの中心を向いて終わる。
3. 男性がインアクティブで中を向き、女性がアクティブで男性に向かって動いて行く場合、カプルとなって回転し、インアクティブであった男性が向いていた方向を向いて終わる。

動作を終わる隊形：(4人グループでまたはスクエアセットの中心に)向かい合ったカプル。

タイミング：4拍。

スタイリング：

女性の左手(手の平を下)と男性の左手(手の平を上)がつながれる。右手は女性の選択にあわせる。女性が右手を手の平を外にして腰に当てた場合、男性は右手を女性の手添えて、握らずに、次にコールされる動作に備える。女性が右手をスカートワークに使う場合、男性は右手を腰の一部(例えば、中心部)に置く。

注釈：

Courtesy Turn(カーテシー ターン)はダンサーの左手が自由になっているときに行うのが最善である。例えば、Square Thru 3 (スクエア スルー スリー)、Courtesy Turn(カーテシー ターン)は手の使い勝手が良い。しかしながら、ダンサーがすでにカプルの手のとり方になっている場合は、Wheel Around (ウイール アラウンド)、California Twirl (キャリフォルニア トワール)、Partner Trade (パートナー トレイド)のほうがダンスとしてはスムーズである。

回転量は最後に向く方向を指定する(例えば、“to face back in”-トゥ フェイス バック イン-前と同じ向きになる)か、全体の回転距離またはその両方を指定(例えば、“Centers go a full turn around to face the outside 2”-センターズ ゴウ ア フル ターン アラウンド トゥ フェイス ジ アウトサイド トゥ-中のダンサーが1回転し外の二人と向き合う)することにより明白となる。

語句“and A Quarter More(アンド ア クォーター モア)”をCourtesy Turn(カーテシー ターン)の後に、またはCourtesy Turn(カーテシー ターン)で終わる動作の後に使うことができる(例えば、Right And Left Thru And A Quarter More-ライト アンド レフト スルー アンド ア クォーター モア)。カプルは90度余分に回転し、一般的には、右手のTwo-Faced Line(トゥー フェイスト ライン)で動作を終了する。

Courtesy Turn(カーテシー ターン)をしてスクエアセットで終わる動作(例えば、4 Ladies Chain-フォー レイディーズ チェイン またはDo Paso-ドゥ パソウ)では容易に左手のアームターンやAllemande Thar(アレマンド ザー)に移行できる。例えば、“4 Ladies Chain; Chain Them Back with a Do Paso”がある。

第4部付加細目: Blending one call into another(動作の別のコールとの組み合わせ)を参照。

16. Ladies Chain Family (レイディーズ チェイン ファミリー)

全般的にみると、レイディーズ チェインの動作は、二人以上の女性がそれぞれ今隣にいる男性を離れてお互いにスターで(または右手を引っ張って通り過ぎ)、他の男性によってカーテシー ターンで回してもらった動作である。

16.a. Two Ladies Chain (トゥ レイディーズ チェイン) - Regular and 3/4 (通常とスリー・クォーターズ)

ここにおいては通常のTwo Ladies Chain (トゥ レイディーズ チェイン)を定義し、Two Ladies Chain 3/4 (トゥ レイディーズ チェイン スリー・クォーターズ)については注釈の欄で記述する。

動作を始める隊形: 普通に向かい合ったカプル。

コール例:

Head Ladies Chain

Right and Left Thru; Two Ladies Chain

Right and Left Thru; Ladies Chain

Side Ladies Chain Over; Side Ladies Chain Back

動作:

女性はお互いに前進しRight Hand Star 1/2 又は Right Pull By (ライト ハンド スター ハーフ 又は ライト プルバイ)を行う。各男性は向ってくる女性をCourtesy Turn(カーテシー ターン)し、向かい合ったカプルで終わる。

動作を終わる隊形: 向かい合ったカプル。

タイミング: 向かい合ったカプルからの場合6拍。スクエアセットからの場合8拍。

スタイリング:

各男性はそのパートナーを離し、右肩を隊形の中心方向へ若干回しながら右方向へ移動し、Courtesy Turn(カーテシー ターン)に備える。女性はCourtesy Turn(カーテシー ターン)の間

(スターを使った場合はスター中)スカートワークを行う。

注釈:

もしどちらかのカプルがサシェイ状態であり、又は同性の場合は、Two Ladies Chain (トゥ レイディーズ チェイン)を行うに不適切である。

男性がホームにいるスクエアセットからの Head Ladies Chain (ヘッド レイディーズ チェイン)は、たとえオリジナルのサイドの女性であっても(例えば、Four Ladies Chain 3/4 - フォー レイディーズ チェイン スリー・クォーターズの後)、その時にヘッドの位置にいる人が行う。

次に述べる四つはTwo Ladies Chain (レイディーズ チェイン)の使い方としてはまれなケースであったり、局地的なものであり、ワークショップを行うことが薦められる。

スクエアセットからの Head Ladies Chain 3/4 (ヘッド レイディーズ チェイン スリー・クォーターズ)は、よく”Head Ladies Chain 3/4, Side Men Turn Them (ヘッド レイディーズ チェイン スリー・クォーターズ、サイド メン ターン ゼム)”とコールされるが、ヘッドの女性は Four Ladies Chain 3/4 - 下記参照-(フォー レイディーズ チェイン スリー・クォーターズ) を二人のスターを使ってヘッドの女性の部分を行い、Courtesy Turn(カーテシターン)はサイドの男性と行う。終わりの隊形は、3人のライン(男性、女性、女性)がセットのサイドの位置、ヘッドの男性は一人でセットのヘッドの位置となる。この使い方におけるタイミングは10拍である。

スクエアセットからの “Head Ladies Chain Right (ヘッド レイディーズ チェイン ライト)” 又は “Head Ladies to the Right, Chain (ヘッド レイディーズ トゥ ザ ライト チェイン)”は、それぞれのヘッドカプルが その右側のサイド カプルと動作を行う。当該カプルは一瞬向き合って動作を行って、動作の後調整してスクエアセットに戻る。“Head Ladies Chain Right (ヘッド レイディーズ チェイン ライト)” は “Side Ladies Chain Left (サイド レイディーズ チェイン レフト)” と同じである。

向かい合ったラインからの “End Ladies Chain on a Diagonal (エンド レイディーズ チェイン オン ナ ダイアゴナル)” は、右端にいる女性がチェインを行い、隣の男性がCourtesy Turn(カーテシターン)をし、向かい合ったラインで終わる。

女性が前にいて男性が後ろにおり、女性が向かい合っているタンデムの場合、“On A Double Track, Ladies Chain (オン ナ ダブルトラック レイディーズ チェイン)” というコールもできる。女性が右手を引っ張って通り過ぎ、外の男性がCourtesy Turn(カーテシターン)をする。例えば、Couples Circulate, Tag the Line, Cloverleaf, On a Double Track, Ladies Chain である。この動作はまた “Single File, Ladies Chain” (シングル ファイル レイディーズ チェイン) ともコールされる。

16.b. Four Ladies Chain (フォー レイディーズ チェイン) - Regular and 3/4 (通常とスリー・クォーターズ)

動作を始める隊形:

スクエアセット、内向きの8人サークル、パートナーと左手回転中の隊形(スクエア セットやパートナーと左手回転ができる数限りない量の弾力的な隊形)。

コール例:

Four Ladies Chain

Four Ladies Chain 3/4
All Four Ladies Chain Across
Chain Those Ladies Over and Back (i.e., twice)
Four Ladies Chain; Chain Them Home (i.e., twice)
Do Paso, partner left, corner right, partner left; Four Ladies Chain
Shoot the Star; Four Ladies Chain

動作:

4人の女性は Right Hand Star 1/2 (ライト ハンド スター ハーフ)、もし指示された場合は 3/4 (スリー・クォーターズ) を行い、皆 Courtesy Turn (カーテシー ターン) を受けてセットの中心を向く。

動作を終わる隊形: スクエアセット。

タイミング: 通常: 8拍、3/4: 10拍。

スタイリング:

男性は Two Ladies Chain (トゥ レイディーズ チェイン) のスタイリングを使う。女性はパームスター又は指先を集めたスターを行う。少なくとも二人の女性がフルスカートをはいている場合は右端、ロングスカートの場合は腕を伸ばした位置でスカートをちょっと持って持ち上げ、スターに入ると優雅である。次のコールが Chain Them Back (チェイン ゼム バック) の場合は、Courtesy Turn (カーテシー ターン) を受ける間中腕を伸ばした楽な位置でスカートを持ち続けることができる。

注釈:

いずれかのカプルがハーフサシェイの状態にあるか同性である場合、Four Ladies Chain (フォー レイディーズ チェイン) を行うのは不適切である。普通に向かい合ったラインから Four Ladies Chain (フォー レイディーズ チェイン) を使うコーラーがいるが、この場合は、あたかもすべてのカプルが直接セットの中心を向いているようにして動作を行い、同じように普通に向かい合ったラインで動作を終わる。この動きはある地域では拡張解釈された使い方であるとされ、また別の地域では特異な動き(第4部付加細目、指示、特異な動き参照)として考慮される。

16.c. Chain Down The Line (チェイン ダウン ザ ライン)

動作を始める隊形: 中心が右手を取っている一般的なライン。

コール例:

Chain Down the Line

動作:

中心が右手で半分回り、両端は必要に応じて調整し、中心の人を Courtesy Turn (カーテシー ターン) し、カプルで向かい合って終わる。

動作を終わる隊形: 向かい合ったカプル。

タイミング: 8拍。

注釈:

メインストリームでは、Courtesy Turn (カーテシーターン)は男性が女性を回転させる場合のみに限られ、女性が中心におり、男性が両端にいる場合のみ Chain Down the Line (チェイン ダウンザ ライン)を行う。

17. Do Paso (ドウ パソウ)

動作を始める隊形:

Right And Left Grand Circle (ライト アンド レフト グランドの円)、Thar (ザー)、スクエアセット、内向きの8人サークル、”パートナーと左で回れる隊形”(スクエアセットで皆がパートナーを左手で自由にアームターンできる活動的な隊形)。

コール例:

Do Paso

Walk Around Your Corner; Partner Left Do Paso

Circle Left; Do Paso, it's Partner Left, Corner Right, Partner Left

Circle Left; Break it on up with a Do Paso

Ladies Star by the Right 3/4, Do Paso

Four Ladies Chain, Star them home for a Do Paso

Square Thru, but on your 4th hand Do Paso (from half sashayed facing lines)

Do Paso, turn partner left and corner right, Left Dosado your own

Do Paso, partner left, corner right, Turn Partner Left and Men Star Right

Put the ladies center back-to-back, men promenade that outside track; Get back home, Do Paso

動作:

コーナーと向き合うまでパートナーと Left Arm Turn (レフト アーム ターン)し腕を離す。パートナーに向き合うまでコーナーと Right Arm Turn (ライト アーム ターン)し腕を離す。更なる指示がない場合は、パートナーを Courtesy Turn (カーテシー ターン)してセットの中央を向いて終わる。次の指示がある場合はこれに従うが、パートナーと Left Arm Turn (レフト アーム ターン)または向かい合った人と左手を使うコールであろう。

動作を終わる隊形: Courtesy Turn (カーテシー ターン)して終了した場合はセットの中央を向いた隊形。これと異なる場合は、パートナーを左手で回せるか、向かい合ったパートナーと次のコールを左手から始めることが可能な隊形。

タイミング: 12拍。

スタイリング:

手は全てフォアアームにとり、左手右手と交互に使う。Courtesy Turn (カーテシー ターン)の代わりに他の異なる動作を行う場合は、その動作のスタイリングに従う。

注釈:

男性が外を向いている Alamo Ring (アラモ リング)では、最初の Arm Turn (アーム ターン)は左 3/4となり、皆コーナーに向かう。

Do Paso (ドウ パソウ)は元来そのつど指示をする直接コールのスタイルを取っていたもので、動作を始める隊形や終わる隊形(普通はサークル、ザー、スクエアセット)ははっきりしたものがなく、柔軟なものであった。ダンサーが次のコールに滑らかに入っていくよう望まれている。動作の定義

は一般的なパターンについて述べているが、動作は部分的に特別に指示が与えられている(例えば、“Do Paso; It’s partner left, corner right, partner left and hang on tight, make an Allemande Thar with the men in the middle ...”). 途中を変化させた動作も指示できるが、コーラーはどこでいつものコールを変えるのか注意を促す必要がある(例えば、“Do Paso, turn partner left, turn corner by the right, Don’t Stop Yet! Partner left and corner right, hang on tight, Boys swing in to a Wrong Way Thar”).

Do Paso(ドウ パソウ)をFour Ladies Chain, Chain Them Backのあとにコールすることは組み合わせのよい例と言える。第4部:付加細目:動作の別のコールとの組み合わせ参照。

本来はサークル型の動きであるが、Do Paso(ドウ パソウ)はHalf Sahay(ハーフ サッシュエイ)された8 Chain Thru(エイト チェイン スルー)や男性が端の左手 Ocean Wave(オーシャン ウエイブ)から始めてもよい。

Do Paso(ドウ パソウ)はまた4人や6人のサークルから始めてもよい。この使い方は近年あまり行われていないので、ちょっとしたウオークスルーを必要とするかもしれない。

18. Lead Right (リード ライト)

動作を始める隊形: カプル

コール例:

Heads Lead Right

Sides Lead Out To The Right

Couple #1 Lead Out To The Right

Wheel And Deal and Lead Right (from Right-Hand Tidal Two-Faced Line)

動作:

指示されたカプルが一組となって90度弧を描いて前進し、右にいるカプル(または壁)と向かい合う。

動作を終わる隊形: カプル

タイミング: 4拍。

スタイリング:

動作中はカプルの手のとり方を維持する。外側の手は普通のダンス位置にとる。

注釈:

この動作はほとんど常にスクエアセットから行われ、8 Chain Thru(エイト チェイン スルー)隊形で終わる。

アクティブカプルはコールの終わりに誰かと向き合う期待がある。誰とも向かい合わないのはLead Right (リード ライト)の使い方として例外的である。

向かい合ったカプルから行われた場合、カプルが背中合わせで終わる。

19. Veer Left (ビア レフト)/ Veer Right (ビア ライト)

動作を始める隊形:

向かい合っているカプル、トゥー フェイス トライン。

コール例:

Heads Lead Right; Veer Left

Sides Pass the Ocean; Recycle; Veer Left

Reverse Flutter Wheel and Sweep 1/4; Veer Right

Heads Square Thru 4, Right and Left Thru, Veer Left, Ferris Wheel, Centers Veer Left and Veer Right, Left Allemande

動作:

向かい合っているカプルからは、それぞれの組が一組となり前進、指示された方向に移動し、トゥー フェイス トラインを作って終わる。

トゥー フェイス トラインからは、指示される方向はラインの中央方向でなければならない。この場合、各カプルは一組となって動き、前進して指示される方向へ移動し、背中併せで終わる。

動作を終わる隊形: 動作を参照。

タイミング: 2拍。

スタイリング: 全てのダンサーはカプルの手のとり方を使う。外側の手は自然な手の位置におく。

注釈: なし。

20. Bend the Line (ベンド ザ ライン)

20.a. 事例 1: One-Faced Line (ワン フェイス トライン)、 Two-Faced Line (トゥー フェイス トライン) (4人)

動作を始める隊形:

One-Faced Line (ワン フェイス トライン)、Two-Faced Line (トゥー フェイス トライン)。

コール例:

Bend The Line

Each Side, Bend The Line (タイダルのラインまたはタイダルのトゥー フェイス トラインから)

動作:

ラインの半分それぞれが一組となり、90度向きを変え隊形の中心を向く。

動作を終わる隊形: 向かい合ったカプル。

タイミング： 4拍。

スタイリング：

ラインの端の人が前進し、中央の人が等距離を後退する。手は普通のカプルハンド。新しくラインができたらずぐに皆で手を繋ぐ。

注釈：タイダル隊形からは、“Each Side(イーチ サイド)”と言うことが、必ずしも必要ではないが、有用となる。

スクエアセットの外側にいるカプル(例えば、Couples Circulate 1 1/2 をした後)に Bend the Line (ベンド ザ ライン)を望むことは可能である。この場合、ラインの他の半分はセットの中心に向かって存在すると仮定し、一組となって90度向きを変えセットの中心を向く。

20.b. 事例 2: Tidal Line(タイダルライン) (8人)

動作を始める隊形： Tidal Line(タイダルライン)

コール例：

Line of 8, Bend The Line

Bend The Big Line

Work 4 By 4 and Bend The Line

動作： 20.a.に同じ。

動作を終わる隊形： 向かい合ったライン。

タイミング： 6拍。

スタイリング：

ラインの半分それぞれで手を離さない。ラインの一番端の人が前進し、一番中央の人が等距離を後退する。調節して向かい合ったラインで終わる。

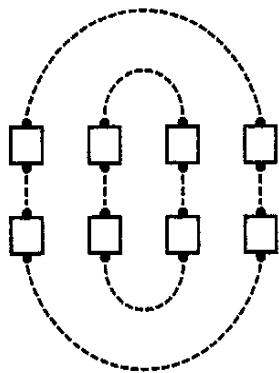
注釈：

6人のラインから、“Lines of 6, Bend The Line”をコールしてもよい。

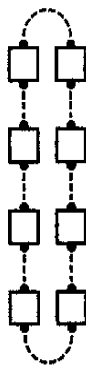
2人のラインから(例えば、Bend The Little Bitty Line)は非常に例外的で、コールすべきではない。

21. Circulate Family (サーキュレイト ファミリー)

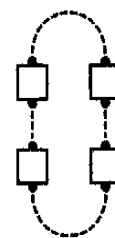
一般的に、すべてのCirculate(サーキュレイト)はそれぞれのダンサーをして定められた軌道(“循環路”と呼ぶ)を次のダンサー位置まで前進させるものである。下に定義を述べるが次の図を参照されたい。



一般的な循環路



一般的なカラム循環路



一般的なボックス循環路

Circulate Family (サーキュレイト ファミリー)ではオーシャンウェイブの規則や向かい合ったカプルの規則(第1部総記、約束事と規則を参照)は適用されない。

Circulate Family (サーキュレイト ファミリー)では動作を分割して使うことは適切であり、時々使われる。第4部付加細目分数を参照。

Circulate(サーキュレイト)のタイミングはすべて4拍であるが、Pass Thru(パス スルー)効果を持つ Circulate (サーキュレイト)は2拍となる。

Circulate(サーキュレイト)にはいろいろなタイプのものがあり、いろいろな名前が付けられているが、次に詳しく述べる。

21.a. (Named Dancers) Circulate(名指しをされたダンサーのサーキュレイト)

動作を始める隊形:

一般的なライン(例えば、オーシャン ウェイブ、トゥー フェイスト ライン)、一般的なカラム。

コール例:

Centers (or Ends) Circulate

Girls (or Boys) Circulate

Everyone Circulate

Circulate

動作:

指示された人(アクティブ)は一般的なラインまたは一般的なカラム循環路に沿って次のダンサー位置に前進する。

隊形の外を向いているダンサーは180度弧を描いて進み、反対側にある次の位置で中を向いて動作を終わる。他のダンサーはダンサー位置を前へ一つ進める。

動作を終わる隊形: 一般的なライン、一般的なカラム。

スタイリング:

腕は自然な手の位置を保持し、適切な位置にとって次のコールに備える。

注釈:

(Named Dancers) Circulate(名指しをされたダンサーのサーキュレイト)は通常一般的なラインからコールされる。

すべてのダンサーがアクティブである場合(例えば、Everyone Circulate)、All 8 Circulate(オールエイト サーキュレイト)(#21.c)の注釈も適用される。

一部のダンサーのみがアクティブであることが、直前の動作(例えば、Dive Thru, Centers Touch 1/4 and Circulate)から明らかである場合を除き、Circulate(サーキュレイト)はEveryone Circulate(エブリワン サーキュレイト)と同じである。

必ずしもすべてのダンサーが与えられた循環路を同じ方向へ行く必要はない。同じ循環路を反対方向へ行くダンサーは右肩で通り過ぎる。(第1部総記、約束事と規則、通り過ぎる時の規則を参照)

(Named Dancers) Circulate(名指しをされたダンサーのサーキュレイト)は時々通常でない隊形から使われる場合がある。各ダンサーはスムーズに次のダンサー位置へ歩を進める。例えば、

- ・ オーシャンウェイブから: Split Circulate 1 1/2, Center Wave Swing Thru, Others Circulate
- ・ トゥー フェイスト ラインから: Centers Hinge, Outside 6 Circulate, Centers Hinge
- ・ カラムから: Circulate 1 1/2, Center 6 Circulate 1 1/2, Center 4 Walk And Dodge, Others Bend The Line
- ・ 向かい合ったラインから: Outsides Touch 1/4, Centers Pass the Ocean, Outside 6 Circulate
- ・ タイダルウェイブから: Center 4 Hinge, Same Ones Circulate (or use Box Circulate (#21.e))

(Named Dancers) Circulate(名指しをされたダンサーのサーキュレイト)で、Circulate(サーキュレイト)をするダンサーがインアクティブダンサーと同じ位置で終わるようになるのは適切ではない。例えばカラムからEnds Circulateである。カラムからは、コーラーがダンサーは中心で動作することを明確にして、“Centers Circulate”をコールするのみが適切である。例えば、“Boys work in the center and Circulate”である。代わりにBox Circulate(ボックス サーキュレイト)(#21.e)を使うこともできる。例えば、“Centers Box Circulate”である。

21.b. Couples Circulate(カプルズ サーキュレイト)

動作を始める隊形: トゥー フェイスト ライン。

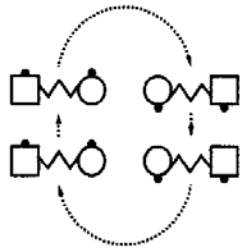
コール例:

Couples Circulate

動作:

各カプルは一組となり一般的なボックス循環路(上図参照)に沿って次の位置に前進する。

例:



動作を終わる隊形：トゥー フェイスト ライン。

スタイリング：

Couples Circulate (カプルズ サーキュレイト) ではすべてのダンサーがカプルの手の取り方を保持する。短いほうの距離を動くカプルは歩幅をより狭く取り、より長い距離を移動するカプルに合わせる。より長い距離を移動するカプルは急いではいけない。腕は自然な手の位置を保持し、適切な位置にとって次のコールに備える。

注釈：なし。

21.c. All 8 Circulate (オール エイト サーキュレイト)

動作を始める隊形：

一般的なライン (例えば、オーシャン ウェイブ、トゥー フェイスト ライン)、一般的なカラム。

コール例：

All 8 Circulate

動作：

すべてのダンサーがCirculate (サーキュレイト)する。

動作を終わる隊形：

一般的なライン、一般的なカラム。 オーシャン ウェイブ、トゥー フェイスト ライン、カラムからの動作を始める隊形に同じ。

スタイリング：

(Named Dancers) Circulate (名指しを受けたダンサーのサーキュレイト) (#21.a) に同じ。

注釈：

All 8 Circulate (オール エイト サーキュレイト) を常に“外は外、中は中に”と教えるのは不適切である。これはオーシャン ウェイブと、トゥー フェイスト ラインからは正しいが、カラムからは正しくない。

トゥー フェイスト ラインからはAll 8 Circulate (オール エイト サーキュレイト) をコールするよりは Couples Circulate (カプルズ サーキュレイト) (# 21.b) のほうがより一般的である。カラムからの Single File Circulate (シングル ファイル サーキュレイト) (# 21.d) もAll 8 Circulate (オール エイト サーキュレイト) と同じ。

同じ循環路で反対方向へ行くダンサーがいる場合は、All 8 Circulate (オール エイト サーキュレイト) はしばしば他の動作 (例えば、Pass Thru (パス スルー) や Trade By (トレイド バイ)) と同じに

なる。このような使い方は適切ではあるが、混乱するダンサーは多い。コーラーの意図的な指示により作った隊形を除き、ダンサーをひっかけようと思われるような使い方は避けるべきである。一方、スリー バイ ワン ラインからのAll 8 Circulate(オール エイト サーキュレイト)は容認できるが、メインストリームではまだ難しく、一般的ではない。

21.d. Single File Circulate(シングル ファイル サーキュレイト)

動作を始める隊形: カラムのみ。

コール例:

Circulate

Column Circulate

Single File Circulate

動作:

すべてのダンサーがCirculate(サーキュレイト)する。

動作を終わる隊形: カラム。

スタイリング:

(Named Dancers) Circulate(名指しをされたダンサーのサーキュレイト)(#21.a)に同じ。

注釈: なし。

21.e. Box/Split Circulate(ボックス/スプリット サーキュレイト)

Box/Split Circulate(ボックス/スプリット サーキュレイト)は似ているが、二つの事例に分けて取り扱う。

21.e. 事例1: Box Circulate(ボックス サーキュレイト)

動作を始める隊形: Box Circulate(ボックス サーキュレイト)

コール例:

Heads Touch 1/4; Heads Box Circulate

Centers Box Circulate

Pass To The Center; Centers Touch 1/4 and Box Circulate

動作:

各ダンサーは一般的なボックス循環路(上図参照)に従い、次の位置へ前進する。

動作を終わる隊形: Box Circulate(ボックス サーキュレイト)

スタイリング:

(Named Dancers) Circulate(名指しを受けたダンサーのサーキュレイト)(#21.a)に同じ。

注釈:

Box Circulate (ボックス サーキュレイト) は一組の4人のダンサーを特定して行うのが適切で、二組の4人のダンサーを指定するのは稀である。例えば、“On each side Box Circulate” ということはできるが、“Split Circulate” のほうがより一般的で、好ましい。

ダンサーがBox Circulate (ボックス サーキュレイト) 隊形にいると見極めることができる場合は、Box Circulate (ボックス サーキュレイト) とCirculate (サーキュレイト) は同じで、Circulate (サーキュレイト) のみをコールするコーラーは多い。

21.e. 事例2: Split Circulate (スプリット サーキュレイト)

動作を始める隊形:

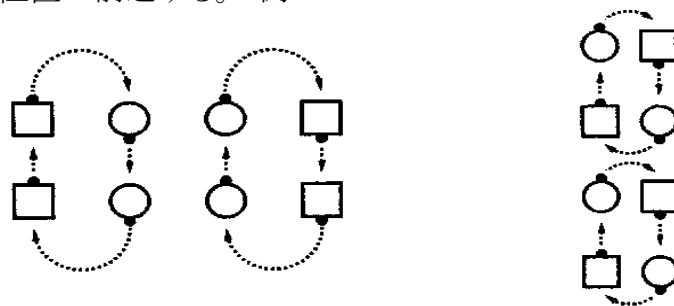
一般的なライン (例えば、オーシャン ウェイブ)、一般的なカラム。

コール例:

Split Circulate

動作:

隊形を半分に分ける (“Split”)。それぞれの半分にいるダンサーが一般的なボックス循環路 (上図参照) に従い、次の位置へ前進する。例:



動作を終わる隊形:

一般的なライン、一般的なカラム。オーシャン ウェイブとカラムから動作を始める隊形に同じ。

スタイリング:

(Named Dancers) Circulate (名指しを受けたダンサーのサーキュレイト) (#21.a) に同じ。

注釈: なし。

22. Right and Left Thru (ライト アンド レフト スルー)

動作を始める隊形: 向かい合ったカプル

コール例:

Right and Left Thru

Head Couples, Right and Left Thru

動作: 右手を引っ張って通り過ぎ、Courtesy Turn (カーテシー ターン)。

動作を終わる隊形: 向かい合ったカプル

タイミング： 6拍。

スタイリング：

ダンサーは互いに右手を伸ばし、Pass Thru(パス スルー)動作を行い、互いに通り過ぎて手を離す。 文字的に”引っ張る”と書いたが、引っ張る必要はなく、引っ張ろうとしてもいけない。 Courtesy Turn (カーテシー ターン)に関しては15.を参照。

注釈:オーシャンウェイブの規則が適用される。

ベーシックとメインストリームでは、Courtesy Turn (カーテシー ターン)は男性が女性を回す場合のみに限られている。

ベーシックとメインストリームでは、中心が普通のカプルである向かい合ったラインから、(上記に説明した制限にかかるから)中心だけのつもりで”Right and Left Thru”をコールすべきではない。”Centers Right and Left Thru”が適切なコールである。

”Right and Left Thru, Full Turn”のコールでは、Courtesy Turn(カーテシー ターン)は360度一周まわる事となり、終了隊形はカプルが背中合わせとなる。 第4部:付加細目:指示:分数を参照。

”Right and Left Thru and 1/4 More”のコールでは、Courtesy Turn(カーテシー ターン)は270度まわる事となり、終了隊形は右手のトゥー フェイスト ラインとなる。 第4部:付加細目:指示:分数を参照。

23. Grand Square (グランド スクエア)

動作を始める隊形: スクエアセット(注釈も参照)。

コール例:

Sides Face, Grand Square

Sides Face, Grand Square (1 6 拍後に) Reverse

Heads Face, Grand Square

Heads Rollaway; Sides Face, Grand Square

動作:

指示されたダンサーはそのパートナーの方を向いて向かい合う。 その後すべてのダンサーは次の一連のステップを踏み、歩を進める。 1歩は音楽の1拍にとる。 ダンサーはこのステップがダンスステップであり、散歩のときの歩調とは異なることを忘れてはならない。

ステップ(1拍目)、ステップ(2拍目)、ステップ(3拍目)、ステップと同時に内側を向く(4拍目)、ステップ(5拍目)、ステップ(6拍目)、ステップ(7拍目)、ステップと同時に内側を向く(8拍目)、ステップ(9拍目)、ステップ(10拍目)、ステップ(11拍目)、ステップと同時に内側を向く(12拍目)、ステップ(13拍目)、ステップ(14拍目)、ステップ(15拍目)、ステップと同時に逆へ戻るためにちょっと止る(16拍目)、ステップ(17拍目)、ステップ(18拍目)、ステップ(19拍目)、ステップと同時に内側を向く(20拍目)、ステップ(21拍目)、ステップ(22拍目)、ステップ(23拍目)、ステップと同時に内側を向く

(24拍目)、ステップ(25拍目)、ステップ(26拍目)、ステップ(27拍目)、ステップと同時に内側を向く(28拍目)、ステップ(29拍目)、ステップ(30拍目)、ステップ(31拍目)、ステップと同時にスクエアセット(32拍目)。

Grand Square (グランド スクエア)の進行中、各ダンサーはいつも直前かまたはセットを介して反対側で、他のダンサーと向かい合っている。

“ステップ(1)、ステップ(2)、ステップ(3)、ステップ(4)”では、直前で向かい合っているダンサーが互いに離れるように4歩後ろに下がる。セットを介して反対側で向かい合っているダンサーは直前に向かい合うまで4歩前進する。

4歩目と同時に内側を向くときは、歩を進めながらその場で90度回って他のダンサーに直前で向かい合うかまたはセットを介して反対側で向かい合う。他のステップと同様このステップも1拍で行う。

4歩を一組として連続して動作を続ける。

“ステップと同時に逆へ戻るためにちょっと止る”ときは、ダンサーは4歩目を終わって、回転せずに逆方向へ戻る用意をする。次の1歩は逆方向となり、ダンサーは今までステップしてきた跡を戻り始めることになる。

“ステップと同時にスクエアセット”では、当初に向かい合うことを指示されたダンサーは元の方向へ向き直り、スクエアセットとなる。他の組は最後の(4歩目の)ステップを終わり、そのままその場にとどまる。

動作を終わる隊形：スクエアセット(ほとんどの場合、指示されたダンサーが向かい合う前の動作を始める隊形と同じ)。

タイミング：32拍。

この動作は急がずに行われるべきで、各ステップとステップと同時に内側を向く動きは音楽の1拍に合わせて、皆が同時にホームへ戻る必要がある。

Grand Square (グランド スクエア)はダンサーが8ビートフレーズの1拍目から(好ましくは32ビートフレーズの1拍目から)動き始めることができるようコールされるべきである。

第4部付加細目：タイミング参照。

スタイリング：

男性は腕を自然なダンス位置にとり、女性は自然にスカートを振る。カプルとなって前進または後退する時はカプルハンドに手を取るべきである。おそらく多岐にわたるスタイリングが見られるであろう。(第4部付加細目：スタイリング：装飾参照)

注釈：

スクエアセットからGrand Square (グランド スクエア)を行うためにコーラーはだれが向き合うのか指示しなければならない。“Grand Square (グランド スクエア)”とだけコールして、“Sides Face, Grand Square (サイズ フェイス グランド スクエア)”を期待するのは不適切である。

コーラーは歩数を指定してもよい(例えば、Grand Square 6 steps)。

次のような変形のGrand Square (グランド スクエア)を行う場合はワークショップをする必要がある。

各ダンサーがスクエアの(四分円の)縁を踊り、通ってきたところを逆戻りするのに気づき、“各ダンサーはいつも直前かまたはセットを介して反対側で、別のダンサーと向かい合っている”という規

則を緩めるコーラーもいる。例えば、“Girls turn and face your partner, Everyone Grand Square”であるが、各ダンサーが同じスクエアの縁を踊り、あたかも他のダンサーと(直前またはセットを介して)向かい合っているかのように歩調を取り回転し、同じパターンで踊る。

“Heads Star Thru; Sides Face, Grand Square”では、たとえ一部のダンサーがセットの中心で動作を始めそして終わることになるにしても、各ダンサーが同じスクエアの縁を踊り、通常のターンを行う。

24. Star Thru(スター スルー)

動作を始める隊形：(男性が女性に)向かい合ったダンサー。

コール例：

Star Thru

動作：

男性は右手を女性の左手に、指を上にして手のひらと手のひらを合わせ、アーチを作る。2人とも前進しながら女性はこのアーチをくぐって1/4(90度)左へ向き、男性は女性の後ろを回って1/4(90度)右を向く。

動作を終わる隊形：カプル。

タイミング：4拍。

スタイリング：

手は大体目の高さに上げ、指を上にして手のひらと手のひらを合わせ、アーチを作る。このアーチは男性の右手と女性の左手で作られる。男性の右手はしっかりと安定させ、女性が自分で回れるよう支える。動作が終わると手の握りを調節して、カプルハンドにつなぎ変える。

25. California Twirl(カリフォルニア トワール)

動作を始める隊形：普通のカプルのみ。

コール例：

California Twirl

With your partner, California Twirl

Lead couples, California Twirl

Center couples, California Twirl

動作：

パートナーと繋いだ手を上げてアーチを作り、互いに位置を交換する。女性は前進しながら繋いだ手の下を左回りに半分小さく回る。男性は右回りに少し大きく半分回る。ダンサーは右肩を通り過ぎて位置を交換し、動作を始める前と正反対の方向を向いて終わる。

動作を終わる隊形：カプル。

タイミング：4拍。

スタイリング:

男女とも手はルースハンドに取り、外側の手は自然なダンス位置におく。円滑に動くために、アーチを作るためにつないで上げた手は少し後方へ動かす。これで当初の互いに向き合う動作となる。

女性は自分の頭と手の位置を判断し、自分の手が頭に当たらないように、十分高く上げる。もし女性が手を上げにくかったり、また男性の手があまり長くない場合は、つないだ手を少し外に滑らせ、指先を使ってアーチを作ったような形を取るべきである。

男性は女性を巻き込むようにしたり回したりしないことが大切で、男性の手は女性が安定して自分で回れるよう支えているだけである。

動作が完了した後、手はカプル ハンドにつなぎ変える。

26. Walk Around the Corner(ウォーク アラウンド ザ コーナー)

動作を始める隊形: スクエアセット、内向きの8人サークル。

コール例:

Walk Around the Corner

Walk All Around Your Corner

4 Ladies Chain; Circle Left; Walk Around New Corner

All Around the Left Hand Lady

Walk All Around the Left Hand Lady; See Saw the Pretty Little Taw

動作:

コーナーに向かい合って前進し、右肩と右肩が常に隣り合うように回って本来のパートナーに戻り、コーナーに背を向けて終わる。

動作を終わる隊形: Right and Left Grand Circle(ライト アンド レフト グランド サークル)

タイミング: 8拍。

スタイリング: 男性の腕は自然なダンス位置に取る。女性はスカートを両手で持ち、向かい合う人を避けるように前後に動かす。ダンサーはパートナーに会うまで、肩越しに相手の目を見ながら動作を続けるべきである。

注釈:

スクエアダンスでは、女性からすると“All Around The Right-Hand Man”と頭の中で翻訳せざるを得ない“All Around The Left-Hand Lady(オール アラウンド ザ レフト ハンド レイディ)”ではなく、“Walk Around the Corner(ウォーク アラウンド ザ コーナー)”のほうが好ましいという傾向になっている。

27. See Saw (シー ソウ)

動作を始める隊形: ライト アンド レフト グランド サークル。

コール例:

Walk Around the Corner; See Saw Your Partner

Walk All Around the Left Hand Lady; See Saw the Pretty Little Taw

動作:

向かい合ったダンサーが前進し、互いに左肩を合わせて回転し、動作を始めた位置に戻り、互いに反対方向を向いて終わる。

動作を終わる隊形: ライト アンド レフト グラウンド サークル。

タイミング: 8拍。

スタイリング: Walk Around the Corner (ウォーク アラウンド ザ コーナー) #26と同様。

注釈:

See Saw (シー ソウ)はほとんどの場合、Walk Around the Corner (ウォーク アラウンド ザ コーナー) #26

に引き続いてコールされる。他の使い方をする場合ワークショップを必要とするかもしれない。サークルやスクエアセットからの場合、ダンサーは指示されたダンサーにまず向かい合うことから動作を始める。

以前 See Saw (シー ソウ)は、All Around the Corner (オール アラウンド ザ コーナー)に続いて使われなかったときは、Left Dosado (レフト ドーサードー)の動作を行った。現在も Left Dosado (レフト ドーサードー)とコールすべきである。

“Taw (トウ)”は古い表現で男性のパートナーのことである。かなり以前コールは主に男性に対する指示として行われていた時代に、See Saw (シー ソウ)とともに使われた。Walk Around the Corner (ウォーク アラウンド ザ コーナー) #26の注釈参照。

28. Square Thru (スクエア スルー)(1,2,3,4) / Left Square Thru (レフト スクエア スルー)(1,2,3,4)

動作を始める隊形: 向かい合っているカプル。

コール例:

Square Thru 4

Square Thru 2

Left Square Thru 3

動作:

Square Thru (スクエア スルー) (1,2,3,4)をここに定義するが、Left Square Thru (レフト スクエア スルー) (1,2,3,4)については下記注釈を参照。

次の動作が何であれ、”Face Partner (フェイスパートナー)”はその場で90度回転し、今のパートナーと向き合

うことを意味する。次の動作を行うことによりそれぞれが適切に完了する。

右手で通り過ぎる(Square Thru 1-スクエア スルー ワンが完了)

●Face Partner (フェイス パートナー)し、左手で通り過ぎる(Square Thru 2-スクエア スルー トゥが完了)、

●Face Partner (フェイス パートナー)し、右手で通り過ぎる(Square Thru 3-スクエア スルー ス

リーが完了)、

●Face Partner (フェイス パートナー)し、左手で通り過ぎる(Square Thru 4-スクエア スルー フォーが完了)。

動作を終わる隊形： 背中合わせのカプル。

タイミング：

Square Thru 1(スクエア スルー ワン) - 2拍。

Square Thru 2(スクエア スルー トゥ) - 5拍。

Square Thru 3(スクエア スルー スリー) - 7又は8拍。

Square Thru 4(スクエア スルー フォー) - 10拍。

スタイリング：

手を引っ張って通り過ぎる時は、相手のダンサーを間違った方向に向かせないように、お互いのダンサーが互いに通り過ぎる時に手を離す。 Right and Left Grand (ライト アンド レフト グランド)を行うときのように、ダンサーは次に通り過ぎる時(または次のコール)に備えて反対の手を使う用意をすべきである。 また、それぞれの手を引っ張って通り過ぎる時は、ヘッズ又はサイズが向かい合っていた元の壁に向いているべきである。(サークル上を動くようになるRight and Left Grand-ライト アンド レフト グランドを行うときとは異なる。)

注釈：

Left Square Thru (レフト スクエア スルー) (1,2,3,4)は左手から始めて交互に手を取って行くことを除いては、Square Thru (スクエア スルー)と同様である。“Left (レフト)”という言葉が必須とされる。例えば、Heads Lead Right, Circle To A Line, Left Square Thru 4, Left Allemande である。この動作にはオーシャンウェイブの規則を使える。また、手の数は4を超えて続けることができる(例えば、Square Thru 5(スクエア スルー ファイブ)。 Square Thru (スクエア スルー) をコールするにあたり、異なった言い方がある。

●“Half Square Thru (ハーフ スクエア スルー)”は Square Thru 2(スクエア スルー トゥ)

●“Square Thru 3/4 (スクエア スルー スリー クォーターズ)”は Square Thru 3(スクエア スルー スリー)

●“Square Thru (スクエア スルー)”は Square Thru 4 (スクエア スルー フォー)

Square Thru (スクエア スルー)の拡張解釈の一つとして“Square Thru, on the Third (or other) Hand... (スクエア スルー オン ザ サード(またはその他) ハンド)”という使い方がある。指示された時の手を引っ張って通り過ぎる時に、次の動作に融合する。例えば、

● Square Thru, on the Third Hand Spin the Top

● Square Thru, on the Third Hand Eight Chain 5

● Square Thru, on the Third Hand Box The Gnat and Right and Left Grand

● Square Thru, on the Fourth Hand Left Swing Thru

● Square Thru, on the Fourth Hand Left Allemande

特にコーラーの指示がなければ、“Square Thru, on the Third (or other) Hand... (スクエア スルー オン ザ サード(またはその他) ハンド)”は動作を終わる隊形が明確ではない。ある人は向かい合ったカプルで終わると信じているが、他の人はオーシャンウェイブであるとする。このため、次のコールは、この両方の隊形から行っても同じ効果を持つ、適切なものでなければならない。すなわち、向き合っているカプルの規則とオーシャンウェイブの規則の両方を使えなければなら

ない。歴史的にみると、手を引っ張って通り過ぎる時Touch (タッチ)に融合することについては適切であると考慮され、Touch 1/4 (タッチ ワン クォーター) Left Touch 1/4 (レフト タッチ ワン クォーター)は例外とされる。

- Square Thru, on the Third Hand Touch 1/4
- Square Thru, on the Fourth Hand Left Touch 1/4

拡張解釈である Square Thru 1 1/2(スクエア スルー ワン アンド ハーフ) または、Square Thru 2 1/2(スクエア スルー トゥ アンド ハーフ)などでは次の手を引っ張って通り過ぎる動作の半分を含み、オーシャンウェイブで終わる。ダンサーにはこの動きを知っていることが期待できず、適切なワークショップを行った後にのみ使われるべきである。

29. Circle to a Line (サークル トゥー ア ライン)

動作を始める隊形: エイト チェイン スルー。

コール例:

Circle to a Line

Heads Lead Right; Circle to a Line, Head Men Break, Make a Line of 4

Sides Star Thru, California Twirl, Circle to a Line

Heads Left Touch 1/4, Walk and Dodge, Circle to a Line

動作:

それぞれの向かい合ったカプルがCircle Left (サークル レフト) 1/2 (180度)し、新しく外側になる左側のダンサーが左手を放して左横にずれ、(別の4人が作るラインに向かい合う) One-faced Line (ワン フェース ライン)の一番左端となる。他の手は離さず取ったまま維持する。他のダンサーは円上を移動するが、徐々に円運動を止めて、One-faced Line (ワン フェース ライン)を作る。最後尾のダンサーはそのまま円運動を止めるのではなく、前進して左向きのトワールをし、隣のダンサーと作るアーチを潜る。動きとしてはCalifornia Twirl (カリフォルニア トワール)に似ている。

動作を終わる隊形: 向かい合ったライン。

タイミング: 8拍。

スタイリング:

円上を動く部分はCircle Left (サークル レフト) #1に同じ。トワールをするダンサーは、共につないだ手を上げてアーチをつくり、このアーチの下でトワールするようにリードする。

注釈:

更に多岐にわたるコール例を挙げることができる(例えば、"Circle Up 4, Break Out, Make a Line", "Circle 4, Side Man Break to a Line", "Circle Up 4, Bust Out to a Line")。あるコーラーは常に"Circle to a Line"(サークル トゥー ア ライン)がコールされなければいけないというが、別のコーラーはコールされたものがはっきりしていれば他の使い方でもよいと思っている。コーラーはサークル トゥー ア ラインなのか、サークル トゥー 別の動作なのか(例えば、"Heads Lead Right; Circle Left Halfway; Dive Thru")、明瞭に区別するよう注意する必要がある。言葉の選択を誤れば、セットを壊すことになる。

コーラーによっては、だれが手を放すか(すなわち、だれが左手を放して最終ラインの一番左端となるか)をコールするが、これは役には立つが必ずしもコールする必要はなく、コールされたとすれば、Circle Left(サークル レフト)1/2後の、左外側のダンサーとなる人であると思えばよい。

本定義が正しく、Circle to a Line(サークル トゥー ア ライン)は、このような動作やスタイリングで踊られるべきであるが、別の動作(終了する隊形は同じ)で踊られている場合も多くある。ダンサーとコーラーはこの別の動作に遭遇する場合があります、セットを壊さないよう互いに協力するよう注意すべきである。

Circle to a Line(サークル トゥー ア ライン)を拡大使用(別のダンサーが手を放すようコールしたり、サークルを別の角度回るよう指示)するコーラーもいるが、これは不適切であるというコーラーもいる。とにかく、どのように動くかについての意見は未だ一致していないが、このような使い方をすることはワークショップをする必要がある。

30. Dive Thru(ダイブ スルー)

動作を始める隊形:(少なくともどちらかひとつが普通である)向かい合ったカプル。

コール例:

Dive Thru

Right and Left Thru; Heads Arch, Sides Dive Thru

Promenade, Keep Walking; Heads Wheel Around and make an Arch, Sides Dive Thru

Dive In To The Middle

Centers Arch, Dive Thru

Outsides Dive Thru

Centers Arch, Outsides Dive Thru

動作:

カプルがつないだ手を上げてアーチを作り、他のカプルがこのアーチをくぐる。両カプルとも前進し、アーチを作ったカプルはCalifornia Twirl(カリフォルニア トワール)をする。

とくに何も指示がない場合は、スクエアの中心に背を向けたカプルがアーチを作り、外にいるカプルがアーチを潜る。どちらのカプルもスクエアの中心に背を向けていない場合は、コーラーは誰がアーチを作るのか、または誰がアーチを潜るのか指示しなければならないが、両方が好ましい。

動作を終わる隊形: 縦に並んだカプル(タンデム カプル)。

タイミング: 潜るカプルは2拍、アーチを作るカプルは6拍。

スタイリング:

アーチを作るカプルは手をルースハンドに取って充分離れて立ち、前のカプルがこのアーチを潜り易くする。アーチを作っている手が潜る人を通すのにきつい場合は、瞬時手を離してもよい。アーチを作ったカプルはアーチを維持し、手を下ろした手を挙げるのではなく、滑らかにCalifornia Twirl(カリフォルニア トワール)に移行する。

潜るカプルはカプルの手のとり方で、アーチの下を通る時は充分身を屈め、パートナーに出来るだけ近づくとよい。

注釈:

動作を始める隊形を最も狭めた場合、Dive Thru(ダイブ スルー)はほとんどの場合 Eight Chain Turu(エイト チェイン スルー)隊形からコールされ、Double Pass Thru(ダブル パス スルー)隊形で終わる。

カプルが一人のダンサーと向き合った隊形からは、例えば、“Centers Arch, Head Lady Dive Thru”のようにコールできる。

アーチを作るカプルは、California Twirl(カリフォルニア トワール)を行うため、普通のカプルでなければならない。

ベーシックプログラムー第2部定義

31. Wheel Around (ウイール アラウンド)

動作を始める隊形: カプル。

コール例:

Promenade, Keep Walking; Heads Wheel Around and make lines

Promenade, Keep Walking; Sides Wheel Around; Right and Left Thru

Promenade; All Wheel Around; Promenade, Wrong Way

Pass Thru; Wheel Around (from Facing Couples)

Heads Pass Thru and Wheel Around; those Ladies Chain

Pass Thru; Wheel and Deal; Centers Wheel Around

Heads Slide Thru and Square Thru 3; Left Touch 1/4; Walk and Dodge; Wheel Around

Sides Star Thru; Double Pass Thru; Centers In; Boys Wheel Around; Couples Circulate

動作:

カプルを一組として動き、左へ回る(180度)。左側の人の方が下がり、右側の人の方が前進する。回転の中心は互いに繋いだ手の位置になる。

動作を終わる隊形: カプル。

タイミング: 4拍。

スタイリング:

カプルはカプルの手の取り方、又は前の動作(例えば、Promenade - プラマネイド)から引き継いだ手の取り方を維持する。次にコールされる動作によっては、Wheel Around (ウイール アラウンド)動作を終了するにあたり、手の取り方を調整する。

注釈:

4カプルがPromenade (プラマネイド)しており、2カプルがWheel Around (ウイール アラウンド)するときは、別の動作を必要とする。例えば、“Promenade, Keep Walking; Heads Wheel Around (プラマネイド キープ ウォーキング ヘッズ ウイール アラウンド)”の場合、サイズはプラマネイドをやめ、ヘッズがWheel Around (ウイール アラウンド)するのを待って、調整して向かい合ったラインを作る。サイズがヘッズ又はサイズが向かい合っていた元の壁に向いたときサイズはプラマネイドをやめれば、壁と正面に向かい合う隊形で終わることができ、更なる調整が必要なくなると教えるコーラーもいる。

プラマネイド)からのWheel Around (ウイール アラウンド)に対するダンサーのよび方に関する更なる詳細についてはWays of Naming Dancers (ダンサーの呼び方)、Heads/Sides (ヘッズとサイズ)を参照。

ダンサーが反対方向へ回転するReverse Wheel Around (リバース ウイール アラウンド)については「総記: 付加細目、Extensions like Reverse Wheel Around (リバース ウイール アラウンドのような応用)」を参照。

32. Thar Family(ザー ファミリー)

Thar Family(ザー ファミリー)の Thar(ザー)と Wrong Way Thar (ロング ウエイ ザー)は動いている隊形である。中心にいるダンサーはバック サドル スター(“付加細目:スタイリング”参照)を保持し、後ろ向きに歩を進める。中心の各ダンサーは外側に隣接し、前進するダンサーとフォアアーム グリップを維持する。

Thar Family(ザー ファミリー)はいくつかある最も古いコールで、伝統的な言葉数の多い様式で伝えられ、実際の指示言語と補助的な言語間の区分けがあいまいである。いつもの通り、コーラーが何を望んでいるのか、ダンサーが理解できるように指示を伝えるのがコーラーの責任である。

Thar Family(ザー ファミリー)のタイミング数は Thar(ザー)の回転を数えない。

32.a. Allemande Thar (アレマンド ザー)

“Allemande Thar (アレマンド ザー)”は隊形の一つである。ベーシック動作リストにその名があるが、動作そのものではなく、むしろ Thar(ザー)を作るための指示を集めたものとしてリストした。指示は接尾辞として機能し、Left Arm Turn(レフト アーム ターン)を Thar(ザー)で終わらせる。補助的な説明言語もしばしばコールの一部となる。

動作を始める隊形: Left Arm Turn(レフト アーム ターン)からの移行。

コール例:

Walk Around The Corner; Turn Partner Left And Make An Allemande Thar

Walk Around Your Corner; Turn Partner Left For An Allemande Thar, Men In The Middle Of A Backup Star

Walk Around The Corner; Turn Partner Left A Full Turn, Girls In The Middle Of An Allemande Thar

Do Paso, Turn Partner Left, Corner Right, Partner Left, Boys Swing In To A Thar

Boys Make A Right Hand Star, Turn It Once Around, Find Your Corner, Turn Corner Left To An Allemande Thar Star With The Girls In The Center

Right And Left Grand, But On Your Fourth Hand Make An Allemande Thar, Men Back In

動作:

ダンサーは引き続き左手で Arm Turn(アーム ターン)を半分(1/2)回り、中心で右手のスターを作り後退する。外側のダンサーは中心ダンサーの左前腕を保持し、前進する。

動作を終わる隊形: 動いている Thar(ザー)。

タイミング: 2拍(Left Arm Turn 1/2(レフト アーム ターン ハーフ)について)。

スタイリング:

中心ダンサーは後退し、バック サドル スターを作る。この中心ダンサーは外側をより大きく歩くダンサーが調子を乱すことなく歩けるよう配慮することを忘れてはいけない。

女性が外側を歩く場合はスカートワークを行ってもよい。

注釈:

コーラーは誰が中心に入って終わるかを指示することも度々あるが、特に標準的な使い方でない場合は役に立つ。

多くの場合、ダンサーは Left Arm Turn 1/2(レフト アーム ターン ハーフ)を行う。すなわち、ダンサーは肩と肩が並んだ時に前腕をとるが、外側になったダンサーが中心に入って終わる。コーラーは別の角度を指示してもよい。例えば、Circle Left, Turn Your Corner Left All The Way Around To An Allemande Thar, Men In The Center である。

Allemande Thar(アレマンド ザー)はサークルを構成する振付の一部であり、左手のウェイブから Turn Partner Left to An Allemande Thar をコールするのは不適切である。

“Allemande Left to an Allemande Thar (アレマンド レフト トゥ アン アレマンド ザー)”には特別な意味があり、下(#32.b)に説明する。ここではコーナーと Left Arm Turn(レフト アーム ターン)をして引き続き Thar(ザー)を作ることは意味していない。この動作をするのであれば、“Allemande Left, Hang On To Corner, Women Wheel In To An Allemande Thar”を使えば可能である。

32.b. Allemande Left to an Allemande Thar (アレマンド レフト トゥ アン アレマンド ザー)

動作を始める隊形: Allemande Left (アレマンド レフト)(#6)と同じ。

コール例:

Allemande Left To An Allemande Thar, Go Right And Left And Form A Star

Allemande Left To An Allemande Thar, Go Forward Two, Men Swing In To A Backup Star

Allemande Left To An Allemande Thar, Go Right And Left And Make An Allemande Thar

動作:

Allemande Left (アレマンド レフト);右手を引っ張って通り過ぎる:Left Arm Turn(レフト アーム ターン)をして男性が中に入り Thar(ザー)を作る。

動作を終わる隊形: 動いている Thar(ザー)。

タイミング: 12拍。

スタイリング: Allemande Thar (アレマンド ザー)(#32.a)と同じ。

注釈:

ダンサーが Allemande Thar (アレマンド ザー)(#32.a)との混乱を避けるため、コーラーは常に“前進”を意味する”go forward”の指示語を入れなければならない。単に“Allemande Left To An Allemande Thar”とコールするだけでは不適切である。さらに、“go forward two(二人進む)”がもっとも使われているが、指示しなければならない。

コーラーはダンサーに対して前進する数をいくつでも指示できる。最後の手を除き、それぞれの手は引っ張って通り過ぎるPull By(プル バイ)で、最後の手はThar(ザー)またはWrong Way Thar (ロング ウエイ ザー)に入る最初のArm Turn(アーム ターン)を始める手である。

32.c. Wrong Way Thar (ロング ウエイ ザー)

Wrong Way Thar (ロング ウエイ ザー)は隊形の一つである。ベーシック動作リストにその名があるが、動作そのものではなく、むしろ Wrong Way Thar (ロング ウエイ ザー)を作るための指示を集めたものとしてリストした。指示は接尾辞として機能し、Right Arm Turn(ライト アーム ターン)を Wrong Way Thar (ロング ウエイ ザー)で終わらせる。補助的な説明言語もしばしばコールの一部となる。

動作を始める隊形: Right Arm Turn(ライト アーム ターン)からの移行。

コール例:

Allemande Left; Turn Partner Right, Girls Swing In Make A Wrong Way Thar

Allemande Left; Turn Partner Right A Full Turn, Boys Swing In Make A Wrong Way Thar

Turn Partner Left; Turn Corner Right To A Wrong Way Thar (men will be in the middle)

Do Paso; (at the end of the Do Paso) Go To The Corner Turn Her By The Right, Make A Wrong Way Thar

Allemande Left In The Alamo Style; Swing Thru; Turn By The Right 3/4 To A Wrong Way Thar

動作:

ダンサーは引き続き右手で Arm Turn(アーム ターン)を半分(1/2)回り、中心で左手のスターを作り後退する。外側のダンサーは中心ダンサーの右前腕を保持し、前進する。

動作を終わる隊形: 動いている Wrong Way Thar (ロング ウエイ ザー)。

タイミング: 2拍(Right Arm Turn 1/2(ライト アーム ターン ハーフ)について)。

スタイリング: Allemande Thar (アレマンド ザー)(#32.a)に同じ。

注釈: Allemande Thar (アレマンド ザー)(#32.a)を参照。

33. Slip The Clutch (スリップ ザ クラッチ)

動作を始める隊形: 動いている Thar(ザー)、動いている Wrong Way Thar (ロング ウエイ ザー)。

コール例:

Slip The Clutch, Allemande Left

Slip The Clutch, Skip One, Left Allemande

Slip The Clutch, Skip One, Skip Another, Skip Another, Turn Partner Left, Four Ladies Chain (From a Wrong Way Thar) Slip The Clutch, Pass Two, Right And Left Grand

動作:

後退していたダンサーは止まって、外にいるダンサーは隣の中にいるダンサーと取っていた手を離す。次に全員がスクエアセットの中心の周りを回るように次のダンサーへと前進する。

一人またはそれ以上のダンサーをスキップ(またはパス)する指示があった場合は、皆がサークル上を前進して、指示された数のダンサーを通り過ぎる。

動作を終わる隊形: Thar(ザー)、Wrong Way Thar (ロング ウエイ ザー)。

タイミング: 2拍。

スタイリング:

進行方向は変わるが、中心にいるダンサーは外側の人と取っていた手を自然に離し、この手をすぐに次のコールに合わせて、前から来る人の手を取るように用意すれば、動作の切り替えが楽に行える。Slip The Clutch (スリップ ザ クラッチ)後の手の取り方は次のコールに従う。

中央にいる人はスターを保持しているのが一般的である。

注釈:

このコールには向かい合ったカプルの規則は適用されない。

34. Shoot the Star (シュート ザ スター)

/ Shoot the Star Full Around (シュート ザ スター フルアラウンド)

動作を始める隊形: 動いているThar(ザー)、動いているWrong Way Thar (ロング ウエイ ザー)。

コール例: (最初の5例は男性が中心のThar(ザー)から始める)。

Shoot The Star; Right And Left Grand

Shoot The Star To Another Thar, Go Forward 2, Men Swing In To A Backup Star

Shoot The Star Go All The Way Around, Give Corner Right, Men Swing In To A Wrong Way Thar

Shoot The Star A Full Turn, Go Backwards 3, Right, Left, Right, Boys Wheel In To A Wrong Way Thar

Shoot The Star A Full Turn, This Way Go Forward 3, Right, Left, Right; Allemande Left

(From a Wrong Way Thar) Shoot The Star, Go Forward 2, With A Left And Right, To Another Wrong Way Thar

動作:

中心のダンサーはそれぞれ中心ダンサーとしてスターを作っている内側の手を下して、隣接する外側のダンサーとArm Turn 1/2(アーム ターン ハーフ)、歩を進めて通り過ぎる。Full Around(フルアラウンド)の指示があれば、Arm Turn(アーム ターン)は全周(360度)である。

動作を終わる隊形: Right and Left Grand Circle(ライト アンド レフト グランド サークル)

タイミング: 4拍。フル アラウンド:6拍。

スタイリング:

Arm Turn(アーム ターン)のとき腕は前腕を取る。別の手は自然なダンス位置に取り、次のコールに備える。女性はArm Turn(アーム ターン)をしている間、引き続きスカートを使う。

注釈:

このコールには向かい合ったカプルの規則は適用されない。

Shoot the Star (シュート ザ スター)の後、ダンサーに対し引っ張って通り過ぎるPull By(プル バイ)を一つまたはそれ以上進むように指示する コーラーも時々いる。例えば上記コール例の

2番目であるが、一歩進んで(Step Thru)、右手を引っ張って通り過ぎ(Right Pull By)、更に進んで左前腕をとり、Left Arm Turn 1/2(レフト アーム ターン ハーフ)を行う。

コーラーはダンサーに対して前進する数をいくつでも指示できる。最後の手を除き、それぞれの手は引っ張って通り過ぎるPull By(プル バイ)で、最後の手はThar(ザー)またはWrong Way Thar(ロング ウエイ ザー)に入る最初のArm Turn(アーム ターン)を始める手である。

あるコーラーは“前進(Forward)”を“ライト アンド レフト グランド(Right and Left Grand)方向を意図して使い、“後退(BackwardまたはBack、Backwards)”をその逆に使うが、また別のコーラーは“前進(Forward)”を現在ダンサーが向いている方向であると意図して使い、後退(BackwardまたはBack、Backwards)という言葉を使わない。どちらも容認できるが、コーラーはダンサーを混乱させないように注意しなければならない。上記コール例の4番目と5番目を参照。

Shoot the Star(シュート ザ スター)をCast Off 3/4(キャスト オフ スリークォーターズ)と同じように使い、Alamo Ring(アラモ リング)を作るコーラもある。例えば“Shoot the Star 3/4 To An Alamo Ring(シュート ザ スター スリークォーターズ トゥ アン アラモ リング)”や単に“Shoot the Star To An Alamo Ring(シュート ザ スター トゥ アン アラモ リング)”のように。Shoot the Star(シュート ザ スター)もまた次の動作に移行できる。例えば、“Shoot the Star(シュート ザ スター)、4 Ladies Chain(フォー レイディーズ チェイン)である。

35. Box the Gnat(ボックス ザ ナット)

動作を始める隊形:

向かい合ったダンサー、一人の男性と一人の女性。

コール例:

Box The Gnat

Tag The Line, Face In; Box The Gnat; Right And Left Thru

Right And Left Grand; Box The Gnat; Wrong Way Grand

Right And Left Grand; Box The Gnat; Pull By; Left Allemande

Box The Gnat, Change Hands; Allemande Left

Heads Slide Thru and Box The Gnat; All Double Pass Thru

Swing thru, Box the Gnat, Right & Left Thru

動作:

ダンサーは互いに前進し右手をとって上にあげアーチを作る。これらの手は動作中つないだままにする。ダンサーはスムーズに動いてPass Thru(パス スルー)し、U Turn Back(ユー ターン バック)をする。

- ・ 女性は左に回ってアーチの下をくぐる。
- ・ 男性は右に回って進み、女性の周りをまわる。

動作を終わるにあたって、各ダンサーは相手の元いた位置に立ち、再び向かい合う。

動作を終わる隊形: 向かい合ったダンサー

タイミング: 4拍。

スタイリング:

このコールでは当初ハンドシェイクのように手を取るが、手のひらと手のひらはゆるく繋ぐ。動作中ダンサーはこの手の繋ぎ方を調節して、同じ手の繋ぎ方で終わる。手は互いに容易に滑るように動かすが、ある程度の安全性と安定性を必要とする。

注釈:

動作が終わってもなお右手は繋いだままで、次のコールは右手を繋いだ処から始める。

この動作にはオーシャンウェイブの規則が適用される。ミニウェイブからは、ダンサーはスムーズに調節して上に述べた手の取り方へ移行する。ウェイブで使われる手の取り方(地域によって異なる)によるが、当初後ろへ少し下がる必要があるかもしれない。

36. *Trade Family(トレード ファミリー)

動作を始める隊形: 全てのウェイブ、ライン、カラム。

動作(総合ルール):

指示された二人は半円を描くように前進して互いに位置を交換する。相手の人がいた位置でこの動作を終わるが、元の位置で自分が向いていた方向とは逆方向を向いて終わる。この動作を行う二人が同じ方向を向いていて途中すれ違う場合は、通り過ぎる時のルールに従い右肩ですれ違う。

(a) Boys Trade (ボーイズ トレード)、Girls Trade (ガールズ トレード)、Ends Trade (エンズ トレード)、Centers Trade (センターズ トレード)

動作:

指示された二人(Boys-男性、Girls-女性、Ends-両端、Centers-中央)は総合ルールを使って互いに位置を交換し、元の位置で自分が向いていた方向とは逆方向を向いて終わる。

(b) Couples Trade (カプルズ トレード)

動作を始める隊形: ライン、又はトゥー フェイスト ライン。

動作:

カプルで一組となり動く。各組が同じライン上にいる他の組と位置を互いに交換する。個人で動作した時と同じように各組は通り過ぎる時のルールに従う。

(c) Partner Trade (パートナー トレード)

動作を始める隊形: カプル、ミニ ウェイブ。

動作: 二人が互いに位置を交換する。

スタイリング:

隣合っていて互いに反対方向を向いている二人がこの動作を行う場合、ハンズアップで手を取り、Swing Thru (スイング スルー)等と同じように回転する。女性が(特に両端から)Trade(トレード)する

時にはスカートワークを行う。 Couples Trade (カプルズ トレイド)を行う時は 43. Wheel and Deal (ウィール アンド ディール)と同じようにカプルハンドで手を取る。 Partner Trade (パートナートレード)を行う時は、互いに動作を行い易くするため内側の手に少し力を入れる。

タイミング:

スクエアセットから Partner Trade (パートナー トレイド)は4拍。 オーシャン ウエイブから Centers Trade (センタース トレイド)は4拍。 Ends Trade(エンズ トレイド)は4拍。 トゥー フェイスト ラインから Couples Trade (カプルズ トレイド)の場合6拍。

37. *Ocean Wave Family (オーシャン ウエイブ ファミリー)

Ocean Wave (オーシャン ウエイブ):

隣接する手を互いに取り合った 3 人以上の人で構成され、隣合った人とはそれぞれ反対方向に向いている隊形。

Mini Wave (ミニ ウエイブ):

2 人で構成する Ocean Wave (オーシャン ウエイブ)。

Right Hand Wave (ライト ハンド ウエイブ):

偶数の人で構成され、端の人が隣接する人と互いに右手を取っている Ocean Wave (オーシャン ウエイブ)。

Left Hand Wave (レフトハンド ウエイブ):

偶数の人で構成され、端の人が隣接する人と互いに左手を取っている Ocean Wave (オーシャン ウエイブ)。

Alamo Style Wave (アラモ スタイル ウエイブ):

偶数の人で構成され、互いに隣接する人とサークル上で互いに隣接する手を取っており、隣合った人とはそれぞれ反対方向に向いている隊形。

(a) Step To A Wave (ステップ トゥ ア ウエイブ)

動作を始める隊形: 向かい合ったカプル。

動作:

ダンサーは Pass Thru (パス スルー)を半分する(即ち、小さく前進し、Mini-Wave(ミニ ウエイブ)を作る)。 終わりの隊形は右手の Mini-Wave(ミニ ウエイブ)である。 通常向かい合ったカプルから Step To A Wave (ステップ トゥー ア ウエイブ)がコールされると、右手の Ocean Wave (オーシャン ウエイブ)で終わる。

(b) Wave Balance (ウエイブ バランス):

動作を始める隊形: Mini Wave (ミニ ウエイブ)、Ocean Wave (オーシャン ウエイブ)

動作:

各ダンサーは1歩前進後瞬時停止し、2歩目を体重の移動無く前の床にタッチ。 次にこのタッチした足から後退し、2歩目は1歩目の足の横でタッチする。

スタイリング:

手はハンズアップに取る。 互いに腕を前に伸ばし肘を少し曲げる。 互いに前進する距離はこの手の位置によって決まる。 パートナーの腕を引っ張って下げないように注意。 Wave Balance (ウエイブ バランス)においては自分の腕が肩より後ろへ行かないようにする。 1歩前進、タッチ、1歩

後退、タッチと動作するが、好みに応じてツーステップ(ステップ-クロウズ-ステップ-ホールド)で前進し、同じく後退してもよい。 前進した時に前へ行き過ぎないように、互いに手で抑える。

タイミング： 1 回の Wave Balance (ウエイブ バランス)で 4 拍。

38. Alamo Style (アラモ スタイル)

動作を始める隊形： 6. Allemande Left (アレマンド レフト)に同じ。

コール例：

Allemande Left In The Alamo Style

Allemande Left In Alamo Style and Balance

Allemande Left In The Alamo Style, Right To Partner And Balance Awhile

動作：

皆で Allemande Left (アレマンド レフト)を行うが、Arm Turn (アーム ターン)を男性がスクエアの中心を、女性が外を向くまで続ける。 左手はそのまま維持し、右手は隣の人とつなぎ、Alamo Ring (アラモ リング)を作る。

動作を終わる隊形： Alamo Ring (アラモ リング)

タイミング： 4拍。

スタイリング：

両手を同時に挙げ、前腕を取っている Allemande Left (アレマンド レフト)から滑らかに、Step To A Wave (ステップ トゥー ア ウエイブ)のスタイリングで、Alamo Ring (アラモ リング)に移行する。

39. *Swing Thru (スウィング スルー) / Left Swing Thru (レフト スウィング スルー)

動作を始める隊形： Ocean Wave (オーシャンウエイブ)または Alamo (アラモ)。

(a) Swing Thru (スウィング スルー)

動作：

出来る人が右手で半回転(180度)し、次に出来る人が左手で半回転(180度)する。 Swing Thru (スウィング スルー)のコールの前に"right(右)"という指示が無くても、右手からの Swing Thru (スウィング スルー)を行う。 向かい合ったカプルの規則が適用される。

(b) Alamo Swing Thru (アラモ スウィング スルー)

動作：

皆で右手で半回転し、次に皆で左手で半回転する。この Alamo(アラモ)隊形から Left Swing Thru (レフト スウィング スルー)がコールされた場合は、皆左手で半回転し、次に皆で右手半回転する。

(c) Left Swing Thru (レフト スウィング スルー)

動作:

出来る人が左手で半回転(180度)し、次に出来る人が右手で半回転(180度)する。もし Left Swing Thru (レフト スウィング スルー)が必要なときは、"Left Swing Thru (レフト スウィング スルー)"と特定しなければならない。

スタイリング:

全ての手はハンズアップで肘を互いに近づける。また相手方向に少し押すようにし、互いに回転を安定させる。半回転をする時はプルバイよりはむしろ弧を描くように自然に動き、互いに間を縫うように次の動作に移行する。

タイミング: 手を取ってから6拍。

40. *Run(ラン) / Cross Run(クロス ラン)

動作を始める隊形:

2人で作られるあらゆる隊形で、指示されて動作を行う人が何も指示されなかった人と直接肩を接している状態。

動作(総合ルール):

指示された人(アクティブ Active)は半円を描くように(180度)前方へ回り、隣にいて何も指示されなかった人(インアクティブ Inactive)の位置に立つ。同時に何も指示されなかった人(インアクティブ Inactive)はどの方向に向いているにしろ、向きを変えずに、動作を指示された人(アクティブ Active)の位置に移動する。Run (ラン)を指示した人(アクティブ Active)は最初と逆の方向を向いて終わり、隣にいた何も指示されなかった人(インアクティブ Inactive)は方向を変えない。Run (ラン)をする方向(右または左)が指定されず、指示された人(アクティブ Active)がそのどちらかの側に何も指示されなかった人(インアクティブ Inactive)がいる場合、中央にいる人は端の人を回り外に出て、端にいる人は中央の人の周りを回り中央に位置する。Alamo Circle (アラモ サークル)から Run (ラン)を行うにあたり方向が指定されない時は、右方向への Run (ラン)である。

(a)Boys Run (ボーイズ ラン)、(b) Girls Run (ガールズ ラン)

(c) Ends Run (エンズ ラン)、(d) Centers Run (センタース ラン)

動作:

指示された人(アクティブ Active)は隣にいて何も指示されなかった人(インアクティブ Inactive)を回って、総合ルールを使い Run (ラン)をする。

(e) Cross Run (クロス ラン)

動作を始める隊形: ライン、トゥー フェイスト ライン、ウエイブ。

動作:

指示された(アクティブ Active)2人は、中央にいるか端に位置するかのいずれかであるが、自分から遠い方の何も指示されなかった人(インアクティブ Inactive)の位置に立つ。何も指示されなかった人(インアクティブ Inactive)が中央にいる場合はそのまま横に動いて端に出て、端にいる場合はそのまま横に移動して中央に位置する。指示された人(アクティブ Active)が同じ方向を向いている場合は、半円を描くように(180度)前方へ進み、互いに右肩で通り過ぎて、一番遠い位置に立

つ。

スタイリング： 手の取り方は次の動作を始める隊形(ライン、ウェイブ等)に従う。

タイミング： 4拍。 Cross Run (クロス ラン)は6拍。

41. Pass the Ocean (パス ジ オーシャン)

動作を始める隊形： ベーシックとメインストリームでは向かい合ったカプルに限る。

コール例： Pass The Ocean

動作：

Pass Thru (パス スルー)し、パートナーと向かい合い、Step To A Wave (ステップ トゥー ア ウェイブ)。

動作を終わる隊形： 右手の Ocean Wave (オーシャン ウェイブ)

タイミング： 4拍。

スタイリング：

3分割できる本定義は滑らかに動ける。左側にいる人は右に弧を描くように前進し、動作を終わる位置へ進む。右側にいる人は前進して(ハンズアップで)左手を取り、互いに1/4回転する。

注釈： ベーシックとメインストリームではこの動作にオーシャンウェイブの規則を適用しない。

スタイリングで滑らかに動くよう奨励してはいるが、Pass the Ocean (パス ジ オーシャン)は3分割できると定義でき、コールを構成するに当たり、コーラーはこれを利用してよい。

ベーシックとメインストリームでは、この動作を分割しない。

42. *Extend (エクステンド) (from 1/4 Tag only)(1/4 Tag (クォーター タッグ)隊形からのみ)

動作を始める隊形： 1/4 Tag (クォーター タッグ)隊形からのみ。

動作：

中央のウェイブは手を離し、向かい合っているカプルへ前進して右手を取り、右手のウェイブを作る。中央のウェイブが左手である場合は前進して左手のウェイブになる。(注)中央のウェイブで中央にいた人は Extend(エクステンド)した後も新しいウェイブで中央に位置し、端の人はウェイブの端に位置して終わる。

スタイリング：

全体に滑らかな動作を必要とし、スタイリングは手の取り方など動作完了時の隊形(ウェイブ)に準ずる。

タイミング： 2拍。

43. *Wheel And Deal (ウィール アンド ディール)

動作を始める隊形： 同じ方向を向いた4人一列のラインまたはトゥー フェイスト ライン。

(a) Wheel and Deal (ウィール アンド ディール)=4人一列のラインから

動作：

左側に立つカプルのみまず一歩前進する。そしてラインの中央にいた人を中心に、ラインの中央方向へカプルで180度回転する。ラインの右半分にいるカプルも同様に回転するが、左側のカプルの内側を回る。この二組のカプルは同じ方向を向いて動作を終わるが、元左側にいたカプルは右側から始めたカプルの後ろに位置する。

(b) Wheel and Deal (ウィール アンド ディール)=トゥー フェイスト ラインから

動作：

各カプルはまず一歩前進し、ラインの中央にいた人を中心に、ラインの中央方向へ180度回転する。各カプルが互いに向かい合って動作を終わる。

スタイリング：

手はカプルハンドに取り、中心となる中央に位置する人は全ての Wheel Around (ウィール アラウンド)動作と同じように、手に少し力を入れて動作をし易くする。

タイミング： 4拍。

44. *Double Pass Thru (ダブル パス スルー)

動作を始める隊形： Double Pass Thru(ダブル パス スルー)。

動作：

前進して右肩で二人を通り過ぎ、スクエアセットの中心に背を向けて動作を終わる。ダブル パス スルーを終わった隊形となる。

スタイリング：

Pass Thru (パス スルー)に同じ。右肩を少し出すように進み、女性は右手でスカートを前に出し通り過ぎる。

タイミング： 4拍。

45. First Couple Go Left/Right (ファースト カプル ゴー レフト/ライト), Next Couple Go Left/Right (ネクスト カプル ゴー レフト/ライト)

動作を始める隊形： Double Pass Thru (ダブル パス スルー)が終わった隊形

コール例:

Double Pass Thru; First Couple Go Left, Next Couple Go Right

Double Pass Thru; First Couple Go Right, Next Couple Go Left

Double Pass Thru; First Couple Go Left, Next Couple Go Left; Promenade, Keep Walking

Double Pass Thru; First Couple Left, Next Right

動作:

各カプルが一組となり、指示された方向へ弧を描いて前進する。中にいたカプルは二番目の指示を行う前にまっすぐ前進する。もしカプルが互いに異なる方向へ行くようにコールされた場合は(例えば、First Couple Go Left, Next Couple Go Right (ファースト カプル ゴー レフト、ネクストカプル ゴー ライト))、小さなサークル上をそれぞれ指示された方向へ、半円を描いて移動する。この位置で、ダンサーは別のカプルに向かい合い、中向のラインで終わる。同じライン上にいる隣のカプルは、始めの隊形で同じ方向を向いていたカプルで、すぐ前にいたカプルかすぐ後ろにいたカプルである。

もし二組のカプルが同じ方向へ行くようコールされた場合(例えば、First Couple Go Left, Next Couple Go Left (ファースト カプル ゴー レフト、ネクスト カプル ゴー レフト))、Promenade (プラマネイド)または Reverse Promenade (リバース プラマネイド)が終わりの隊形となり、次のコールは大体の場合 Promenade (プラマネイド)となる。

動作を終わる隊形: 向かい合ったライン、プラマネイド。

タイミング: 6拍。

スタイリング:

カプルの手のとり方で、小さく回る側にいる人が回転の中心となり、ウイール アラウンドと同じように少し力を入れてリードする。次のコールがプラマネイドの場合は、調整してプラマネイドの手のとり方に変える。

注釈:

次のようなコールの構成が時として使われる(女性が中にいなければならない)。Tag The Line (または Double Pass Thru); Lady Go Left, Gent Go Right, Allemande Left。"GO(行く)"という言葉はダンサーを特定方向へ進ませるが、即座のAllemande Left (アレマンド レフト)で、セットを壊すことなくコールを終わることが出来る。本定義書では"GO(行く)"という言葉をもっと定義づけるつもりはなく、コーラーとしてはこのような使い方を拡大解釈してはいけない。

46. Zoom (ズーム)

本定義書において"Center Point(中心点)"という言葉は、自分が立つ側の4人のダンサー隊形、または、自分が4人のダンサー隊形にいない場合は、スクエアセットの中心を意味している。

動作を始める隊形: 前後の関係があり、離れることが出来る中心点がある隊形。
通常は前後の関係があるカプル、またはボックス サーキュレイト。

コール例:

Zoom

Boys Zoom
Girls Zoom
Ends Zoom

動作:

LEADER(リーダー)が中心点から離れて、完全な円を描くように回り TRAILER(トレイラー)の位置迄来る。TRAILER(トレイラー)は真っすぐ前進し、空いている LEADER(リーダー)の位置に入る。

動作を終わる隊形: 動作を始める隊形に同じ。

タイミング: 4拍。

スタイリング:

LEADER(リーダー)は腕を自然なダンス位置に取る。女性はスカートを振ってもよい。TRAILER(トレイラー)がカプルの場合はカプルの手のとり方になる。

この動作で重要なことは、LEADER(リーダー)は円動作を前進することから始め、後ろに空間を作り、TRAILER(トレイラー)が前進し易くすることである。

注釈:

Run(ラン)またはFold(フォールド)とは異なり、Zoom(ズーム)は LEADER(リーダー)を指定したり、アクティブ化する必要がない(プラマネイドのときを除く-下記参照)。このことは余計なことをいう必要がないのでよいことのように思えるが、誰がアクティブであるか明確ではないことが時々ある。"Zoom, Leaders go back"と言葉を付け足せばよいかと思えます。付加細目:Centers Zoom(センターズ ズーム)と付加細目:Extra words(言葉の付け足し)を参照。

スクエアの外側において、前後の隊形にあるダンサーにZoom(ズーム)をコールすることは可能である(例えば、Ocean Waves または Two-Faced Lines から Ends Zoom(エンズ ズーム)。

特異な動きではあるが、プラマネイドしているときに、順序が逆のプラマネイドを修正するために、Zoom(ズーム)を使うコーラーがいる。この場合、カプルであるダンサーが指示されてLEADER(リーダー)として動き、後ろをプラマネイドしているダンサーと動作を行う(例えば、Promenade, Keep Walking; Heads Zoom; Promenade Home)。この動きは中にいる人が動作を適切に行う十分な余裕がなく、円滑ではないとするコーラーもいる。あるコーラーは、例えば"Heads are leaders, All Zoom"が適切なコールであるとする。

Single File PromenadeからZoom(ズーム)をコールすることは可能である。例えば、"Boys Are Leads, Boys Zoom" または単に "Boys Zoom"である。

47. *Flutterwheel (フラター ウィール)/ Reverse Flutterwheel (リバース フラター ウィール)

動作を始める隊形: 向かい合っているカプル。

(a) Flutter Wheel (フラター ウィール)

動作:

カプルの右側にいる人が進んで右手のフォアアームで回り、向かい側にいる人のところ迄来た時、

空いている方の手(左手)を伸ばしこの人の右手を取り、そのまま回転運動を続けて、カプルの右側にいた人が動作を開始した位置に戻り、中央で取っていた手を離して、更に回転し中央を向いてカプルの状態で動作を終わる。

(b) Reverse Flutter Wheel (リバース フラター ウィール)

動作:

カプルの左側にいる二人が進んで左手のフォアアームターンをし、向かい側にいる人を連れて自分の元の位置(カプルの左側)に戻ること除いては、Flutter Wheel (フラター ウィール)と同じ。

スタイリング:

中央に進んで回転する人はフォアアーム回転の原則を忘れずに行う(ベーシックの7を参照)。連れて行かれる人は、向かい側から来る人の動作に合わせてその隣に歩を進め、カプルハンドを保持する。女性が外側となった場合は空いている方の手でスカートを振るのが望ましい。

タイミング: スクエアセットからヘッズまたはサイズが動作する場合8拍。全ての女性が行う場合は12拍。

48. *Sweep a Quarter (スウィープ ア クォーター)

動作を始める隊形: (右または左に)円形に移動する向かい合っているカプル。

動作: 円形に移動する動作を1/4(90度)引き続き行う。

スタイリング: 全て手はカプルの手のとり方。前の動作の手をスムーズにほどいてカプルハンドに切り替え、スウィープ動作に入る。

タイミング: 二組のカプルの場合は2拍。四組のカプルの場合は4拍。

49. *Trade By (トレイド バイ)

動作を始める隊形:

トレイド バイ又は二組のカプルが互いに向かい合い、他のカプルが外を向いているあらゆる隊形。

動作:

互いに向かい合っているカプルが Pass Thru (パス スルー)、外を向いているカプルが Partner Trade (パートナー トイレド)し内側を向く。

スタイリング: Pass Thru (パス スルー)と Partner Trade (パートナー トイレド)に同じ。

タイミング: 4拍。

50. *Touch 1/4 (タッチ ワン クォーター)

動作を始める隊形： 向かい合っている人。

動作： 互いに右手を接し、直ちに右へ1/4(90度)回転する。

スタイリング： ハンズアップで手のひらと手のひらを合わせ、大体肩の高さに保持する。

タイミング： 2拍。

51. Ferris Wheel (フェリス ウィール)

動作を始める隊形： トゥー フェイスト ライン。

コール例：

Ferris Wheel

Ride A Ferris Wheel

動作：

カプルはそれぞれ前進する。外を向いているカプルは Wheel and Deal (ウィール アンド ディール)をする。中を向いているカプルは直進して中央で瞬間的なトゥー フェイスト ラインを作り、引き続き止まらずに Wheel and Deal (ウィール アンド ディール)を行う。

動作を終わる隊形： ダブル パス スルー。

タイミング： 6拍。

スタイリング：手は全てカプルの手のとり方で行う。中を向いているカプルは十分前進して中央で瞬間的なトゥー フェイスト ラインを作り、初めて Wheel and Deal (ウィール アンド ディール)を行う。動作としては前進してウィールであり、バンドしてスイープではない。

瞬間的なトゥー フェイスト ラインを作ったとき、カプルが内側の手をタッチする必要はないが、タッチしたり、平手で軽くたたいたりするスタイリングも一般的で、ダンスに変化を与える一つとなっている。

外を向いているカプルがその動作速度を調節して、皆が動作を同時に終了できれば、最高のタイミングとなる。

注釈：

元来の定義で、Ferris Wheel(フェリス ウィール)を始める隊形として別のものがあつたが (Facing Lines, 1/4

Line)、現在はコーラーラブ プログラムの中に入っていない。

トゥー フェイスト ラインから中を向いているカプルが Bend The Line(バンド ザ ライン)した隊形からの Ferris Wheel(フェリス ウィール)は適切である。この使い方は一般的ではないが、それぞれのカプルがそれぞれの部分を行う。

“Ferris Wheel And Deal”という言い方は不適切である。

メインストリームプログラム定義

52. Cloverleaf(クローバーリーフ)

Cloverleaf(クローバーリーフ)の総合的な動作としては、ダンサーが円上を3/4前進して、自分たちの4分円内に止まることである。 高速道路のランプや4つ葉のクローバーの一葉の端を思い浮かべれば、動作の軌跡がよくわかる。

52.a. Cloverleaf (クローバーリーフ-皆がアクティブ)

動作を始める隊形: ダブル パス スルーが終わった隊形。

コール例:

Cloverleaf

Everyone Cloverleaf

動作:

リードの位置にいる人は互いにパートナーと離れるように別れ、円周上を3/4(270度)回る。

反対側から来た別のリードの人と近づいたとき、互いに外側の手を伸ばし、カプルの手のとり方でパートナーとなってスクエアの中央に進み、中向のカプルとなる。

後ろに位置した人(トレーラー)はその前の人(リーダー)に続き、真後ろに位置して動作を終わる。

動作を終わる隊形: ダブル パス スルー

タイミング: 8拍。

スタイリング:

腕は自然な手の位置で、スカートワークは自由。 互いに別れる前に共に少し前進することが重要である。 後ろに位置した人(トレーラー)はリーダーの通った後を進み、隅切りをしない。 互いにカプルとなる時にはカプルの手のとり方となる。

52.b. Cloverleaf (クローバーリーフ-2カプルのみアクティブ)

動作を始める隊形: 2カプルが何処かでセットの外を向いている隊形(例えばTrade By-トレイドバイ)。

コール例:

Boys are a couple looking out of the set: Boys Cloverleaf

Squared set: Heads Turn Thru and Cloverleaf

Squared set: Heads Square Thru; Pass Thru; Cloverleaf while the centers Square Thru

Squared set: Sides Pass Thru and Cloverleaf; Heads Square Thru 2 and Cloverleaf;

New centers Square Thru 3

Double Pass Thru; Ends Cloverleaf; others Partner Trade; You're Home

動作:

指示された人はセットの外を向いていなければならない。この人たちがセットの中心にいる場合は、まず前進して、次に互いにパートナーと離れるように別れ、円周上を3/4(270度)回る。セットの反対側から来た人に会ったとき、カプルとなって中心を向く。もし他に誰も前にいなければ、Cloverleaf (クローバーリーフ-皆がアクティブ)のリーダーと同じように、セットの中心で動作を終わる。

インアクティブダンサーが中心を向いたカプルのときは、このカプルがセンターとなる。

動作を終わる隊形: 各種。アクティブダンサーが中向のカプルとなる。

タイミング:

アクティブダンサー: 6拍(または、センターに入る場合: 8拍)。インアクティブダンサー: 0拍(センターとして始めた場合)または2拍(エンズとして始めた場合)。

スタイリング:

腕は自然な手の位置で、スカートワークは自由。互いにカプルとなる時にはカプルの手のとり方となる。

注釈:

次のコールはたびたびインアクティブダンサーに対して与えられ、アクティブダンサーが Cloverleaf (クローバーリーフ)をまだ動作中に動き始めることができる。

53. Turn Thru (ターン スルー)

動作を始める隊形: 向かい合った人。

コール例:

Turn Thru

Swing Thru; Turn Thru

Girls Turn Thru

Squared set: Heads Turn Thru; Separate, Around 1 To A Line

Heads Square Thru 4; Spin The Top; Turn Thru; Courtesy Turn

動作:

滑らかなひとつの動きとして、前進してウェイブを作り(手は前腕をとる)、右手で半分周り、通り過ぎる。

動作を終わる隊形: 背中合わせ。

タイミング: 4拍。

スタイリング:

Allemande Left (アレマンド レフト)に相似。普通に前腕を取り、男性の自由な手は自然なダンス位置に取り、女性の自由な手はスカートを振ることが望ましい。

注釈:

オーシャンウェイブの規則が適用される。

Turn Thru(ターン スルー)は常に180度回転である。アラモ リングから皆をAllemande Left(アレマンド レフト)させたい場合は、Turn Thru(ターン スルー)ではなく、Arm Turn(アームターン)が適切なコールであろう。

54. *Eight Chain Thru (エイト チェイン スルー)/

Eight Chain 1, 2, 3, etc.(エイト チェイン 1、2、3等)

動作を始める隊形: エイト チェイン スルー。

動作:

向かい合っている人の右手を取り、引っ張って通り過ぎる。(エイト チェイン ワンの完了)。次に中央で向かい合っている人が左手を取り、引っ張って通り過ぎ、その間に外側に出た人はCourtesy Turn(カーテシー ターン)を行う(エイトチェイン トウの完了)。この動作を繰り返しエイト チェイン スルー、フォーを達成する。エイト チェイン スルーはエイト チェイン エイトと同じ。偶数動作(2、4、6、8)はエイト チェイン スルー隊形で終わり、奇数動作(1、3、5、7)はトレイドバイ隊形で終わる。

スタイリング:

Courtesy Turn(カーテシー ターン)とRight and Left Grand(ライト アンド レフト グランド)に同じ。但し、Courtesy Turn(カーテシー ターン)を正しく行い、エイト チェイン スルー隊形を正確に維持すると共に、Right and Left Grand(ライト アンド レフト グランド)に同じ動作とならないよう強調されるべきである。

タイミング: 8ハンズが20拍、4ハンズが10拍。

55. Pass to the Center (パス トゥー ザ センター)

動作を始める隊形: エイト チェイン スルー。

コール例: Pass To The Center

動作:

Pass Thru(パス スルー)し、外に出た人はPartner Trade(パートナー トレイド)。

動作を終わる隊形: ダブル パス スルー。

タイミング: 中央で動作を終わる人が2拍、外で動作を終わる人が6拍。

スタイリング: Pass Thru(パス スルー)とPartner Trade(パートナー トレイド)に同じ。

注釈: オーシャン ウェーブの規則が適用される。

Pass Thru(パス スルー)ではあるダンサーは中心に入ってくるが、他のダンサーは外側へ出る。

向かい合ったラインからこのコールをするのは不適切である。

このコールを左手のオーシャン ウェイブから行うのは不適切である。 10. Pass Thru(パス スルー)参照。

56. *Single Hinge (シングル ヒンジ)/Couples Hinge (カプルズ ヒンジ)

Hinge (ヒンジ)は Trade(トレード)の半分で、全ての隣合った二組のカプルや Trade が出来る人達は Hinge (ヒンジ)が可能となる。

(a) Couples Hinge (カプルズ ヒンジ)

動作を始める隊形：ラインまたはトゥー フェイスト ライン。

動作：

カプルが一組となって動く。 Couples Trade (カプルズ トレード)を半分行い、元のラインに対して直角になった位置でトゥー フェイスト ラインとなり、動作を終わる。

(b) Single Hinge (シングル ヒンジ)

動作を始める隊形：ミニ ウェイブ。

動作：

互いに Trade (トレード)を半分行い、元のミニウェイブに対し直角になった位置でミニウェイブとなり、動作を終わる。

スタイリング：

カプルは自然な手の位置で手を取り、Wheel and Deal (ウィール アンド ディール)と同じスタイリング。 Single Hinge (シングル ヒンジ)はハンズアップ。

タイミング： Couples Hinge (カプルズ ヒンジ)-3拍。 Single Hinge (シングル ヒンジ)-2拍。

57. Centers In(センターズ イン)

動作を始める隊形：

Completed Double Pass Thru(ダブル パス スルーを終了した隊形)、Eight Chain Thru(エイトチェイン スルー)。ほとんどの場合、スクエアセットの中心に背を向けたカプル、または外にいるダンサーを直接見ている、中にいる個々のダンサーが動作を行い得る。

コール例：

Centers In

Put Centers In

動作：

顔の向いている方向は変えずに、外にいるダンサーは互いに一步はなれて間に空間を作り、中にいたダンサーがこの空間に前進して動作を終わる。

動作を終わる隊形：

それぞれに異なる。 Completed Double Pass Thru(ダブル パス スルーを終了した隊形)からは外向きのライン。 Eight Chain Thru(エイト チェイン スルー)からは外が向かい合っている一部が逆になったライン。

タイミング： 2拍。

スタイリング：

中にあるダンサーが前進して外側のダンサーの間に入るとき、その場に適した手のとり方をする(同方向を向く場合はカプルの手のとり方、互いに異なる方向を向く場合はオーシャンウェイブのスタイリング)。

注釈：

Centers In(センターズ イン)を行うと中心に余分な空間が生ずるが、次のコールにより、または square breathing(スクエア ブリージング)でこの空間は縮小されるか消滅する(第4部付加細目：動作:square breathing(スクエアの拡大と縮小を参照)。

58. Cast Off 3/4(キャスト オフ スリー クォーターズ)

動作を始める隊形： ミニウェイブ、すべてのライン。

コール例：

Cast Off 3/4

Pass The Ocean; Cast Off 3/4

Couples Circulate; Tag The Line; Put Centers In; Cast Off 3/4 -- Boys Push

Center 4, Wheel And Deal; Outsides Cast Off 3/4 (from a Tidal Line)

Veer Left; Centers Trade; Cast Off 3/4

動作：

ミニウェイブからは3/4回転する。 すべてのラインからは、そのラインの半分がそれぞれ共に動き、ミニウェイブは3/4回転し、カプルの場合は一組となってラインの中心から遠い方へ円の3/4(270度)を回転する。

動作を終わる隊形：

ミニウェイブからはミニウェイブ。 ワンフェイスラインまたはトゥフェイスラインからは向かい合ったカプル。 すべてのラインからはすべてのボックス(中心点は変わらず同じ)。

タイミング： 6拍。

スタイリング：

ダンサーは動作中パートナーとの手のとり方は変えない。 Completed Double Pass Thru(ダブル パス スルーを終了した隊形)からCenters In(センターズ イン)、Cast Off 3/4(キャスト オフ スリー クォーターズ)の組み合わせが肘をかけてよく踊られている。 Centers In(センターズ イン)の後には必ずしもCast Off 3/4(キャスト オフ スリー クォーターズ)ではないから、このスタイリングは止める。

注釈：

スクエアセットの外側にいるカプル(例えば、Couples Circulate 1 1/2-カプルズ サーキュレイト

ワンス アンド ア ハーフ)にCast Off 3/4(キャスト オフ スリー クォーターズ)をコールすることは可能。この場合、外側にいるカプルは他の半分がスクエアセットの中側にいると仮定してコールに従う。

Cast Off 3/4(キャスト オフ スリー クォーターズ)の後にSweep a Quarter(スイープ ア クォーター)を行うのは適切ではない。

カプルで行う場合、回転をする中心点に問題が生じてしまう。今までは、外のダンサーが軸となって、中にあるダンサーはその周りの円周上を、まさに庭木戸を押し開けるように3/4回るように言われていた。場合によっては(例えば、Two-Faced Line-トゥ フェイスト ラインから)、これが大きな問題となった。なぜ動作が直接向かい合ったカプルで終わるのか説明がなかったからである。現時点での定義では回転の中心点については重要視していない。ダンサーが正しい方向に回転し、正しい隊形で動作を終わっている限り、ダンサーは適切に動作を行っているとしている。Tidal Line(タイダル ライン)またはTidal Two-Faced Line(タイダル トゥ フェイスト ライン)からは各それぞれの側で動いてEight Chain Thru(エイト チェイン スルー)隊形で終わるのがCast Off 3/4(キャスト オフ スリー クォーターズ)の適切な動作である。Tidal Line(タイダル ライン)だけから、コーラーが各それぞれの側が一組として動いてほしいならば、向かい合ったラインで動作を終わる。"Line of 8, Bend The Line(ライン オブ エイト、ベンド ザ ライン)(#20.b)"に同じく"Line of 8, Cast Off 3/4(ライン オブ エイト、キャスト オフ スリー クォーターズ)"とコールしても良いが、このような動作(または6人のラインからの動作)はほとんど使われていない。

3/4以外の分数で動くCast Off (キャスト オフ)については第4部付加細目:Commands(指示):Extensions like Reverse Wheel Around(リバース ウィール アラウンドのような応用)を参照。

59. Spin the Top (スピンのトップ)

動作を始める隊形: Ocean Wave(オーシャン ウェーブ)

コール例:

Spin The Top

Spin The Top; Spin It Again (i.e., go twice)

Spin Your Top

Spin Your Top, Do A Right and Left Thru

動作:

外側にいる人とその隣の内側の人がそれぞれ1/2回転する。内側にはいった人が更に3/4回り、その間に外側になった人がそれぞれ円周上を1/4進んで、オーシャンウェーブの外側となり動作を終わる。

動作を終わる隊形: 始めた位置から直角に移動したオーシャン ウェーブ。

タイミング: 8拍。

スタイリング: Swing Thru (スウィング スルー)に同じ。

注釈: 向かい合ったカプルの規則が適用される。

"Spin The Top, Right and Left Thru"の組み合わせは、ダンサーがハンズアップである Spin the Top(スピンのトップ)から、Right and Left Thru(ライト アンド レフト スルー)を行うために手を調節する必要があることを踏まえてコールしなければならない。

3人のオーシャンウェイブから Spin the Top(スピン ザ トップ)を行う場合は、コーラーが誰から始めるのか指定しなければならない(例えば、Right Spin The Top, Starting With The Right Spin The Top, Boys Start Spin The Top)。指示された人が1/2回転する。指示されなかったダンサーと中心のダンサーは更に3/4回り、その間に他の人がそれぞれ隊形の円周上を1/4進んで、3人のオーシャンウェイブの外側となる。この使い方は一般的ではない。

左手のオーシャンウェイブからは"Left Spin The Top(レフト スピン ザ トップ)"のコールを行うことが可能で、"Left(レフト)"はダンサーを助けるために付け足されている(第4部:付加細目:付け足し語句を参照)。

右手のオーシャンウェイブから"Left Spin The Top(レフト スピン ザ トップ)"および"Centers Start, Spin The Top(センターズ スタート スピン ザ トップ)"は適切ではない。

60. *Walk And Dodge (ウォーク アンド ドッジ)

動作を始める隊形: ボックス サーキュレイトまたは向かい合っているカプル。

動作:

ボックスサー キュレイトの隊形から行う場合は、ボックスの内側を向いている人がそれぞれ前進し、すぐ前にいた人の位置に進む。ボックスの外側を向いている人はそれぞれ自分の横にいた人で前進した人(ウォーカー)の位置へ横にステップして進む(ドッジ)。横並びとなって二人とも外を向いた隊形で終わる。向かい合っているカプルからこの動作を行う場合は、誰がウォークし、誰がドッジするかコーラーにより指示(例えば Men Walk, Ladies Dodge (メン ウォーク レイディース ドッジ)されなければならない)。ボックス サーキュレイトの隊形で終る。

スタイリング:

腕は自然な手の位置に取り、女性のスカートワークは自由。手は次のコールに備え、適当な位置に保持する。

タイミング: 4拍。

61. Slide Thru (スライド スルー)

動作を始める隊形: 向かい合ったダンサー。

コール例:

Slide Thru

動作:

ひとつの滑らかな動きで Pass Thru(パス スルー)し、男性が右を向き、女性が左を向く。

動作を終る隊形:男性同士で動作する場合は右手のミニウェイブ、女性二人の場合は左手のミニウェイブ。その他の場合はカプル。

タイミング: 4拍。

スタイリング:

腕は自然な手の位置に取り、女性のスカートワークは自由。手は次のコールに備えて適当な位置(カプルの手のとり方またはハンズアップ)にとる。

Pass Thru(パス スルー)した後、滑らかに回転し、横への動きまたは縦への動きに移行する。

注釈:オーシャン ウェーブの規則が適用される。

62. *Fold (フォールド) / Cross Fold (クロス フォールド)

動作を始める隊形:

二人で構成される全ての隊形で、指定された人が隣の人と直接肩を接している隊形。

動作(総合ルール):

指定された人が前進して円周上を移動し、隣の人またはその位置の方向へ向いて終わる。隣の何も指示されない人(インアクティブ)はどの方向を向いているにしろ、動いて勝手に方向を変えない。

特に指定されない限り、Centers(センターズ)はEnds(エンズ)の方へ、Ends(エンズ)はCenters(センターズ)の方へFold(フォールド)する。

(a) Boys Fold (ボーイズ フォールド)、(b) Girls Fold (ガールズ フォールド)、
(c) Ends Fold (エンズ フォールド)、(d) Centers Fold (センターズ フォールド)

動作:

指示された人(アクティブ)は指示されなかった人(インアクティブ)の方向へ(総合ルール)に従いFold(フォールド)する。

(e) Cross Fold (クロス フォールド)

動作を始める隊形: ライン、トゥー フェイスト ラインまたはウェーブ。

動作:

指示される人(アクティブ)は両方とも中央に位置するか外端におり、自分からは遠い方に位置する指示されなかった人(インアクティブ)の方向へ円周上を移動してFold(フォールド)し、この人の方を向いて動作を終わる。指示される人(アクティブ)が両方とも同じ方向を向いている場合は円周上を前進し、互いに通り過ぎて、指示されなかった人(インアクティブ)の方向へFold(フォールド)する。

スタイリング:

手の位置は動作を始める隊形により異なる。即ち、ウェーブからはハンズアップであり、ラインまたはサーキュレイトからはカプルの手のとり方で、隊形に合った手の使い方にする。指示されなかった人(インアクティブ)は手に少し力を入れて、指示された人(アクティブ)が動作をし易いように手助けをする。

タイミング: Fold(フォールド) 2拍。Cross Fold(クロス フォールド) 4拍。

63. *Dixie Style to an Ocean Wave (ディキシー スタイル トゥー アン オーシャン ウェイブ)

動作を始める隊形： 向かい合っているカプルまたは前後の位置で向かい合っている隊形。

動作：

向かい合っているカプルからの場合は、右側の人(リーダー)が左斜め前に前進し、前後の位置で向かい合っている隊形の先頭(リーダー)となる。先頭(リーダー)は互いに右手を取り、引っ張って通り過ぎ、向こう側の後ろの人(トレーラー)迄移動して、互いに左手を伸ばして手を繋ぎ、左手のミニ ウェイブを作って、これを1/4(90度)回転する。新たに中央となった人は右手を繋いで左手のオーシャン ウェイブとなる。

スタイリング：

先頭(リーダー)は最初中央で手を取る時には Right and Left Grand (ライト アンド レフト グランド)と同様にシェイクハンドを使う。後ろの人(トレーラー)とミニウェイブを作る時は右に動きハンズアップに手を取り、Swing Thru (スウィング スルー)と同じスタイリングで動作する。

タイミング： スクエアセットからヘッズまたはサイズがウェイブになる場合6拍。4カプルの場合8拍。

64. *Spin Chain Thru (スピン チェイン スルー)

動作を始める隊形： 平行したウェイブ。

動作：

それぞれの外端とその隣の人(リーダー)が1/2回転(180度)回る。それぞれのオーシャン ウェイブの中心に入った新しいセンターが3/4回転(270度)回り、他の組とセットを横切った新しいオーシャン ウェイブを作る。このウェイブの中心二人は1/2回転(180度)回り、再びセットを横切ったオーシャン ウェイブを作る。この中心にあるオーシャンウェイブの外側にいる2組が3/4回転(270度)回り、外で待っている人と平行したウェイブを作る。向かい合ったカプルの規則が適用される。

スタイリング：

Swing Thru (スウィング スルー)と同じハンズアップ。外で待っている人はその場所を動かさないで、手は次のコールに備えて適当な位置に保持することが重要である。

タイミング： 16拍。

65. *Tag the Line (タッグ ザ ライン)(In/Out/Left/Rightーイン/アウト/レフト/ライト)

動作を始める隊形： 偶数人数で構成される全てのライン。

動作：

(Full フル)各人がそれぞれラインの中央を向き、左横へ少し移動し、ラインの向こう側半分から来る人達と右肩で全部通り過ぎる迄前進する。続いて In (イン)、Out (アウト)、Right (ライト)、Left (レフト)といずれかの方向を指示される場合があるが、この時にはその場で1/4(90度)回転し、指示さ

れた方向を向いて終わる。

スタイリング:

腕は自然な手の位置におく。手は次のコールに備えて適当な位置に保つ。少し前進してラインの中央を向くようにすれば、流れるような動作が可能となり、軍隊式の堅い動きを避けることができる。

タイミング: 6拍。

66. *Half Tag (ハーフ タッグ)

動作:

Tag The Line (タッグ ザ ライン)と同じようにラインの中央を向き前進するが、中央の人が向こう側の端にいた人と出会ったところで停止する。4人のラインからこの動作を行った場合、右手のボックス サーキュレイト、もっと長いラインから始めた場合は、右手のカラム隊形となる。

スタイリング:

腕は自然な手の位置におく。手は次のコールに備え適当な位置に保つ。少し前進してラインの中央を向くようにすれば、流れるような動作が可能となり、軍隊式の堅い動きを避けることができる。

タイミング: 4拍。

67. *Scoot Back (スクート バック)

動作を始める隊形: ボックス サーキュレイトまたはクォーター タッグ。

動作:

ボックス サーキュレイト隊形から内を向いている人が直進し、それぞれ内側の手をフォアアームにとり、1/2(180度)回転した後、外を向いていた人がいた位置へ前進して動作を終わる。この間外を向いていた人は直進して、フォアアーム ターンをする人がいた位置へそれぞれ Run(ラン)をする。右手のボックスからこの動作を行った場合、内を向いている人は右手の回転、外を向いている人は右へのRun(ラン)をする。左手のボックスからこの動作を行った場合、内を向いている人は左手の回転、外を向いている人は左へのRun(ラン)をする。ボックス サーキュレイト隊形で終わる。クォーター タッグ隊形からの場合は、前進し手をフォアアーム(中央のウェイブが右の時は右手、左の時は左手)にとり、1/2(180度)回転して再び前進し、中央に戻ってウェイブを(元の手と同じ手で)作る。他の人はカプルとなり外を向いて終わる。終わりの隊形は3/4タッグとなる。

スタイリング: Turn Thru (ターン スルー)、Fold (フォールド)に相似。

タイミング: 6拍。

68. *Recycle (リサイクル) (ウェイブからのみ)

動作を始める隊形： オーシャンウェイブのみ。

動作：ウェイブの外側の方が Cross Fold (クロス フォールド)を行い、中央の人がその後ろに Fold(フォールド)して入り、そのままついて行って内側を向き、2組の向かい合っているカプル隊形となり、動作を終わる。

スタイリング：

腕は全て自然な手の位置にとり、手は次のコールに備えて出来るだけ早く適当な位置に保つ。

タイミング： 4拍。

付加細目

この部はまだ見直しを行い、承認を受ける必要がある。

Starting Formations (動作を始める隊形)

各定義にはコールされた動作を始めることができる隊形を最少単位の基本的な隊形で示した。従ってこの動作は他の何ヶ所かで行うことも可能である。例えば、Dosado(ドウサドウ)を行うに必要な最少人数は2人であるが、4人のラインで、向かい合ったラインとこの動作をする時は四ヶ所で行うことが可能で、この場合基本的な隊形が四ヶ所に存在することになる。

Commands (指示)

Extra words (付け足し語句)

Plain English (平易な英語)

Extensions like Reverse Wheel Around (リバース ウイール アラウンドのような応用)

Fractions (分数)

Gimmicks (特異な動き)

Bending vs. breaking the definition (定義の歪曲と破棄)

Do Your Part (自分の動作すべき部分)

Centers Zoom (センターズ ズーム)

Extend and Tag The Line (エクステンドとタッグ ザ ライン)

Dance Action (動作)

Defining Calls with Arm Turns (アームターンの動作定義)

Definitional Precision (定義詳細)

Blending one call into another (動作の別のコールとの組み合わせ)

Who is active (アクティブとなる人)

What does naming a dancer mean?(ダンサーを名付ける意味)

Square Breathing(スクエアの拡大と縮小)

Timing(タイミング)

タイミング委員会がそれぞれの動作を行うのに何拍を必要とするか決定した。ダンサーは音楽の各拍子にあわせて歩を進めるべきなので、音楽の各拍子数と歩数は同等のものと考えることが出来る。

ひとつの音楽は一連のばらばらの拍子を共に配列したものといってもまだ言い足りない。もっと適切に言えば、音楽は区切られた部分により構成され、当然のことながらこの区切られた部分が更に小さい部分に分割されている。たいていのダンス音楽では64拍の楽句は二つの32拍楽句により構成され、この32拍の楽句は二つの16拍楽句、この16拍の楽句は二つの8拍楽句により構成される。

以前の伝統的なスクエアやコントラダンスでは、コールの流れがこれら楽句の度合いにあわせるように、ダンスの組み立て構成が行わる。一般的には、ダンサーは拍子に合わせて動作を始め、8拍を使って動作を行う。それぞれのダンスではカプルが次のカプルへ進むにつれて一連の動作を連続して行う。この一連の動作を前もって知ることで、また、何回も繰り返すことにより、ダンサーはコールを遂行したり、コール間をうまく処理して音楽の楽句にあわせることが出来るようになる。Dosado(ドーサードー)、Right and Left Thru(ライト アンド レフト スルー)、Two Ladies Chain(トゥ レイディーズ チェイン)、Up To The Middle And Back(アップ トゥ ザ ミドル アンド バック)は楽句の1拍目から始めて8歩の踊りである。8拍を使わない動作はごく少数で、例えば、4拍の動作はPass Thru(パス スルー)とBalance(バランス)、または12拍のSwing(スイング)である。

現在のスクエアダンスでは動作の種類も大きく増え、8拍を使わない動作も多い。たとえ一連のコールを前もって知らなくとも、すべるような連続した歩調で踊り、音楽の一拍子で一步進み、ひとつの動作から次の動作へは継ぎ目なく移行する。伝統的には8拍を使うある動作(例えば、Right and Left Thruーライト アンド レフト スルー)は通常6拍で踊られている。

各動作のタイミングはその動作を行うための理想的な歩数すなわち音楽の拍数である。主にタイミングは、ダンサーがコールを踊れるように、コーラーがダンサーに対して正しい拍数を与えるために提示されている。タイミングはまた64呼間のシンギングコール構成のためにも利用できる。しかし、コーラーとしては64拍まで加算し一連のコールを作るだけでは足りない、より以上のものがあることを忘れてはならない。コールからコールへの移行部分、スクエアの拡大縮小等があるからである。タイミング数はシンギングコールの組み立てにはよき出発点となるが、一連のコールを音楽に合わせて踊ってみて始めてタイミングが合っているかどうかわかる。コーラーはまた、タイミング数を調節する必要がある他の要素、例えば、ダンサーの年齢や体力、床の状態などについても注意を払うべきである。

タイミングに対して注意を払うことにより、ダンス経験を高めることが出来る。ダンスは音楽に合わせて初めてうまく踊れるからである。たいていのダンサーは系統立てて教えられたタイミングにはよく反応する。特に、32歩のGrand Square(グランド スクエア)や8歩の4 Ladies Chain(フォー

レイディース チェイン)である。

スクエアセットからの動作タイミングは長くなる。 第1部:Conventions and Rules(約束事と規則): Squared Set Convention(スクエアセットの約束事)参照。

Styling(スタイリング)

スクエアダンスを踊るということは、体のある場所から別の場所へ、適切な時間で移動することに尽きる。 あるダンサーと他の7人のダンサー間にはスクエア内での交流が必要となるが、言ってみれば、スクエアダンスを踊るということは、手で踊るということにもなる。 スタイリングの指針として、一般的にスクエアダンスがどのように踊られるのかを次に述べる。 地域差が存在するが、この件については最後に述べる。

Posture(姿勢)

胸をはり、背筋を伸ばして肩を後ろに引く。 背の高い人はしばしば前屈みになるので気をつける。

Dance Step(歩き方)

スムーズでむりなく滑るように歩を運び、足を前に出す時はまずボールで床を滑るように捕らえ、そしてヒールを静かに床に着ける。 歩幅は極力小さく、膝から進むような感じで、音楽のビートに乗って歩を進める。 ボールとヒールを使って歩幅を短く滑るように歩を進めることができれば、気楽に踊ることができる。

Arms and hands(腕と手)

カプルハンド(カプルの手の取り方):

内側の手を取る。 男性は常に掌を上に向けている状態を保ち、女性はこの手に掌を下にして乗せる。 男性同士、女性同士の場合は左側の人が掌を上に向け、右側の人が下に向ける。 腕を少し曲げ、手は肘より高めにする。 Wheel Around(ウィール アラウンド)のような動作を行う時は、前腕を互いに揃えてしっかりと支るようにする。

フォアアーム(前腕の取り方):

手は相手の手首を超えるが、肘関節を超えてはいけない。 互いにコールされた動作を行う相手の腕と内側を合わせ、指は親指迄しっかりと揃えて開かない。 回転動作を行う時はこの合わせた腕の真ん中を中心とし、互いに同距離を保って回転する。

シェイクハンド(握手と同じ手の取り方):

楽に手を伸ばして、大体腰の高さで相手の手を軽く握り、親指は相手の手の甲へ出す。 Right and Left Grand(ライト アンド レフト グランド)では、互いに通り過ぎる時に手を離すことが重要で、手をなかなか離さないで身体が反ってしまったり、次の人の手を早く握ろうと前屈みになったりしてはいけない。

ルースハンド(ゆるい手の取り方):

手は互いに接触を保っているものの自由に回転し、適度な安心感と安定感を保持する。 軽く抑えていることも必要となる。

ハンズアップ(手を上げる手の取り方):

掌を交差して手を繋ぐ。即ち、向かい合った人と指を上に向けて掌を合わせてから、互いに少し外側へ手を傾けた状態。親指は相手の手の甲へ出して軽く閉じる。回転動作を伴うので手首は曲げない。

ボックススター/バックサドル(ボックスを作る手の取り方):

四人の男性が掌を下に向けて、それぞれ前の人の手首を軽く握りあって四角を作る。

Inactive dancers(インアクティブ ダンサー)

Other styling terms and issues(他のスタイリングにおける用語と問題)

プルバイ(手を取って引っ張り、通り過ぎる時の手):

二人が互いに近づく動作であるが、身体の中心が互いに通り過ぎる前に手は離しておく。

スカートワーク(スカートを持つ手):

女性は空いている方の手でスカートを腰の位置くらいに持ち、リズムに合わせて軽く前後に振る。右手は左足、左手は右足の動きに合わせる。

プラマネイド後のトワール:

男性は右手で女性の右手をゆるく取っている。男性はこの右手を上げ、女性はその下で時計周りに廻り、スクエアセットを作ってカプルの位置で終わる。

BOW-バウ(始めと終わりの挨拶)

TO YOUR PARTNER(パートナーに対して):

男性: パートナーの方を向いて軽く視線を合わせる。左手は掌を外に向けて腰部または左臀部へ。右足は左足の前で女性の方に向けて爪先を床に付けてポイントする。右手は女性の左手を取る。両足はまっすぐに伸ばし体重は後足に置く。

女性: パートナーの方を向いて軽く視線を合わせる。右足は後ろ、左足は爪先を床に付けて前にポイントする。右手は肘を曲げたままスカートをもちスクエアセットの中心へ拡げる。両足はまっすぐに伸ばし体重は後足に置く。[男性が腰を少し折って御辞儀をし、女性が膝を軽く折ってこれを受けるといった伝統的な挨拶も認められる。]

TO YOUR CORNER(コーナーに対して):

男性: 右手でパートナーの手を取りながらコーナーの方を向いて軽く視線を合わせる。左手は掌を外に向けて腰部または左臀部へ。左足は右足の前でコーナーの方にむけて爪先を床に付けてポイントする。両足はまっすぐに伸ばし体重を後足に置く。

女性: 左手はパートナーの右手に預けたままコーナーの方を向いて軽く視線を合わせる。右足は左足の前で爪先を床に付けて前にポイントする。両足はまっすぐに伸ばし体重は後足に置く。[男性が腰を少し折って御辞儀をし、女性が膝を軽く折ってこれを受けるといった伝統的な挨拶も認められる。]

Regional styling differences(スタイリングにおける地域差)

コーラーラブではスタイリングにおける地域差が存在することを認識している。

Teamwork(チームワーク)

Embellishments(装飾用語)

追記

追記A: 隊形

この追記部はまだ見直しを行い、承認を受ける必要がある。読者は<http://www.callerlab.org/>のProgram Documents項Square Dance Formationsを参照願いたい。

2-Dancer Formations (ダンサー2人の隊形)

ダンサーが向い合った隊形:

向い合ったダンサーは特に指定されなければ男性と女性である。

カプルの隊形:

カプルは特に指定されなければ男性と女性である。

4-Dancer Formations (ダンサー4人の隊形)

8-Dancer Formations (ダンサー8人の隊形)

追記B: 記述用語法

次に示す用語は動作を定義する際に使われ、スクエアダンスで一般的に使われるものである。

Adjacent (アジェイスト)

二人のダンサーが間にスペースや他のダンサーが介在せず隣接している状態で、カプルまたはミニウエイブに使われるのが一般的である。

Couples (カプルズ)

- Normal Couple (ノーマル カプル): 男性が左、女性が右にいるカプル。
 - Sashayed Couple (サシェイド カプル): 女性が左、男性が右にいるカプル。
 - Same Sex Couple (セიმ セックス カプル): 女性二人または男性二人のカプル。
- 注: カプルは”Formation Pictogram (隊形図表)”1ページに定義される隊形の一つである。

Face Left (フェイス レフト) / Right (ライト) / In (イン) / Out (アウト)

- Face Left: それぞれが一人でその場で90度左を向く。
- Face Right: それぞれが一人でその場で90度右を向く。
- Face In: それぞれが一人でその場で90度スクエアセットの中心を向く。
- Face Out: それぞれが一人でその場で90度スクエアセットの中心を背にして外を向く。

Home (ホーム)

ダンスを始める前に、当初スクエアセットを作った時ダンサーが立った位置。

Left(レフト)

動作の前につけられた場合、動作の間中すべての右と左とを置き換えるようダンサーに指示する言葉である。“付加細目:Commands(指示):Extensions like Reverse Wheel Around(リバース ウィール アラウンドのような応用)”を参照。

Opposite(オポジット)

1. ホームでスクエアセットを作った時、ダンサーのDiagonal Opposite(ダイアゴナル オポジット)はその反対側にいる同性のダンサーである。例えば、サイドの女性二人はDiagonal Opposite(ダイアゴナル オポジット)である。左右対称のコール構成(“Choreographic Guideline(コール構成の指針)”28ページ参照)では、Diagonal Opposite(ダイアゴナル オポジット)はいつも互いにセットの反対側にいる。
2. 男性から見ると、ホームでスクエアセットを作った時、セットの反対側にいる女性はそのOpposite Lady(オポジット レイディ)である。Partner(パートナー)、Corner(コーナー)、Right-Hand Lady(ライト ハンド レイディー)に加えて、男性から見える、4人の女性を言い表すことができる。(歴史的に見て、スクエアダンス用語はより男性に対して与えられる。)

Promenade Direction(プラマネイド ディレクション)

- Promenade Direction(プラマネイド ディレクション):反時計回り方向。
- Wrong Way Promenade Direction(ロング ウェイ プラマネイド ディレクション):時計回り方向。

Pull By(プル バイ)

- Right Pull By(ライト プル バイ):ダンサーが向かい合った状態から、あたかも握手をするように右手をとり、瞬時に静かに引っ張って前進を始め、パス スルー動作を行う。ダンサーは互いに通り過ぎると、とっていた手を放し、引き続き次のダンス動作へ移行するか、調整して背中合わせで終わる。手はしっかりと取り、各ダンサーが随意に手を離さないようにすべきである。オーシャン ウェイブの規則は適用される。
- Left Pull By(レフト プル バイ):Right Pull By(ライト プル バイ)と同じであるが、左手から始めて、左肩で通り過ぎる。
- Pull By(プル バイ):(例えば、“Box The Gnat; Pull By”)既に右手(または左手)をとっているダンサーが向かい合った状態から、Right Pull By(ライト プル バイ)またはLeft Pull By(レフト プル バイ)。

Rear Back(レア バック)

ダンサーが手を取っている状態から、通常ミニウェイブであるが、ダンサーは少し後ろに下がり、即ち、後ろに少しもたれかかるように動き、手を取って向かい合い動作を終わる。オーシャンウェイブの規則がしばしば役に立つ。例えば、“Heads Lead To The Right; Swing Thru; Rear Back: Right And Left Grand”である。

Reverse(リバース)

動作の前につけられ、一般的に、動作の間中時計回りと反時計回り方向(そしてまた右と左)を置き換えるようダンサーに指示する言葉である。“付加細目:Commands(指示):Extensions like Reverse Wheel Around(リバース ウィール アラウンドのような応用)”を参照。

Right-Hand Lady(ライト ハンド レイディー)

男性から見ると、ホームでスクエアセットを作った時、その斜め右にいる女性(即ち、Lead Right後

に向かい合う人)がそのRight-Hand Lady(ライト ハンド レイディー)と呼ばれる。 Partner(パートナー)、Corner(コーナー)、Opposite Lady(オポジット レイディ)に加えて、男性から見ると、4人の女性を言い表すことができる。(歴史的に見て、スクエアダンス用語はより男性に対して与えられる。)

Set or Square(セットまたはスクエア)

ともに踊る8人のグループ。

Step Thru(ステップ スルー)

ミニウエイブから隣接するダンサーが一步進んで、少し横に動き、互いに背中合わせで終わる。

Turn 1/4(ターン クォーター) / 1/2(ハーフ) / 3/4(スリークォーターズ) /

Full Turn By The Left/Right(フル ターン バイ ザ レフト/ライト)

ミニウエイブから、ダンサーは互いに歩を進めて、円上を指示された分数だけ回る。手の取り方は動作によって決まり、一般的にはスタイリング部門で示される。

Those Who Can(ゾウズ フー キャン)

動作の前につけられる言葉で、その動作を行うに適切なダンサーを指す。他のダンサーは何もしない。例えば、”Those Who Can, Pass Thru”は向かい合っている(または右手のミニウエイブの)ダンサーのみがこの動作を行う。

Working As A Unit(ワーキング アズ ア ユニット)

一群のダンサーに、あたかも一人のダンサーであるかのように動き移動するよう求める言葉遣いである。

追記C: その他の刊行物

この追記部はまだ見直しを行い、承認を受ける必要がある。

Publications for dancers(ダンサー用刊行物)

Publications for callers(コーラー用刊行物)

Foreign language publications(外国語刊行物)

この資料はCALLERLABの許諾を得て、一般社団法人日本スクエアダンス協会国際交流委員会委員の尾崎隆敏氏に翻訳していただきました。訳文の内容につきましては日本スクエアダンス協会技術委員会が確認・承認しています。

2009年06月08日 初版発行
2010年05月05日 第2版発行
2011年02月01日 第3版発行
2012年06月10日 第4版発行
2012年12月10日 第5版発行
2014年04月01日 第6版発行

発行 一般社団法人日本スクエアダンス協会